

向正義

銀電の黎明
VOL.4

成年
コミック

X COMICS
エックス

銀
竜
の
黎
明
4
向
正
義

CONTENTS

第28話	7
第29話	23
第30話	39
第31話	57
第32話	75
第33話	91
第34話	107
第35話	123
第36話	139
第37話	169
第38話	209
最終話	225

カバーイラストレーション→向正義





銀 竜 復 活

待望の完結編

大幅加筆修正に加え
新規描き下ろし38ページ

成年
18歳以上

向正義

ファンタジー調教凌辱物語

向正義が描く大長編ファンタジー調教凌辱物語

好評発売中!

VOL.1 VOL.2 VOL.3

銀
竜
の
黎明
4
向
正義

CONTENTS

第28話	—————	7
第29話	—————	23
第30話	—————	39
第31話	—————	57
第32話	—————	75
第33話	—————	91
第34話	—————	107
第35話	—————	123
第36話	—————	139
第37話	—————	169
第38話	—————	209
最終話	—————	225



銀電の
黎明
VOL.4





銀電の黎明
VOL. 4



【主な登場人物紹介】

【ミュート】



●アストレイ王国武装特殊警務団

通称『銀竜師団』 団長
ラディムに「素体」にされ
レイドールによって調教される

●銀竜師団の科学者

人間とエルフのハーフで
100年以上生きている
ラディムとは過去に因縁があった

●アストレイ王国の現摂政

前王アドニスと妻でルシアン之母
ベイル將軍の罠に嵌まり
「素体」にされる

【ルシアン】



●アストレイ王国の現国王

前王アドニスと
現摂政ローゼの子で
自称セレスの婚約者

●銀竜師団の新米隊員

元は師団内の非戦闘員
襲撃された本部から無事に脱出し
リタと共にセレスを救出に向かう

【ベイル】



●アストレイ王国の將軍

過去の件でローゼを罰する為に
ラディムと協力体制を取る
今回の騒動の真の黒幕

●人身売買などを行う裏社会の科学者

その昔はミュートの弟子だった
セレスを始めとした団員達を
次々と「素体」に改造し支配する

【レイドール】



●アストレイ王国の元法廷大臣

セレスに恨みを持っており
素体化されたセレスを
オークションで購入する



【セレス】



【ローゼ】



【シア】



【ラディム】

VOL.3 今までのあらすじ



[銀竜の黎明 VOL.1 あらすじ]

◆アストレイ王国の国王ルシアン之母にして
摂政でもあるローゼの命により設立された
陛下直属の武装特殊警務団…通称『銀竜師団』は、
リーダーであるセレス=メタリアスを中心とした
女性のみで構成された組織である。
師団の主な目的は性犯罪や人身売買などを行う裏社会の組織を撲滅する事であった。

裏社会の科学者ラディムは、魔導器『魂の欠片（ソウルピース）』で
精神と肉体を操れるように改造した女性『素体（マテリアル）』を生み出し、
奴隷人形となった女性達を貴族などに売買していた。

ある日、師団は人身売買が行われていた現場に踏み込み、
法廷大臣であるレイドール卿を含む、
その場にいた関係者全員を捕らえる事に成功する。

…だがそれはラディムによって最初から仕組まれた罠であった…。

素体に改造された過去を持ちながら師団の戦闘隊長を務めていたライアは、
牢獄にいたラディムの部下ランカークが隠し持っていた複製ソウルピースによって、
再び素体として操られ師団の本部からラディムの元へ連れ去られてしまった。

素体に戻されたライアは、夜のルージュ街でランカークにより公衆の面前で凌辱され、
セレスをおびき出す為の囹として利用されてしまう。

ラディムと繋がってるという噂もある
ルージュ街の治安維持部隊隊長オルグを訪ねたセレス達だが、
そこに待っていたのは素体となったライアであった。
ライアに襲われ捕らえられてしまうセレスだが、
それはラディムの居場所を探るためにセレスがとった作戦だった…。

意識が戻りラディムと対峙するセレスが、
ラディムの生み出した『創生物（クリーチャー）』によって
辱めを受ける中、セレスの後をつけることによって
アジトを発見し潜入したリンファは……



Xコミックス
銀竜の黎明
VOL.1

銀竜の黎明

銀竜の黎明 VOL.1 ~

[銀竜の黎明 VOL.2 あらすじ]

◆再び素体となったライアを救出する為に、
そしてラディムの居場所を探るためにセレスがとった作戦は
自らを囷とする事であった。
あえて罠に嵌まり囚われの身となったセレスの後をつける事により
ラディムのアジトに潜入したリンファの活躍により
ついにラディムの捕縛に成功したかに思えたのだが……
事態はセレス達にとって最悪の結果を迎える事となる。

完全にラディムの手中へと堕ちたセレスは
ついにその身を素体へと改造されてしまうのであった…。

ラディムによって闇のオークションに売り出され、
彼女に恨みを抱くレイドールに競り落とされるセレス。
全ての純潔を奪われ、果てしない凌辱調教に
さらされる日々の中、銀竜セレス=メタリアスの精神は
確実に雌奴隷のそれへと変貌させられていくのであった…。

一方、摂政のローゼもまた真の黒幕とも言える
ベイル将軍の手によって城から極秘裏に連れ出され、
素体へと肉体改造されてしまう。

全力でセレス達の捜索を行っていた銀竜師団本部に
その二人の来訪があったのはそれから程なくしてだった……

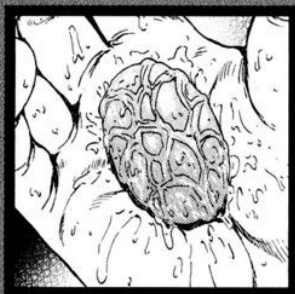


向正義

Xコミックス
銀竜の黎明
VOL.2

主な用具説明

魂の欠片
(ソウルピース)



・素体の精神を制御するための
魔導器。素体一人につきひとつ
ずつ造られ、これにマスターと
して登録された者は、その素体
を意のままに操れるようになる。
まだマスターがいない場合はこ
れを持った者が操れる。

薔薇の印
(ローズサイン)



・魂の欠片(ソウルピース)を使用
して操られている時に、精神と
肉体を改造された人間…素体
(マテリアル)の胸に浮か
び上がるアザ。

強化皮膜
(パワードスキン)



・ミュートが開発した、
微細な創生物(クリー
チャー)の集合体。
纏った人間の身体能力を
補助して強化する。



[銀竜の黎明 VOL.3 あらすじ]

◆セレス不在の銀竜師団本部を訪ねてきたのは、
ベイル将軍と素体にされ操り人形と化したローゼであった。

ローゼの指示によって一箇所に集められたミュートを含む
全団員は、ガスによる罠に嵌まり捕らえられ、
オルグ達治安維持部隊によって凌辱されてしまう。

しかし強化皮膜を装着中だったため唯一難を逃れたシアは
連れ去られる途中のミュートを助け出し、彼女の指示によって
セレス搜索の為不在だった他の団員達にこの状況を伝える為に、
一人で本部から脱出するのであった…。

再び捕らえられたミュートを「師匠」と呼ぶラディム…。
二人は30年近く前に師弟関係の間柄であったが、
人間とエルフのハーフで当時100年近く生きていたミュートと
己の欲望のために「生命を創り出す」という研究をしていた
ラディムとの間には、考え方の違いで袂を分かち合った過去があった…。

その頃城内に戻ったベイル将軍は、素体になったローゼを使い
多数の有力者達と取引をし協力者を増やしていった。

そして数日後、陥落した銀竜師団本部で凌辱され続ける団員達の前へ
レイドール卿に連れられたセレスが姿を現した。
様々な痴態を晒し、部下達の絶望の眼差しさえも情欲の糧として乱れるその姿に
もはや「銀竜」としての面影はどこにもなかった…。

一方、シアと合流した難を逃れていた団員達は、
現在セレスがレイドールと一緒に本部にいるという情報を掴むと、
無謀とも思える真正面からの襲撃を試みる。
あえなく罠に嵌まり全員オルグの手により捕らわれの身となってしまうが、
それはセレス救出の為に別行動を取っているリタとシアの為に陽動作戦であった。

二人はセレスを助け出し、彼女の『魂の欠片』を破壊する事にも成功する。
そしてリタがレイドールを殺そうとした時、セレスの制止の悲鳴が……………



Xコミックス
銀竜の黎明
VOL.3

■詳しくはXコミックス『銀竜の黎明 VOL. 1 ～ VOL. 3』をご覧ください。

銀竜の黎明 第28話



銀竜の黎明

第28話





銀竜の黎明 第28話





私なんかの...
ために.....



シア.....



戦闘団員じゃない
あなたまで.....



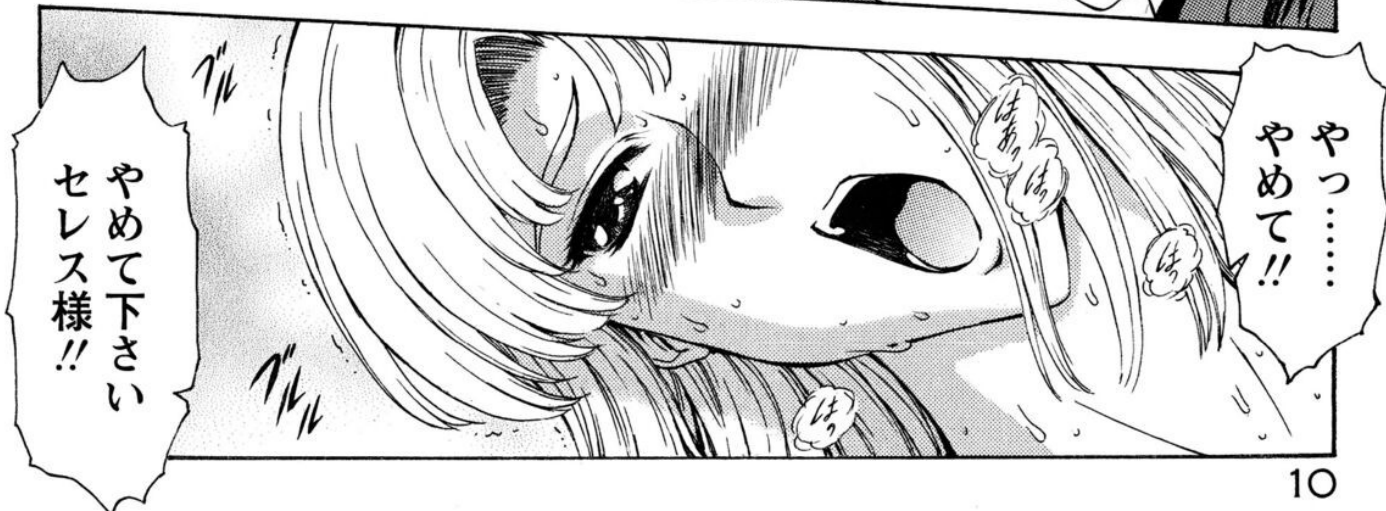
あっ.....



セレス様!!!

セ.....

!!!



やつ.....
やめて!!

やめて下さい
セレス様!!

私……

なんて……ことを
しているの
……!!?



この……
二人は……



そんな……

そんな娘達の
前で……



私は……

命懸けで
私を助けに
来てくれた……



あつ……あ





み……
見ていて……
二人とも……

この……
汚らしい雌豚が
………絶頂に
達するところを

あはあつ

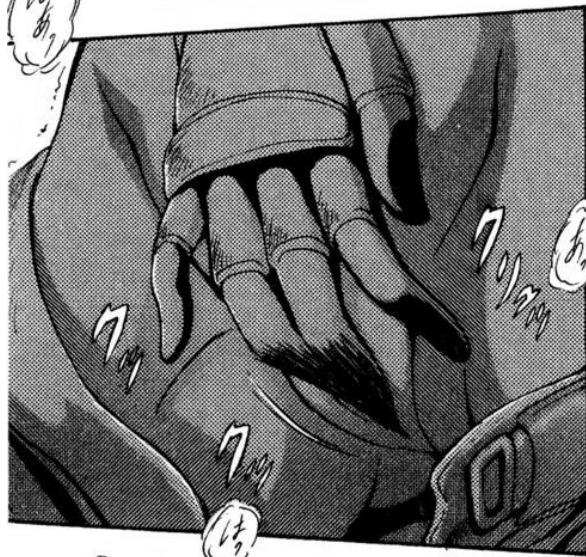
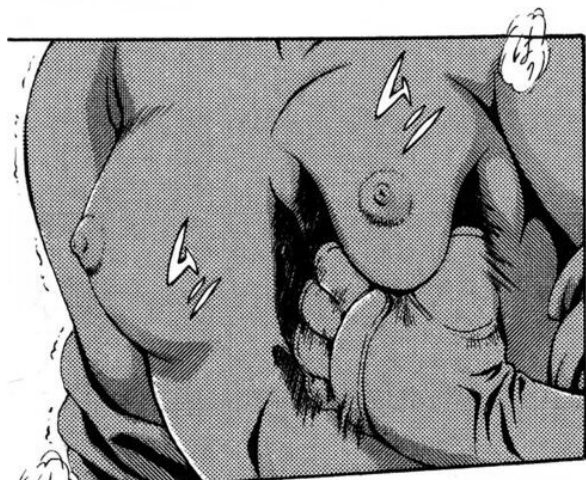
はっ

あつ

はあああ
あああつ

あつ……あ……

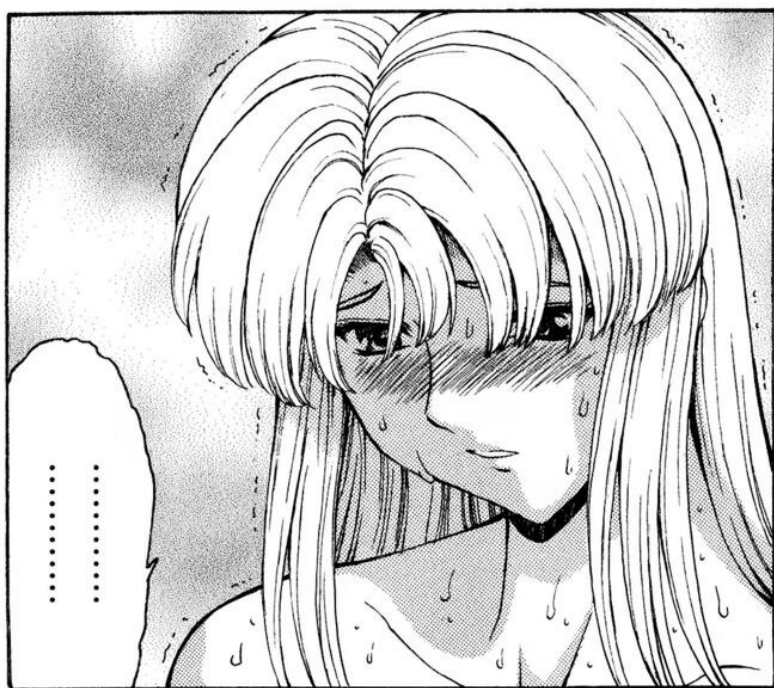
あはっ……あ……





銀竜の黎明 第28話





お願いします

セレス様……

もう……
セレス様しか
いないんです

ミュート先生や
みんなを助け出す
ことができるのは
……

何人くらい
いるの？

あなた達以外に
今無事な
団員は

!?

一人も
いません

本部が陥落した際
難を逃れた団員は
数十名いたのですが
……

皆私達を
侵入させるための
餌おとりとなりました

敵に備えがあるのは
わかっていましたから……

捕らえられることを
前提とした
時間稼ぎを……

いっ……
嫌なやつ

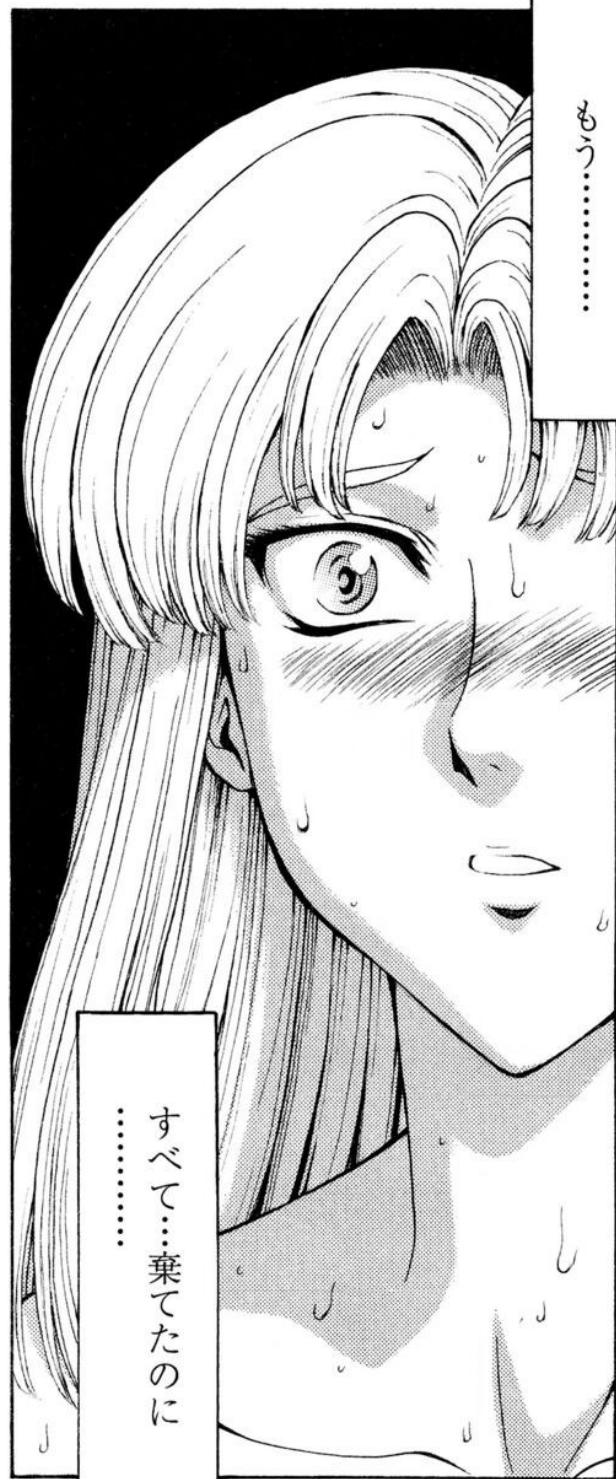
へへへ……
こりゃいい
跳めだよね







もう………



すべて…棄てたのに
………

自分自身で
………



何もかも
………



背中から
降ろしたはず
なのに………

銀竜の黎明

第29話

まだ――

私には……
まだ……





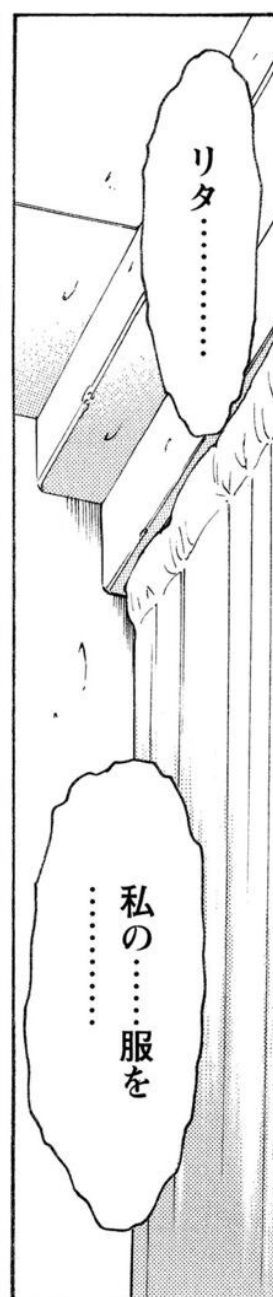
クローゼットの
中にある……

私の服を……
お願い



え？

!?



リタ……

私の……服を
……

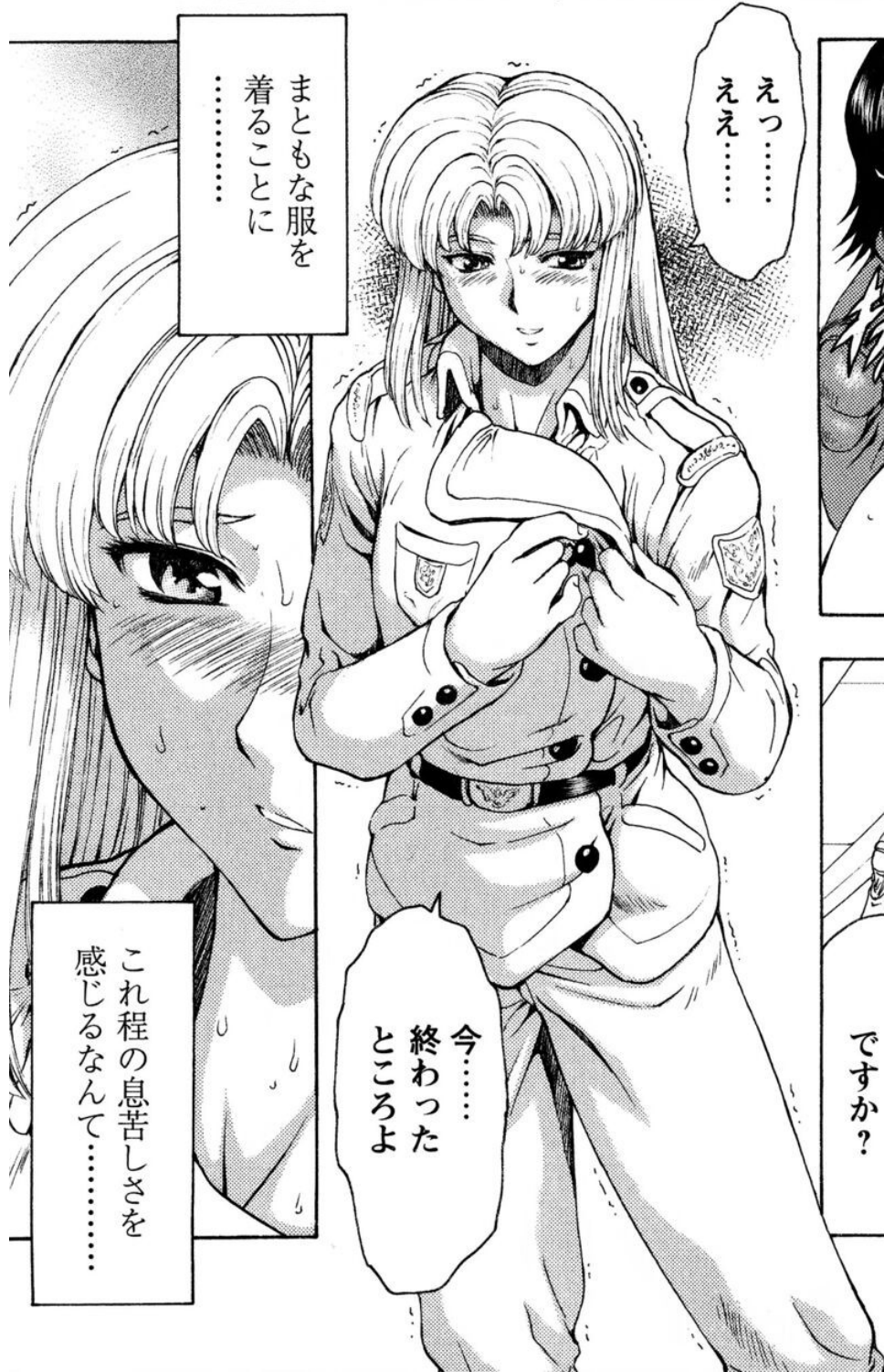


いくら
急いでるからって
.....

武警団の団長が
こんな姿のまま
街中に出るわけには
いかないでしょう？

はっ……
はい!!

今
お持ちします



まともな服を
着ることに
……………

えっ……
ええ……

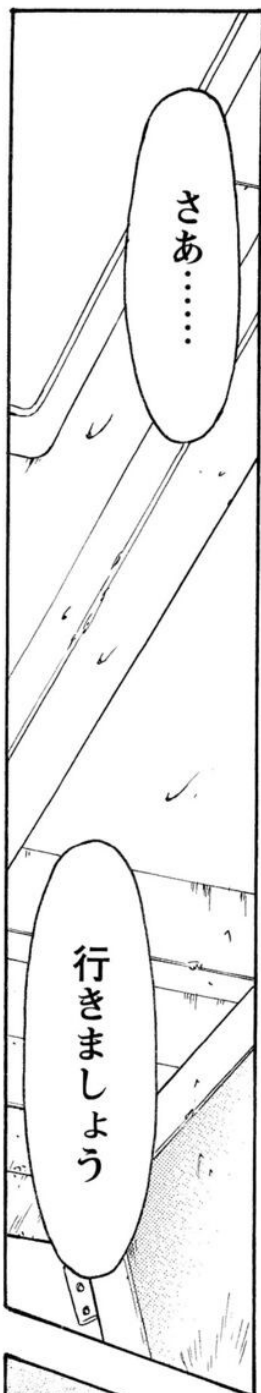
これ程の息苦しさを
感じるなんて……………

今……
終わった
ところよ



セレス様
こちらは
OKです

準備は
よろしい
ですか？



銀竜の黎明 第29話



それで
ついでは言つては
なんですが……

次はこいつの
最終調整に
つきあつていただき
たいと思ひまして

なつ……

クリーチャー
この創生物が
何なのかは……
見ればすぐ
わかりますよね？

私の顧客には
少数ながら
女性も
おりましてね

御自分で
使いたいのかどうかは
知りませんが
その方達の要望を
聞き入れて……

身体データ収集用の
クリーチャー
創生物を元に
造りあげたのが
こいつと
いうわけです



先生……
気がついた点があったら
なんでもおっしゃって下さい

弟子にとって
師匠の助言は
何物にも勝る
宝ですからね



ぐんぐん

んっ

んっ

んっ

ぐんぐん

銀竜の黎明 第29話



銀竜の黎明 第29話





レイドール卿は
セレスを救出しに来た
銀竜師団の手にかかって
亡くなりました……

ベイル様への報告には
なんの変更点も
ありません

己が分さえ
わきまえて
いれば……

おまえのような男にも
多少は利用価値を
見出してやったものを……

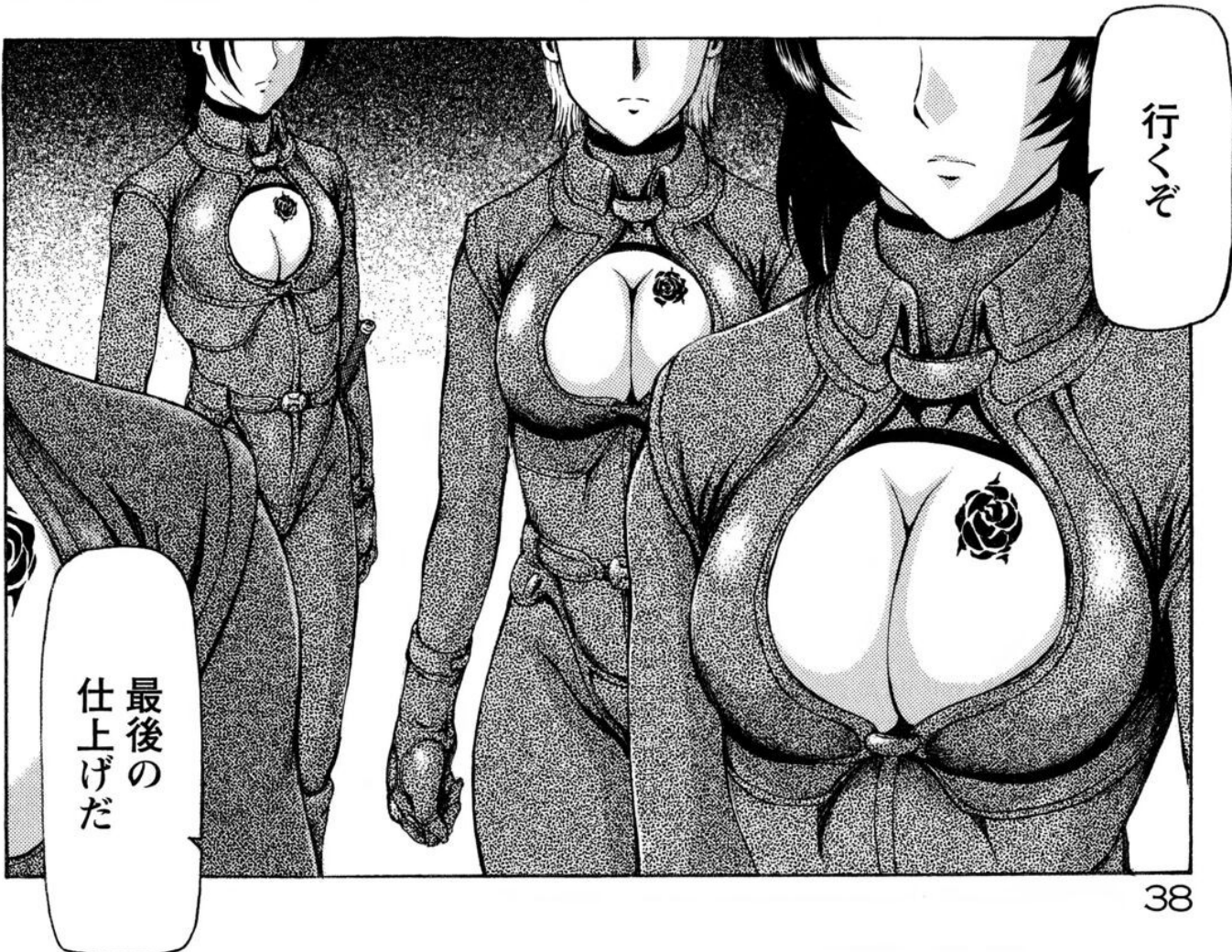
ぐんっ

ぐんぐんっ
ぐんっ



ここまで
.....

ほぼ
予定通りと
いった
ところか



行くぞ

最後の
仕上げだ

銀竜の黎明 第30話



なっ……



みんな
団員達
だけじゃなく
……

ローゼ様までも
お守りすることが
できなかったなんて
……



くっ……



……
セレス様
……

セレス様……
それは
やむを得なかった
ことでは
ないでしょうか

まさか……
ベイル將軍がラディムと
通じているなどとは
誰にも
予想できなかったことです

そ……
そうですよ
セレス様

それに……今は
この先
どうすればいいのかを
考えましょう

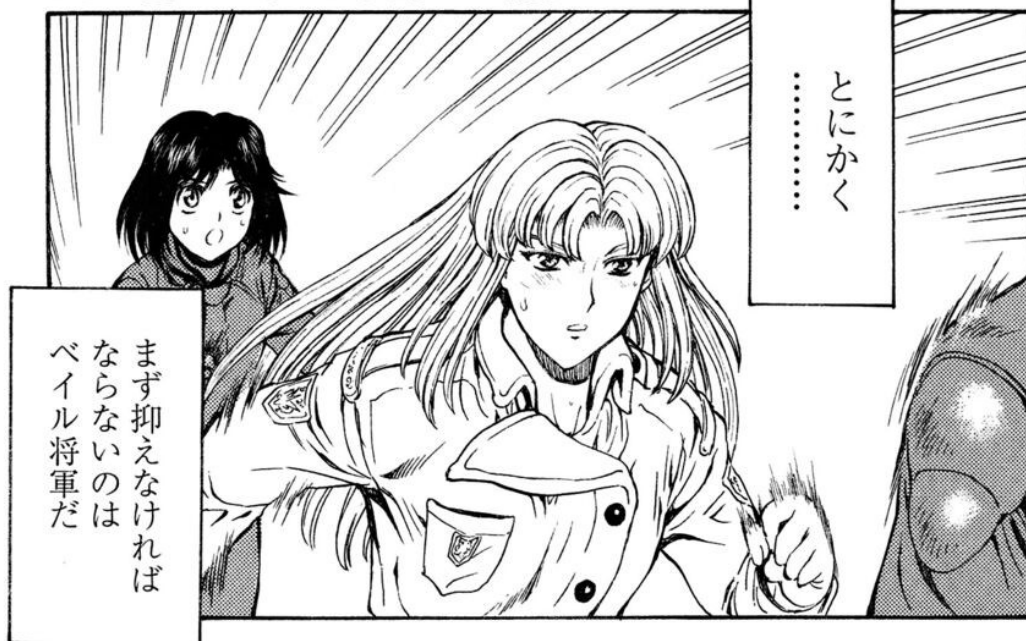
今の私には……
後悔なんて
している暇は
ないわ

そう……
だったわね

銀竜の黎明

第30話

銀竜の黎明 第30話



.....え!?

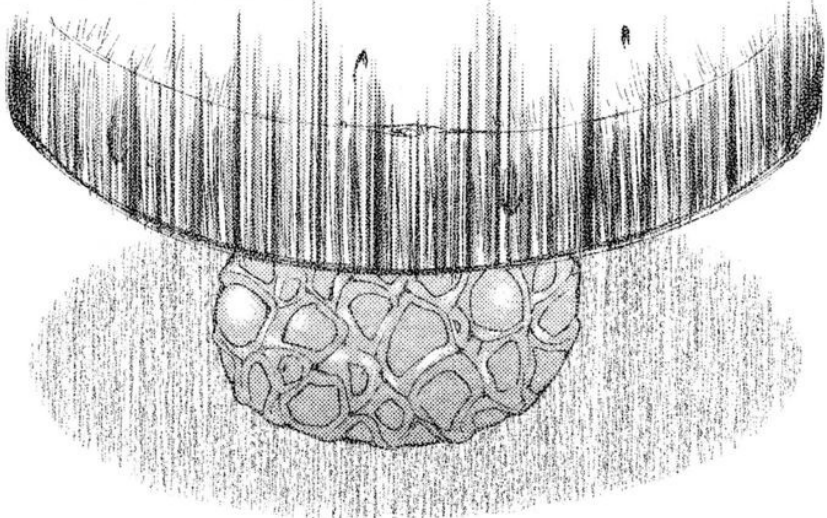


この……
感じ……

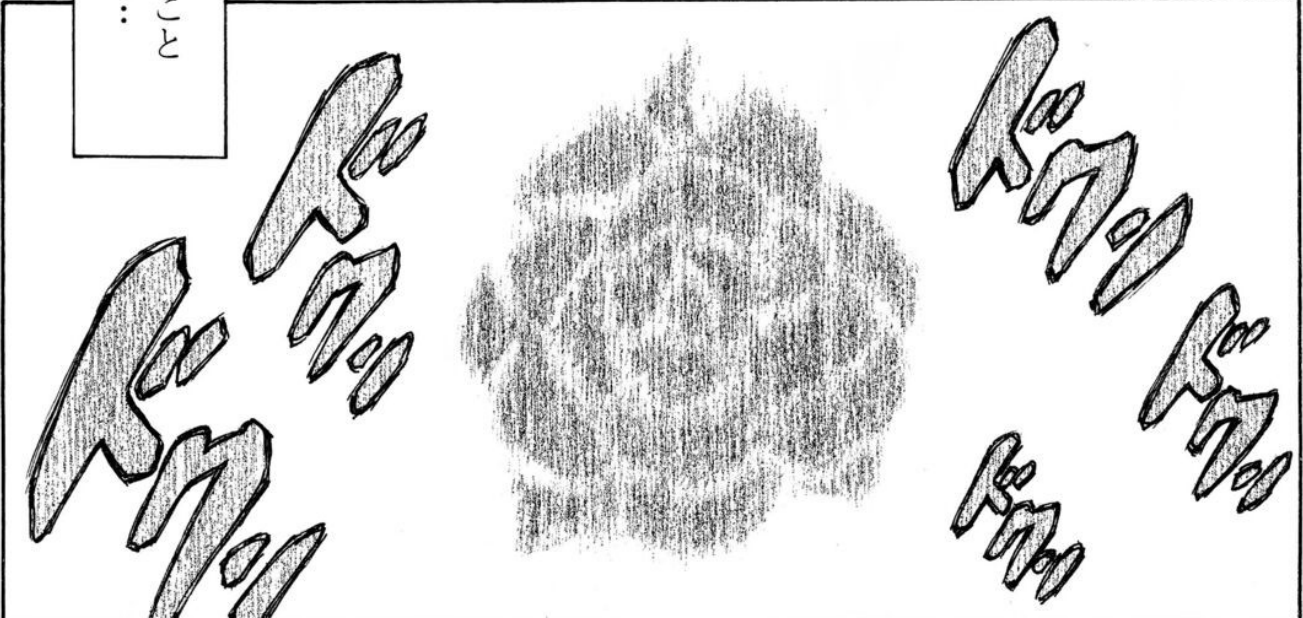


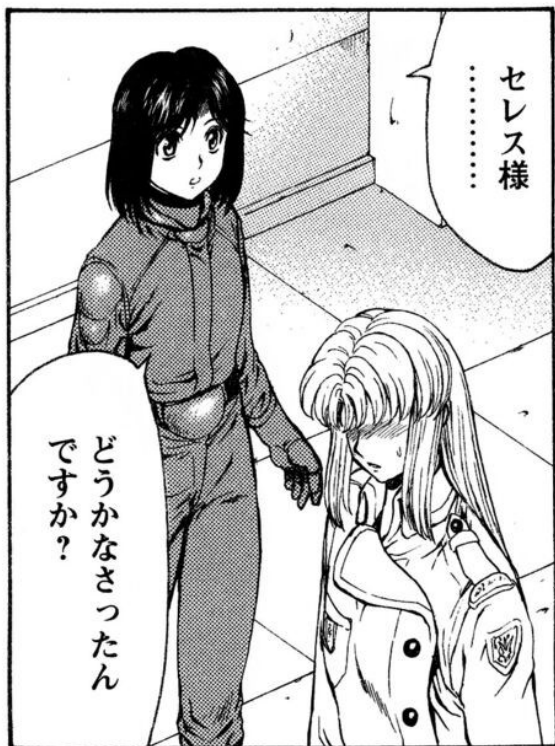
まさか
.....

.....
ありえない!!



そんな……こと
.....

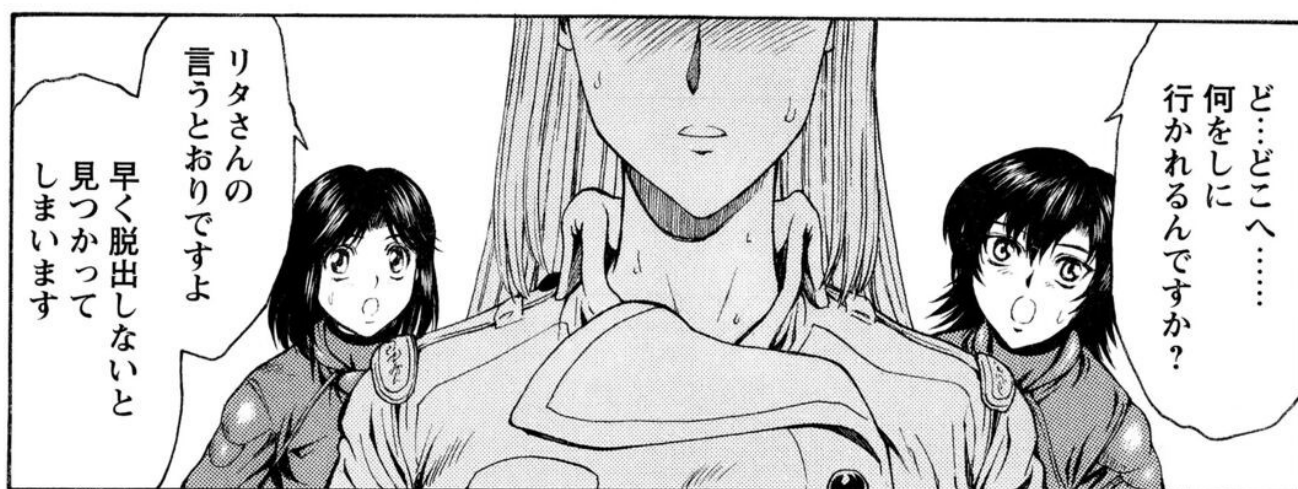






寄りたいところ？

ですが…今は
一刻も早くここを
脱出しないと



ど…どこへ……
何をしに
行かれるんですか？

リタさんの
言うとおりですよ
早く脱出しないと
見つかって
しまいます



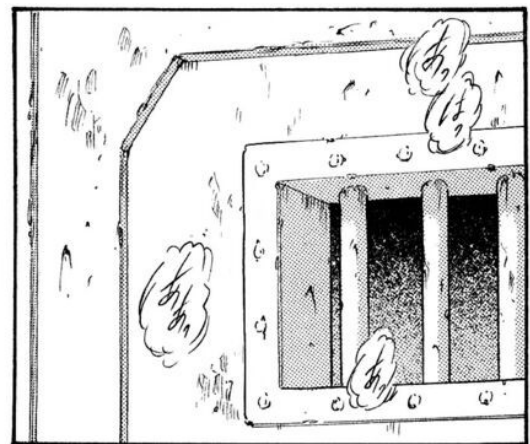
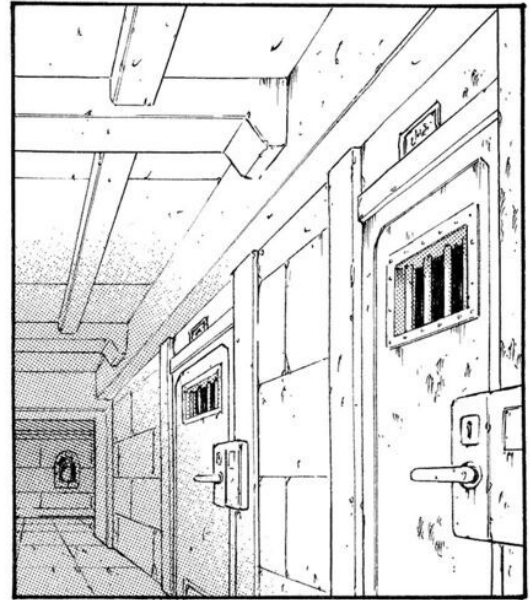
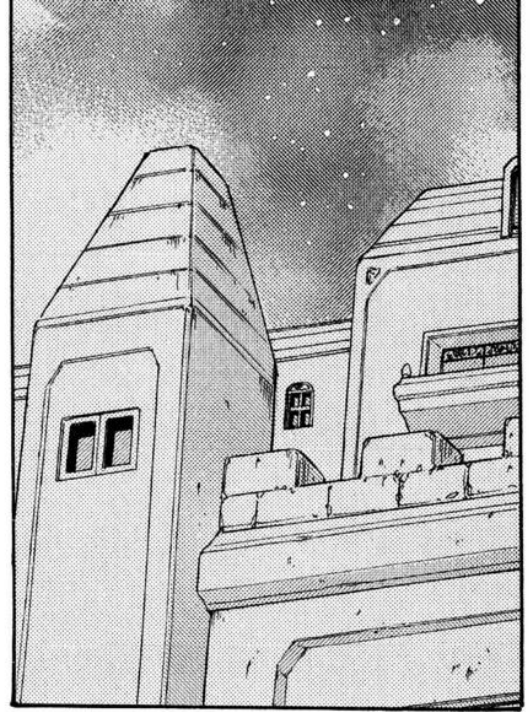
わ……
わかりました
………

セレス様が
そこまでおっしゃるの
でしたら……



ごめんなさい
………
どうしても
行かなければ
ならないの

あなた達も
ついてきて
ちょうだい……



やめて下さい
とは……

じらしたりせず
早くここに
挿入れて欲しい
という意味ですか？
ローゼ様

はあああつ

それならば
はつきりと……

私に懇願を
して下さい

当然
あなた自身の
御意志でね

何も気兼ねする
必要は
ありませんよ

この地下牢には
今誰も
収監されて
おりませんし……

入口には
ちゃんと見張りも
いますからね

あつ……
あ……

銀竜の黎明 第30話





銀竜の黎明 第30話



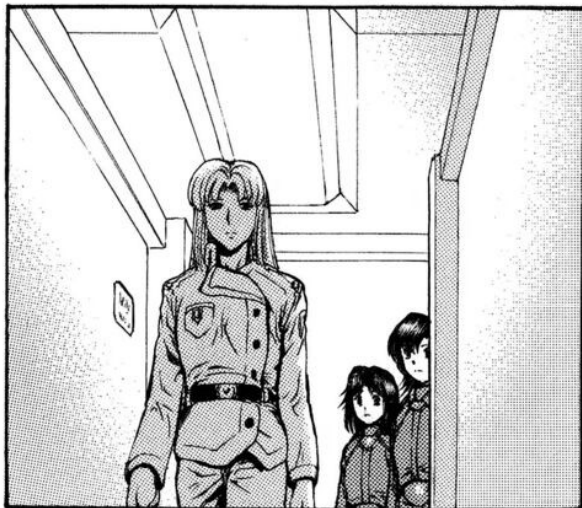


銀竜の黎明 第30話





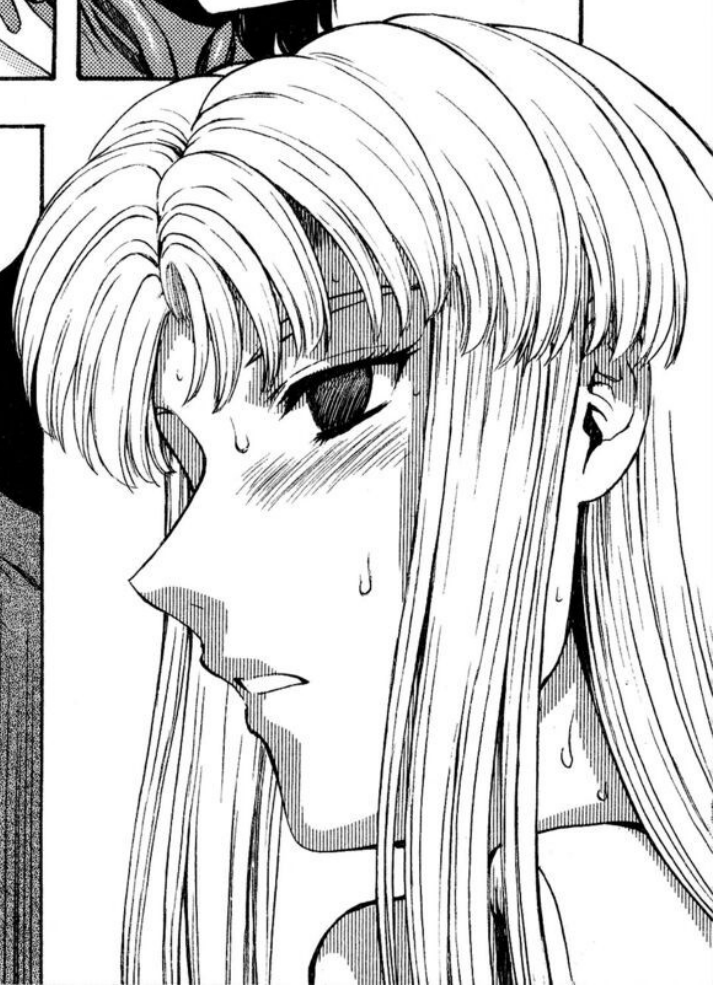
銀竜の黎明 第30話



!!??







こいつは絶対に
使えなかったところだ

もし二つの魂の欠片を
同時使用したら
素体^{セレス}の精神を
崩壊させかねんからな

おまえ等を
探す手間を
省いてくれたこと……
感謝するぞ

■■銀竜の黎明 第30話／おわり

なんだ？
その顔は

ソウルピース
魂の欠片の複製が
可能なのは
ライアの件で
わかっていたこと
だろう？

ついでに言うと
おまえ達が破壊した方が
複製品^{レプリカ}なのだがね

苦労して
手に入れたセレスを
そう簡単に
失うわけには
いかんからな

念のために
こういう「備え」を
しておいたと
いうわけだ

銀竜の黎明

第31話



まあ……
もつとも……

それがあんなことに
役立つとは思って
もみなかったがね

……
……
……

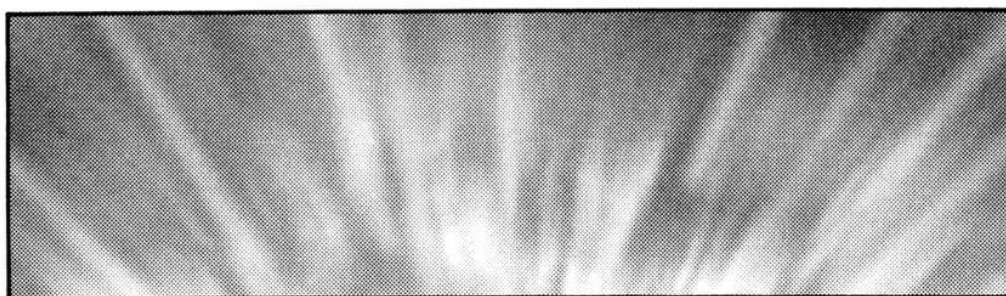
それが……

!?

それが本物だって
いうんなら……









私は自分の
したこと……

なんの罪悪感も
持っておりませんし
……後悔も
しておりません



そして……それを
弁明するつもりも
ありません



あなたも
ここまでのことを
した以上……

確たる証拠が
あつてのこと
なのでしょう？

ならばもっと
しかるべき手段で
私を罰すればいい



それとも……

国王であり
.....

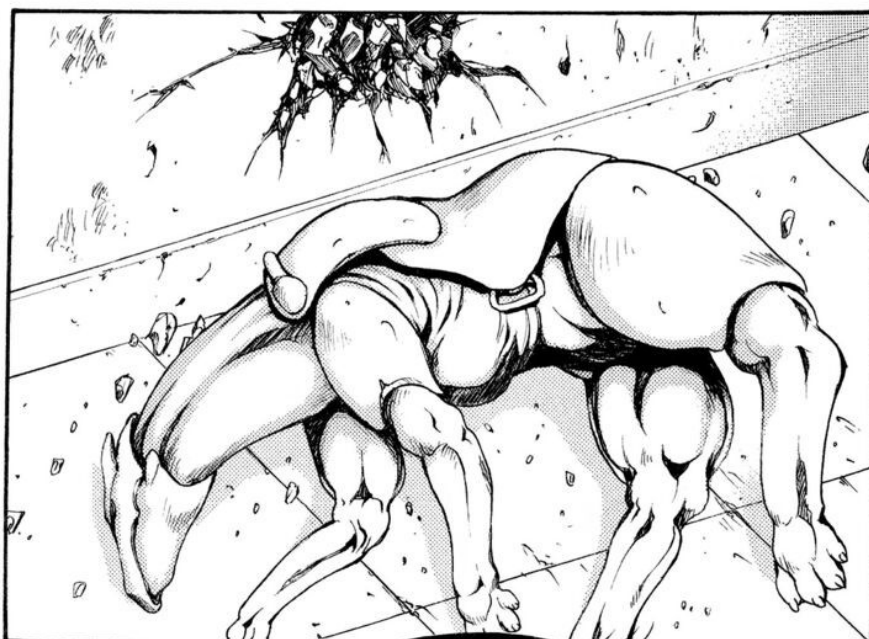
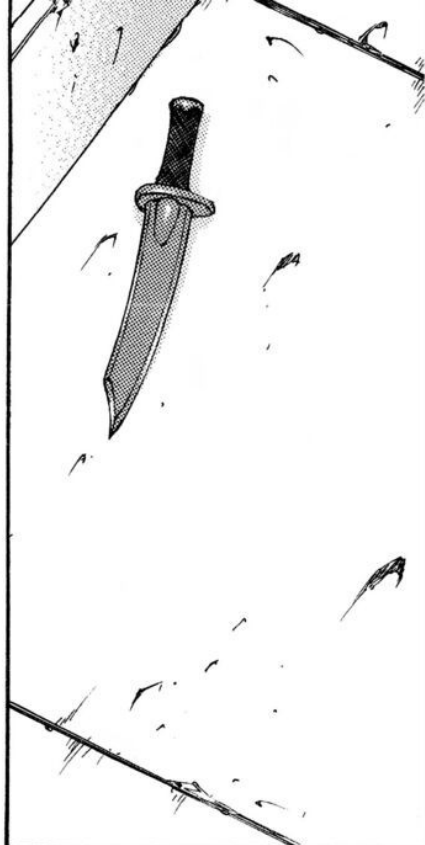
夫でもある男を
殺した女には.....

単なる「死」では
到底生温い

ベイル將軍
.....

あなたは
そうお考え
なのですか？





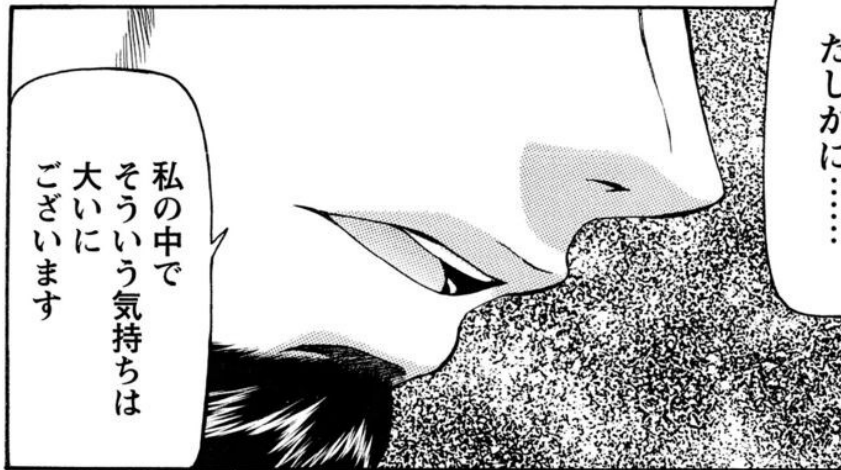
銀竜の黎明 第31話

一応……

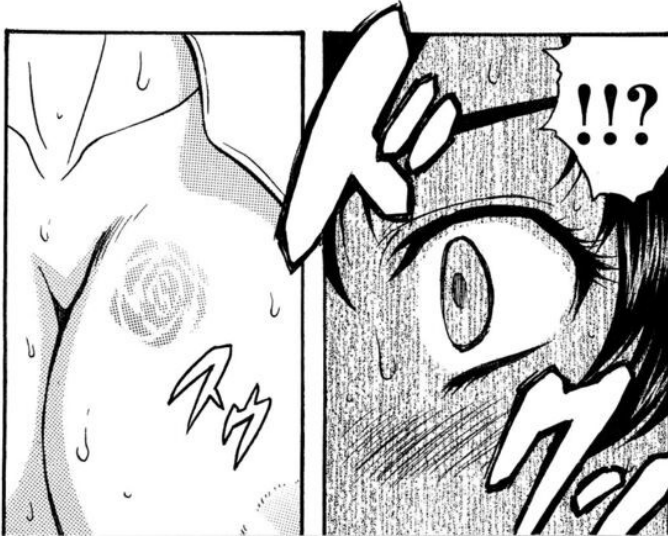
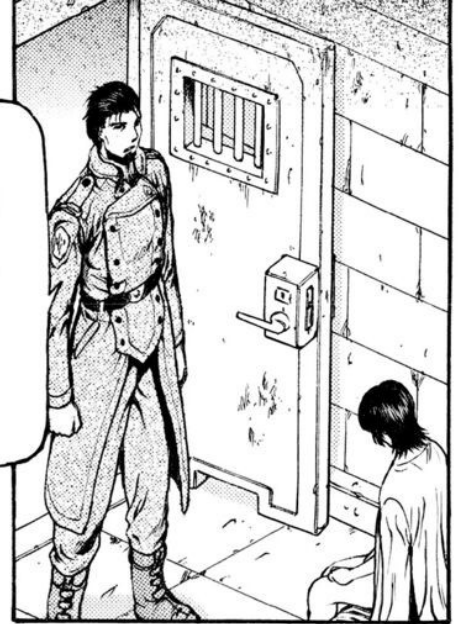
前言は
撤回しておくか

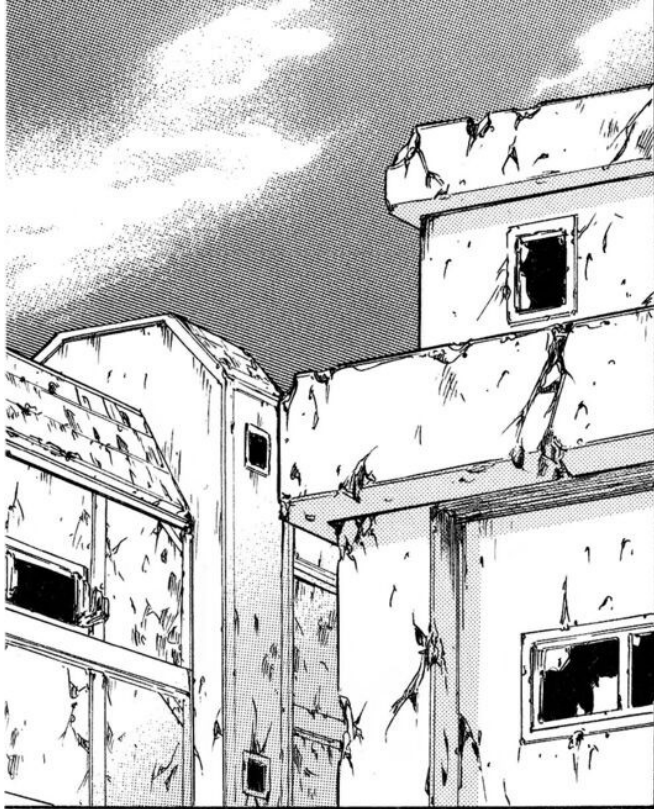
俺一人では
……

もっと派手な傷を
つけなきゃ
ならなかったかも
しれんからな……



たしかに……



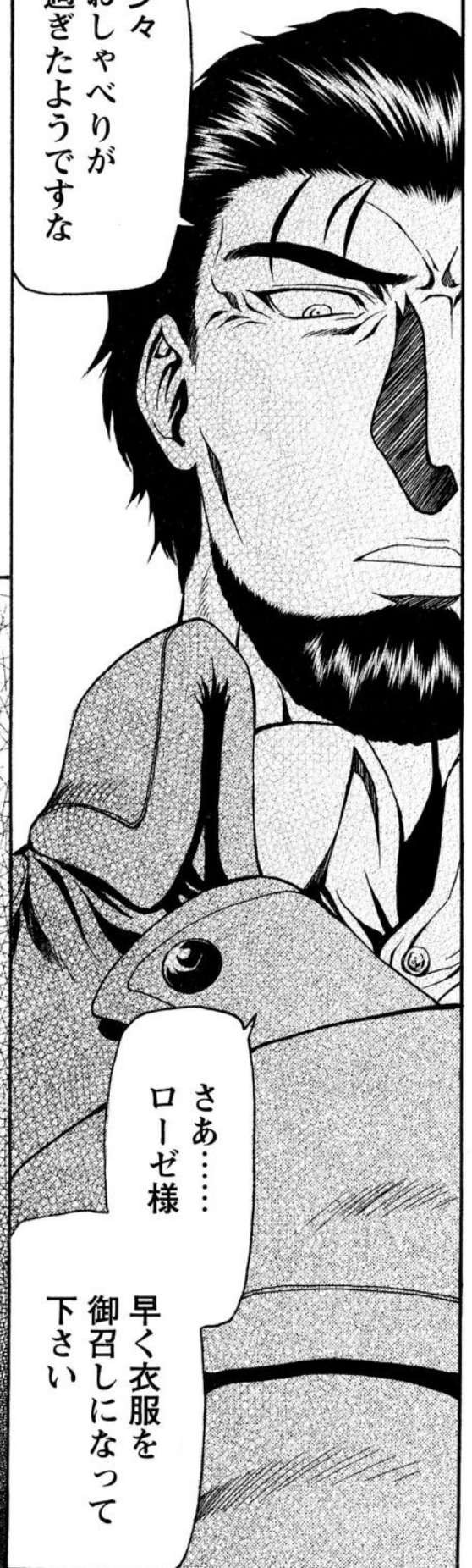


あのオルグ^{ブタ}は
レイドールが死んだことに
かなり動揺して
いましたので……

とりあえず
ベイル様には
我々が取り成すと
言っておいてやりました



少々
おしゃべりが
過ぎたようですな



さあ……
ローゼ様

早く衣服を
御召しになって
下さい



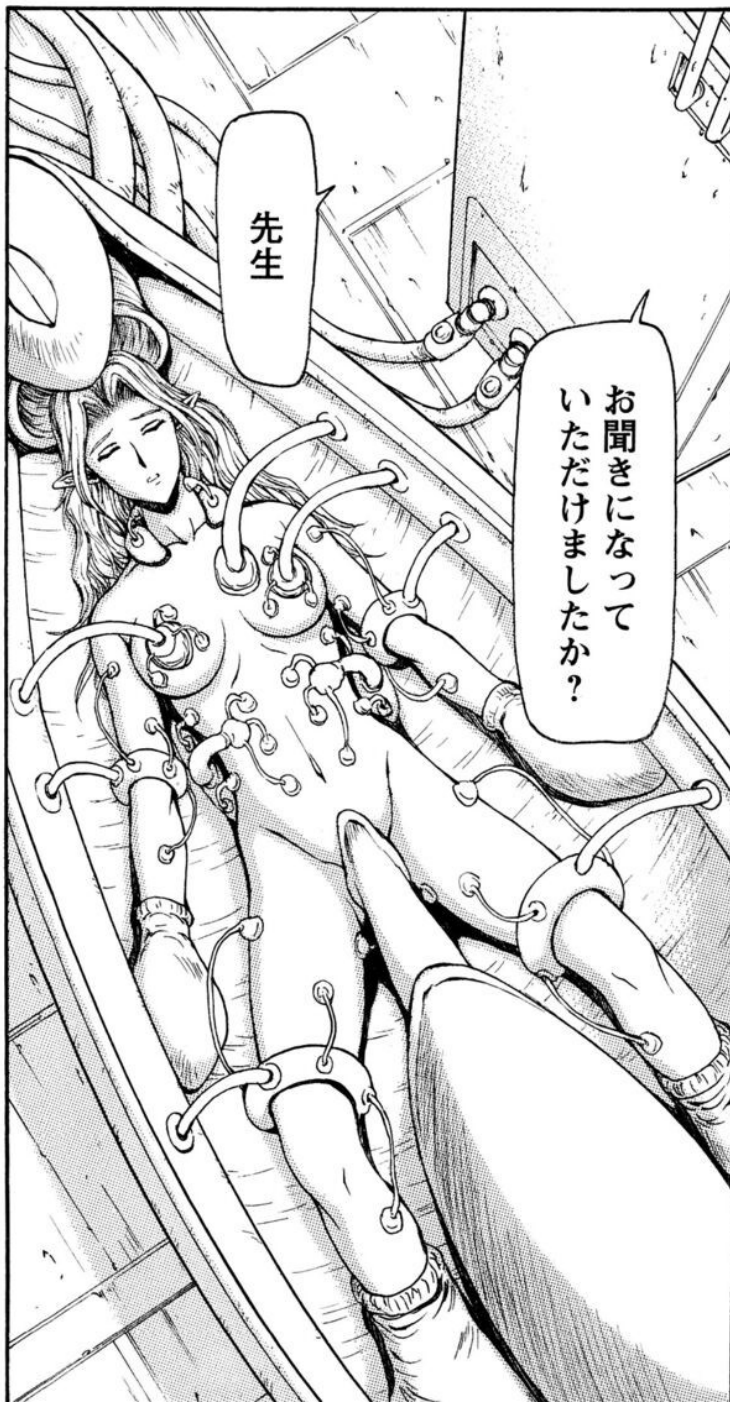
そうか

ならば今しばらくは
手駒として
使ってやるとするか



そうしたら
心底安心した様子で
礼まで口にして
いましたよ

まあ……
あの男が何かを
察するなどと
いうことはまず
無いでしょう



先生

お聞きになって
いただけましたか？



それで……
ランカーくよ

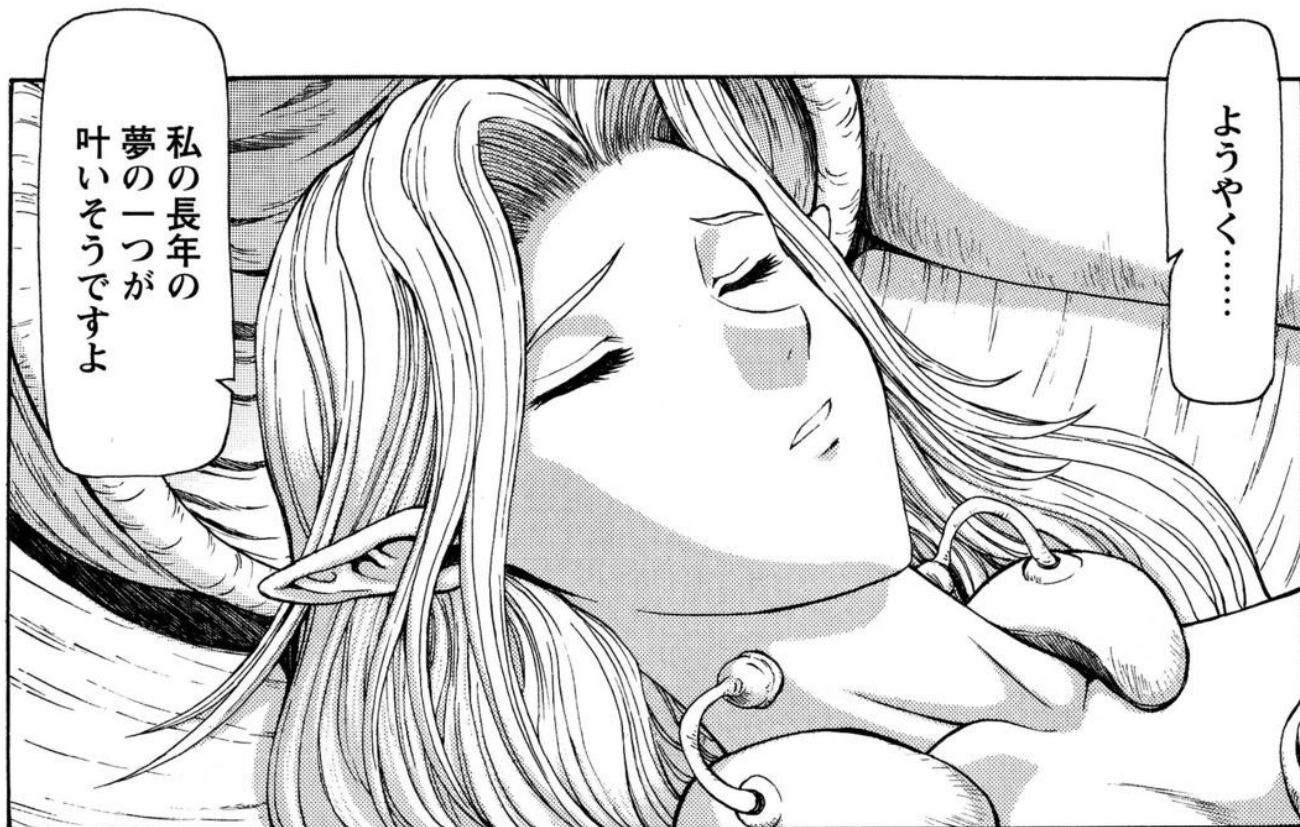
「研究所」の方は
どうなって
おるのだ？



は……
資料の搬入は順調に
進んでおります

おそろくは
あと三日もあれば
充分かと……





ようやく……

私の長年の
夢の一つが
叶いそうですよ



待たせたな

気分はどうだ？

ラディム様は今
いろいろと
お忙しいのでな……

俺がおまえ達の
身体データ収集を
申しつかったきた

まあ……
とは言っても
誰にでもできるような
操作をするだけだが



あし……

最初は
どちらに
するか……



まずは……

ククク……
そうだな









んんんんん



おっ...

おっ...
おっ...
おっ...



たしか
シアとか
言ったな

どうしたのだ？
さっきまでの
勇ましい表情は



たとえ
「戦う」覚悟は
できたとしても
……

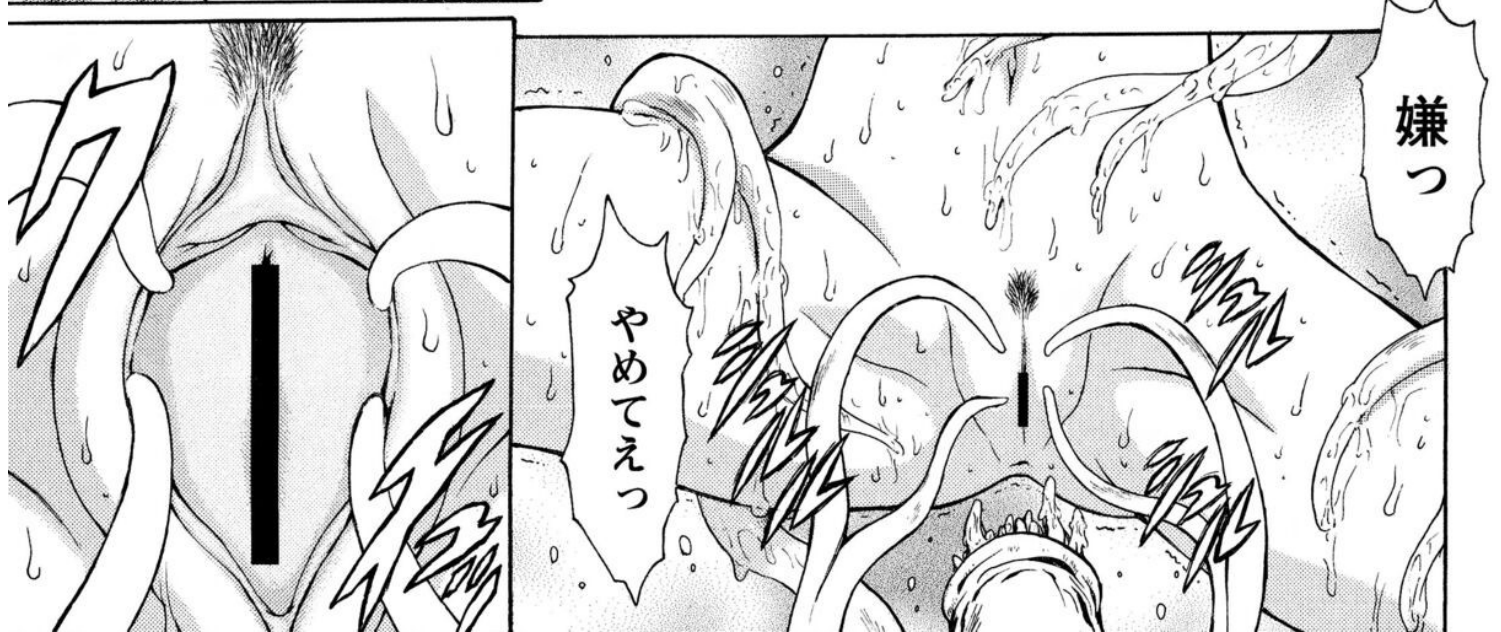
こちらの方の
覚悟をするのは
まだ無理が
あるだろうからな



まあ……
目の前でお友達の
あんな姿を
見せられては……

さすがに
強がつてばかりも
いられんか









嫌……

こんなの……
嫌っ……

嫌……
ああ……



嫌……
なのに……

嫌なだけの……
はずなのに……

銀竜の黎明

第32話

あはっ……

あっ……

どうして……
なの………？

はああっ……
あっ………

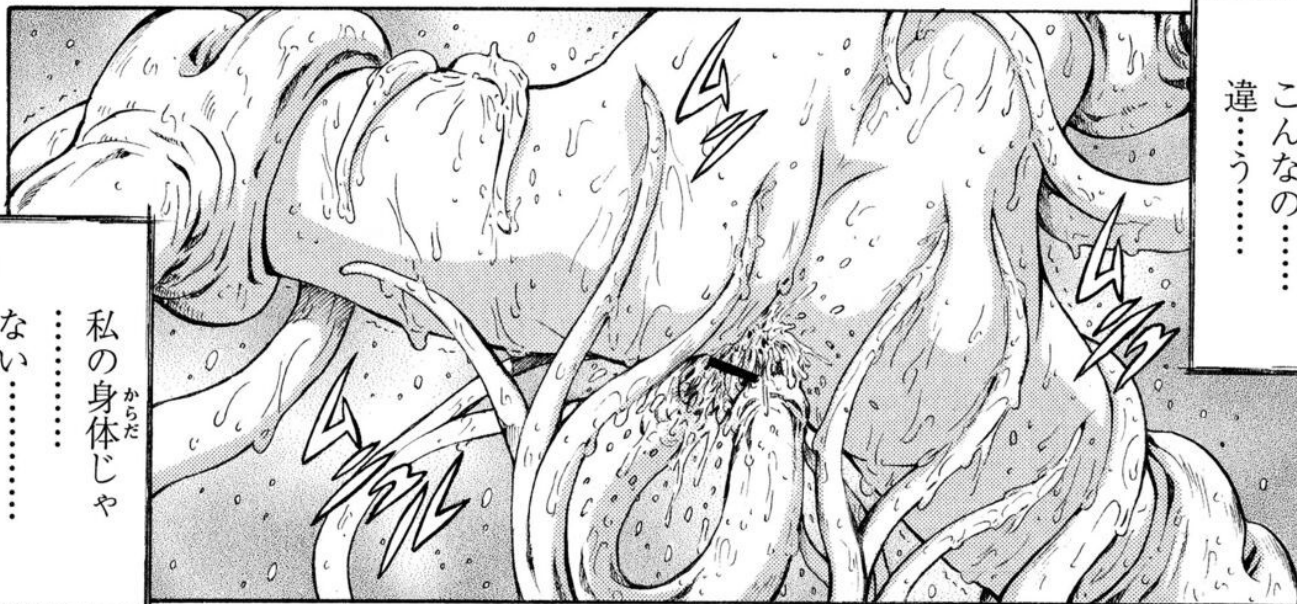


違う………





こんなの
.....



こんなの……
違……う……

私の身体じゃ
……からだ
……ない……



こん……な……

……の
……

.....ち.....が.....





ああああっ
あ……

はあっ……あっ……
あ~~~~



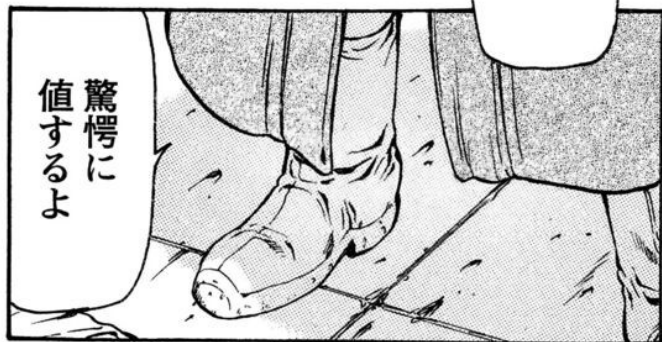
銀竜の黎明 第32話







正直言って
.....



驚愕に
値するよ



はあ

はあ

はあ

はあ



おまえが
レイドールの
もと
下で.....

今まで何を
されてきたのかは
考えるまでもないことだ



はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

それでも
なお……

なぜそうまでして
無意味な意地を
張り続ける？

もはやおまえには
希望など
何ひとつとして
無いというのに

ローゼはすでに
こちらの手の内に
ある上……

おまえ自身が
教えてくれた
ではないか

銀竜師団は
あの小娘二人が
捕らえられた時点で
完全壊滅した……とな

そんな表情^{かお}が
できる素体など
私は今まで
見たことがない

.....
わかつている
.....

それでも.....
私には.....

そんなことは.....
充分に
理解している.....

ローゼといえは
.....

あの女を素体にした時
いろいろとおもしろい話を
聞かせてもらったよ

!?

その中のひとつを
おまえにも
教えておいてやろう

.....
.....
デュラン「メタリアスの
こととなれば.....

おまえにとっても
大いに興味がある
話であろう?

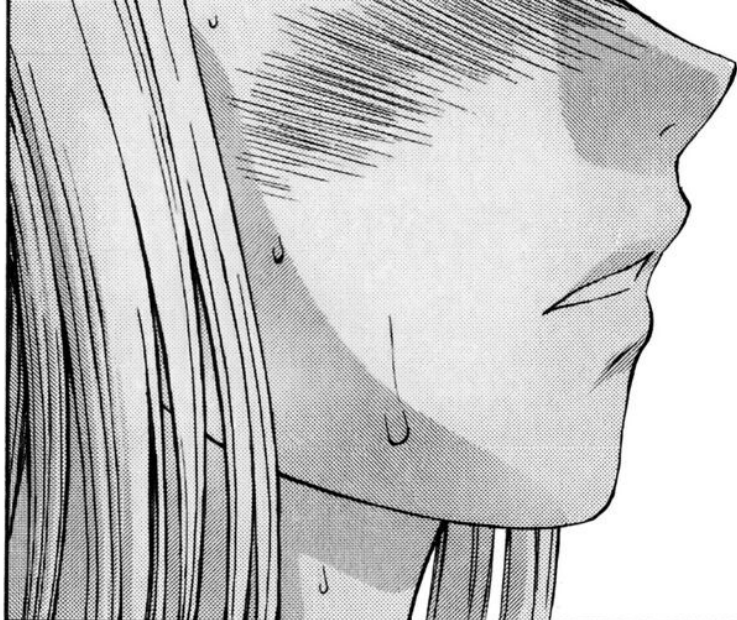
!!?

お父様の.....
こと?

おまえの父親は
前王アドニス^{かば}を
暗殺者から庇^{かば}って
死んだのではなく
.....

そのアドニスによって
謀殺されたのだそうだ

あることを諫^{いさ}めた
代償にな



え？……
……
……



……に……
……を……

何を……
言ってるんだ！？
この男は……



お父様が
……

謀殺
された！！

それも……
アドニス様に
……

バカな……

ありえない！！

そんなことが……
あるはずが
ない！！

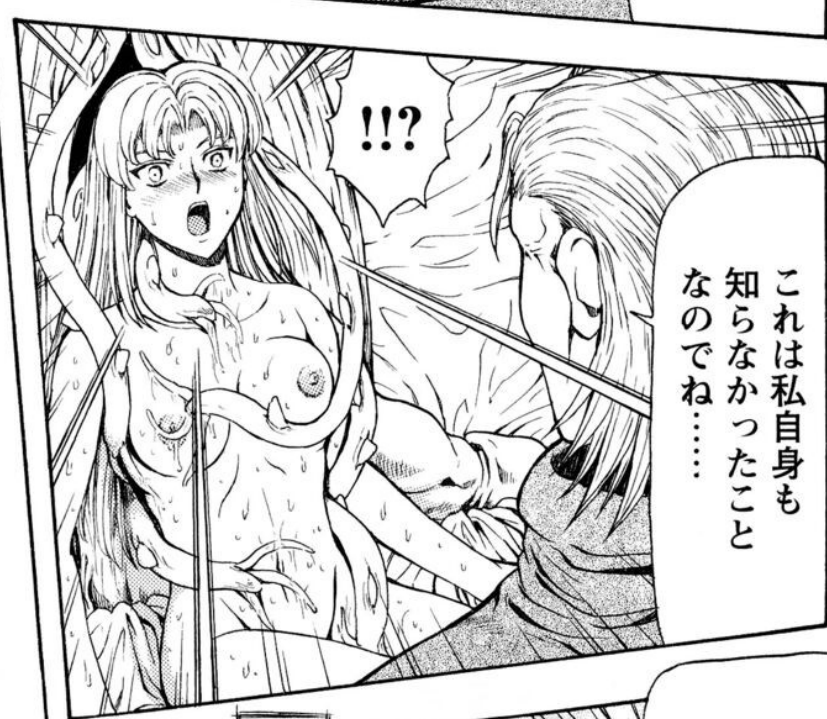


まあ…おまえの父親が
苦言を呈したくなつた
というのも当然だ

なにしろ
一国の王が…

密かに犯罪者から
心身を改造された女を
買っていた……
となればな

信じる……
ものか……



これは私自身も
知らなかったこと
なのでね……



聞かされた時は
さすがに驚きを
禁じ得なかったよ

し……

言つて下されば
最高級の素体を
提供して
差し上げたものを……



こんな男の
戯言など……

銀竜の黎明 第32話



つまり……だ

セレスよ



さて……
セレスよ

ひとつ質問を
するぞ

おまえは
私のなんだ？

私は……
ラデイル様の
所有物です……

わ…私は……

ラデイル様の
忠実な僕……

ラデイル様のお役に
立つただけに生きる……
肉人形でございます……

マテリアル
素体……
セレス・メタリアスで
ございます……

ええ……

あなたがアドニス王を
毒殺したということは
ベイル様から
すでに聞いています

ですが
その理由までは
話していただけ
なかったため
………

あなたの口から
直接うかがおうと
思ったわけですよ

まあ正直言って
私には関係のない
話なのですが
………

やはり大いに
気になっていたことでも
ありますしね

さあ……
話して下さい

あなたが
国王であり……
夫でもある男を
殺した理由を

デュラン様の
……敵を
討ったんです

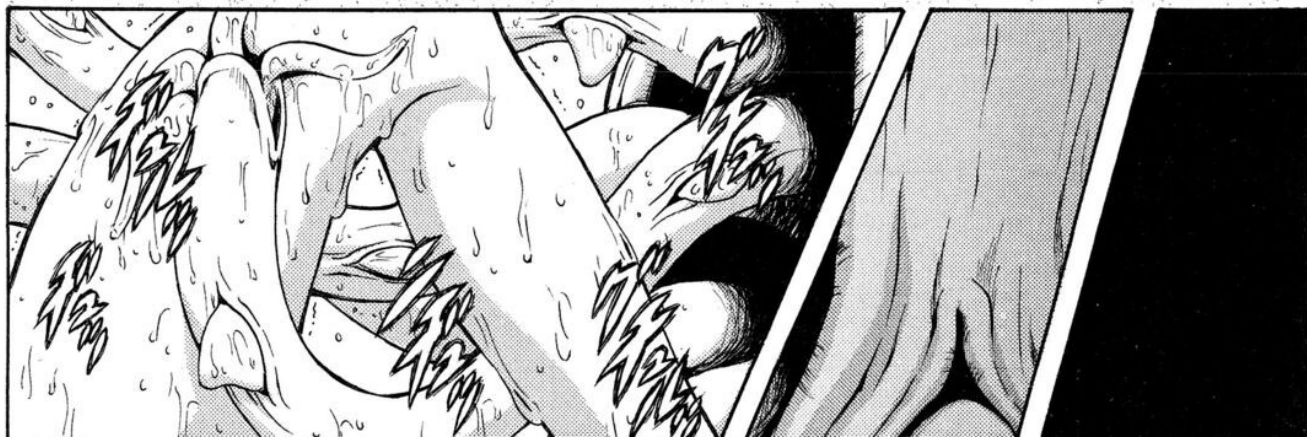


だから………
殺してやったんです

あの男
アドニスは何んの罪もない
デュラン様を謀殺しました

銀竜の黎明

第33話







んっ
んっ

んっ

はああっ

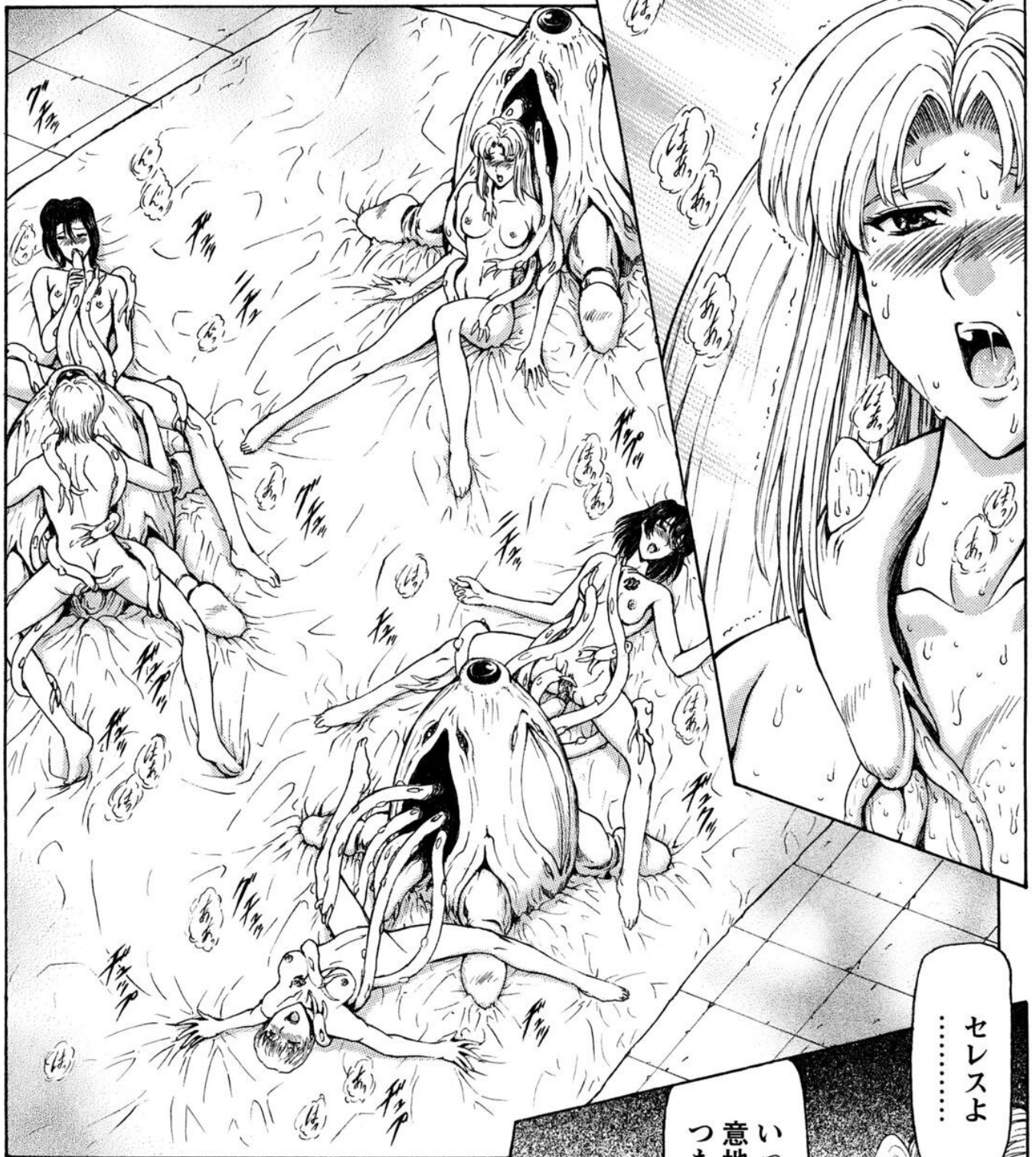
んんっんっ

あはっ

ああっ

あっ

銀竜の黎明 第33話



セレスよ
.....

いったいいつまで
意地を張り続ける
つもりだ？

ひと言
懇願すれば……

おまえも
この女達と同様
思うがまま
楽しませてやろうと
いうのに



なるほど
……

デュラン・メタリアスの
ことは知っていましたか
……

その「死」に
そんな裏があったとは
思っても
みませんでしたよ

まさか……この私も
少なからず
関わっていたとはね

……で
……
ローゼ様

敵討ち……
ということは
つまりあなたは
デュランのことを
……

はい……

愛していました

あんな男
アドニスなんかよりも
ずっと……

いえ……
そもそも……

あの男に
愛情を感じたことなど
ただの一度も
ありませんでした



いくつ

また……
いくつ……



ちよう
だい……

エリスの
オマンコに……
いっぱい
ちようだい……



あああつ……あ~~~~



突いて……

かき……
回して……

壊れても
いいから……

もつともつと
メチャクチャに
してえ!!





銀竜の黎明 第33話

実に晴れやかな
顔をしている
ではないか

おまえの
元・部下達は

さあ
.....

私に何か
言いたいことが
あるなら
聞いてやるぞ

みんなは
必ず.....

み
.....

私が.....
助けだして
みせる.....

セレスよ.....

これはむしろ
おまえを
楽にしてやろうという
配慮だというのが
まだわからないのか？

そもそも
私にとって.....

素体であるおまえが
心中でどれ程の
抵抗をしようが
どうでもいいこと
なのだからな





現に
私達だって……

今の
この状況を
心底楽しんで
いるのですから



だから……
セレス様が何かを
気にかける必要なんて
……

もう本当に……
まったくくないですよ

ね？……
セレス様

セレス様あ……

いっしょに……
楽しみましょうよ
セレス様





ローゼ様……

まさかとは
思いますが……

ルシアン王は
……………

あなたとデュランの間に
生まれた子……
などということは
ないでしょうね



いえ……

それは
違います

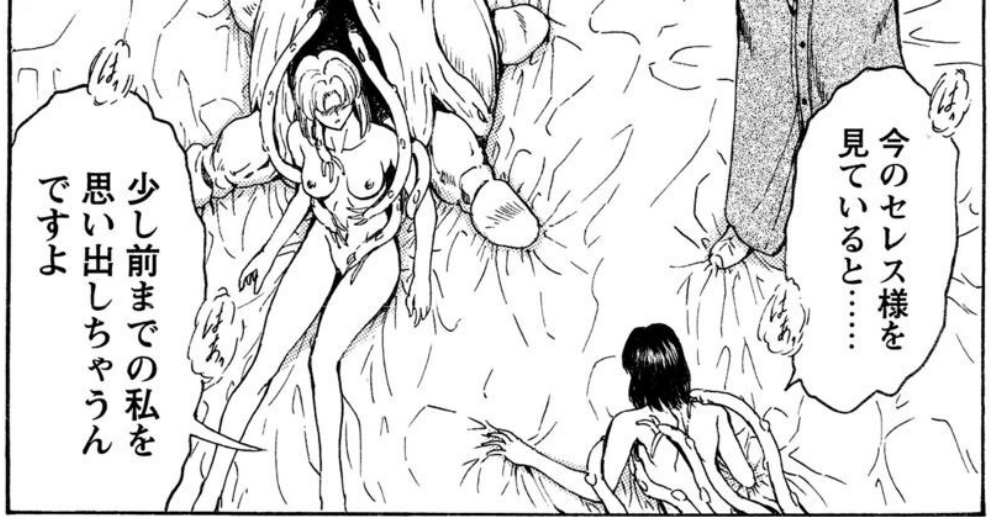
私とデュラン様の間には
肉体関係は
ありませんでした

それ以前に
……………

私は自らの想いを
デュラン様に伝えてさえ
いなかった……

そうですか
……………

それは……
無稽なことを聞いてしまい
申し訳ありませんでした



今のセレス様を
見ていると……

少し前までの私を
思い出しちゃうん
ですよ



薄っぺらい
意地や誇りという
皮をかぶって……

「武警団の隊長」
なんてものを演じていた
私を………ね



さつきから
………

ずいぶんと
勇ましいことばかり
口になさって
ますけど……

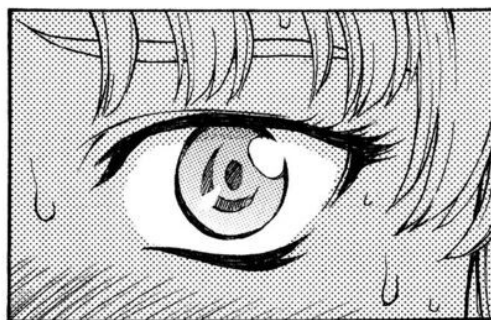
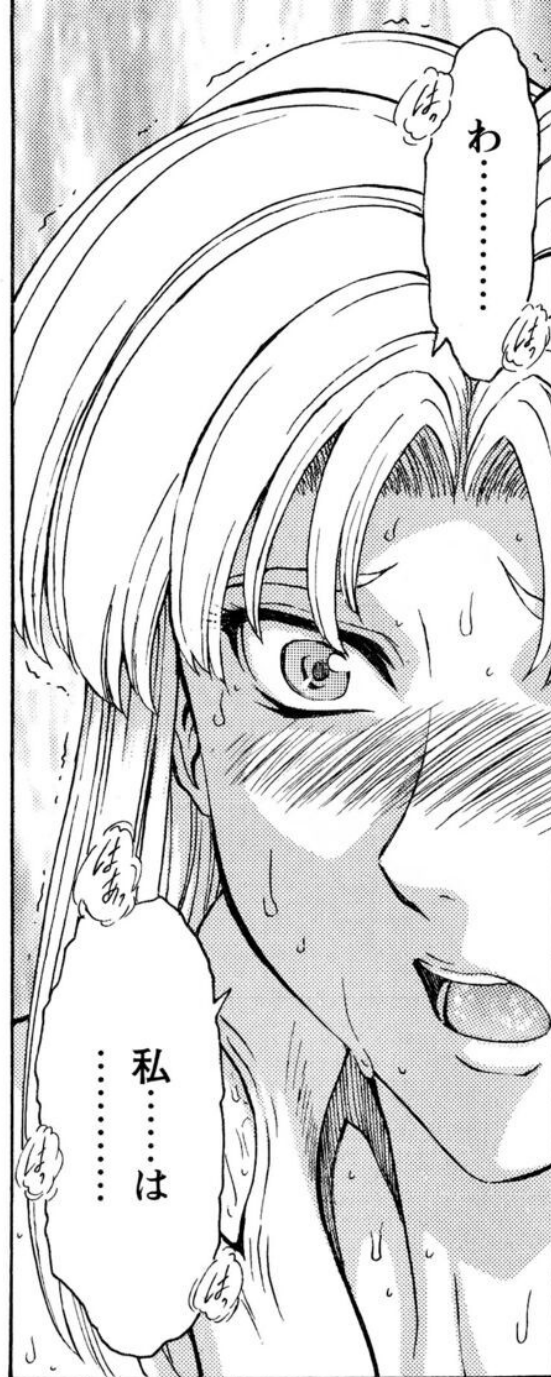


茶番を演じて
いるのは……

私達とセレス様……
はたして
どちらの方なんで
しょうかね……？

銀竜の黎明 第34話







セレス様……

あなたが今
必死で「仮面」を
被り続けて
いるのは……

すべて……
私達のため
なんですよ？

あなたは
いつだって……
そうでした

私が素体として
悩み苦しんでいた
あの時も……

セレス様の言葉に
どれ程救われたことか
……………



だから
今度は……

私達が……
あなたを
お救いする番
なんです

あなたに
最初で最後の
命令をさせて
いただきます

セレス様

今から
武警団の団員
全員を代表して
……………

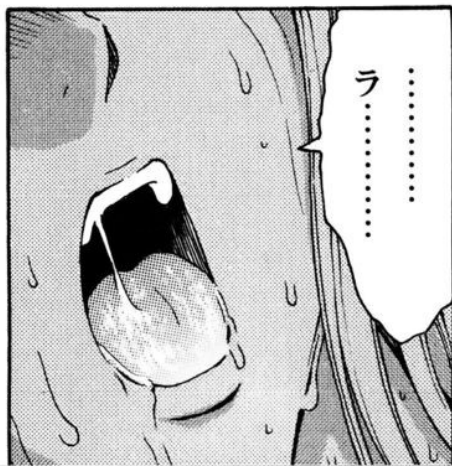
堕ちなさい……………

セレスメタリ阿斯

すべての団員といっしょに……………
私達







ラディム……様

い……今まで
本当に……

申し訳……
ありません
でした……

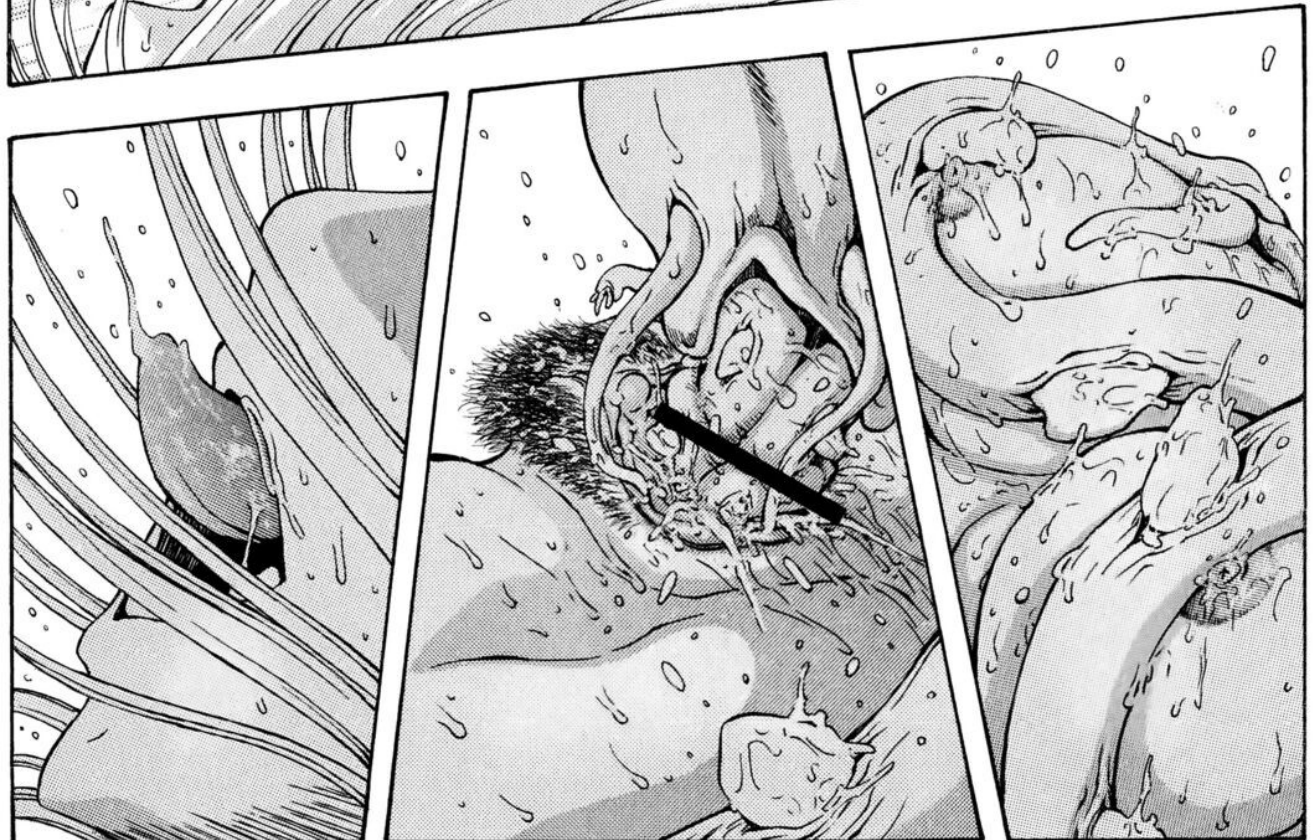
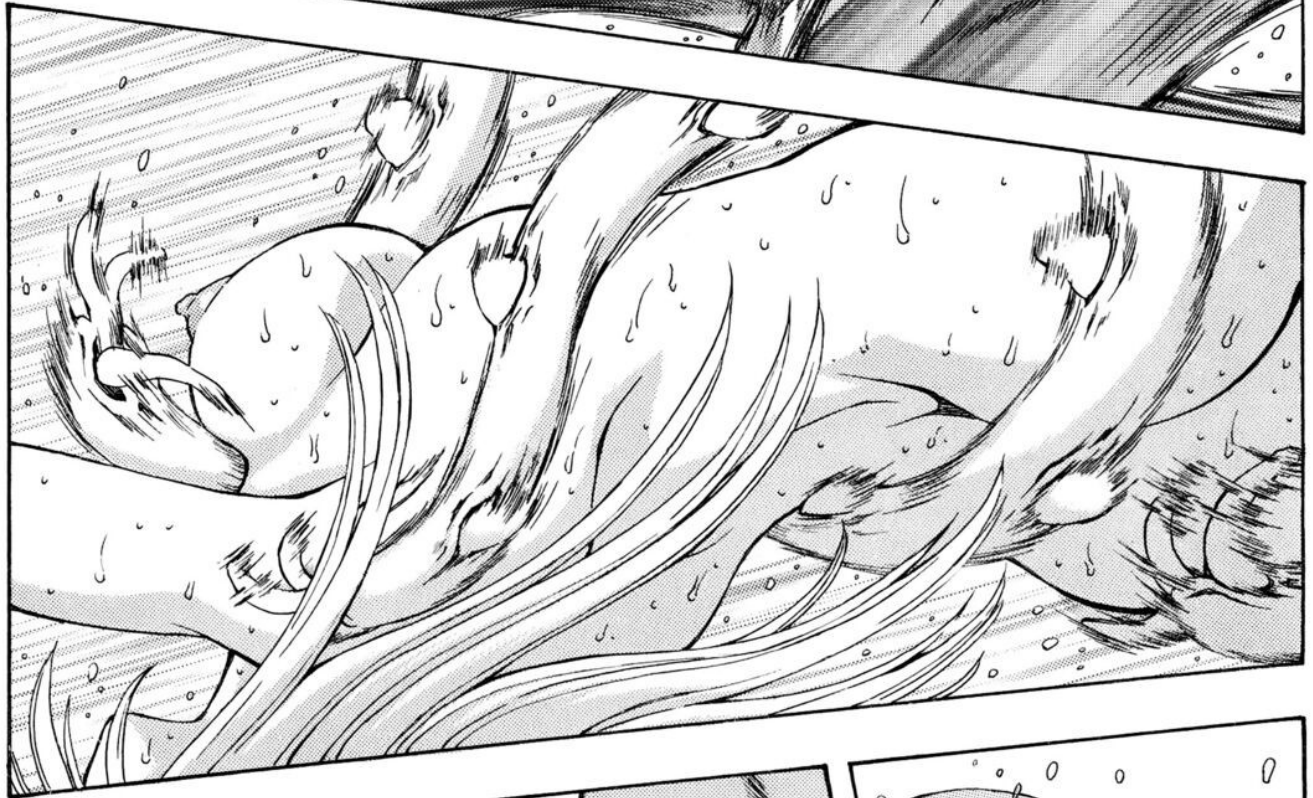
ですから
……

多大なる……
御迷惑をおかけ
し続けてしまった
こと……

心の底から……
お詫び
いたします……

ですから
お願いします
……

どうか……
私にも……





はっ

ああっ

あはっ

あっ

ああっ

ああああっ

はっ





セレス様……

セレス様あ
……



セ……
セレス様……

素敵です……
セレス様……



め……
雌豚……

雌豚って……
呼んで……

汚らしい……
変態マゾの……
雌豚って……



よ……
呼ばないで
……

私のこと……
セレス……様だ
なんて……





ほらっ
ほらっ

雌豚ちゃんは
こんなことされても
感じちゃうん
でしょ？



いきなさい!!

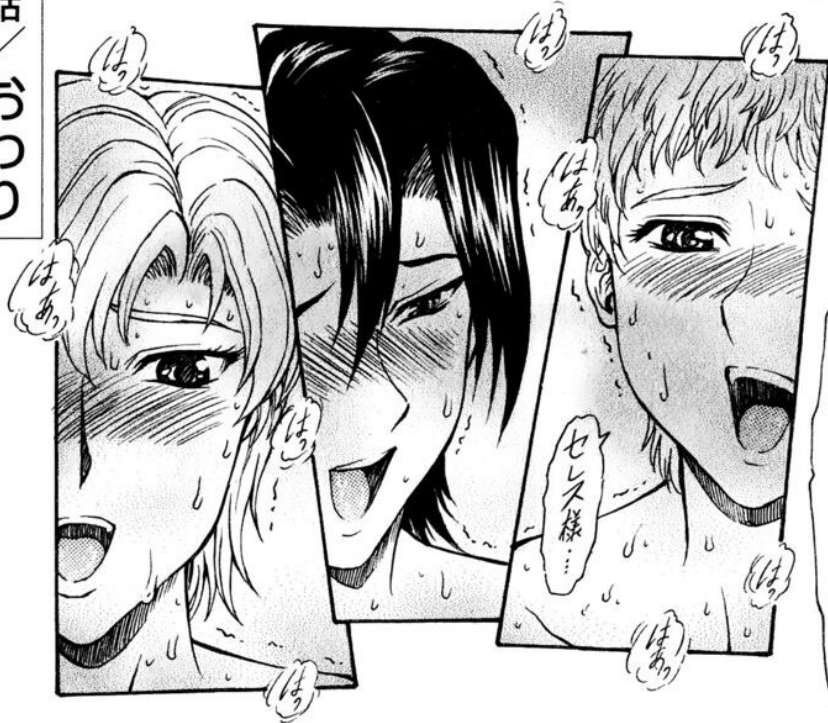
ほら……
いきなさいよ!!

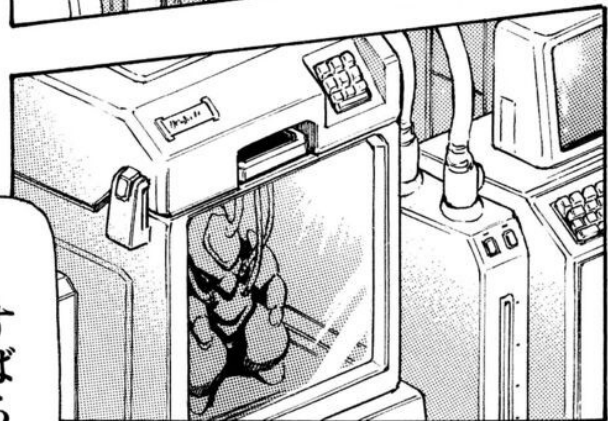
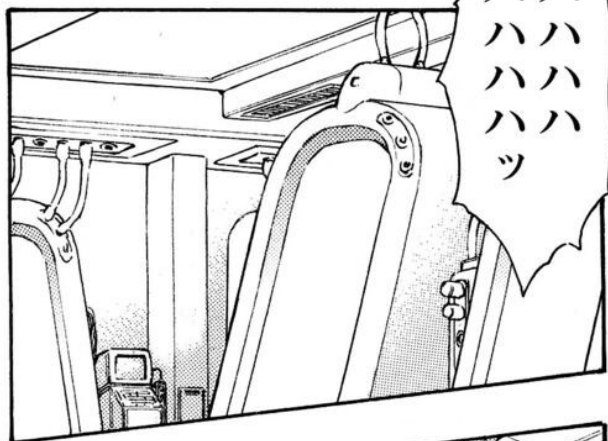
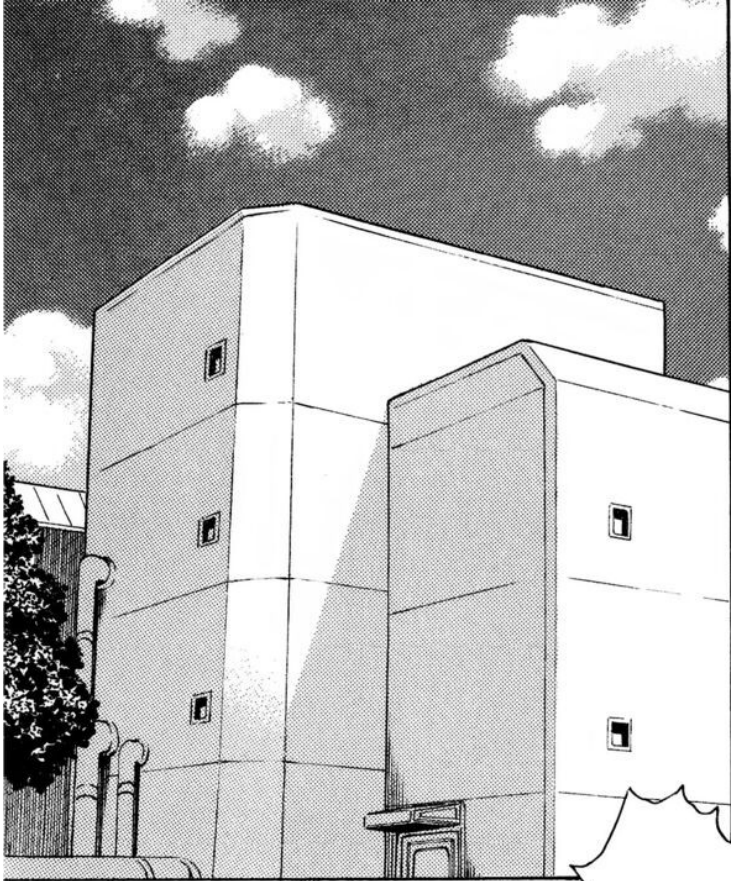
この……

ド変態の
マゾ豚女!!!

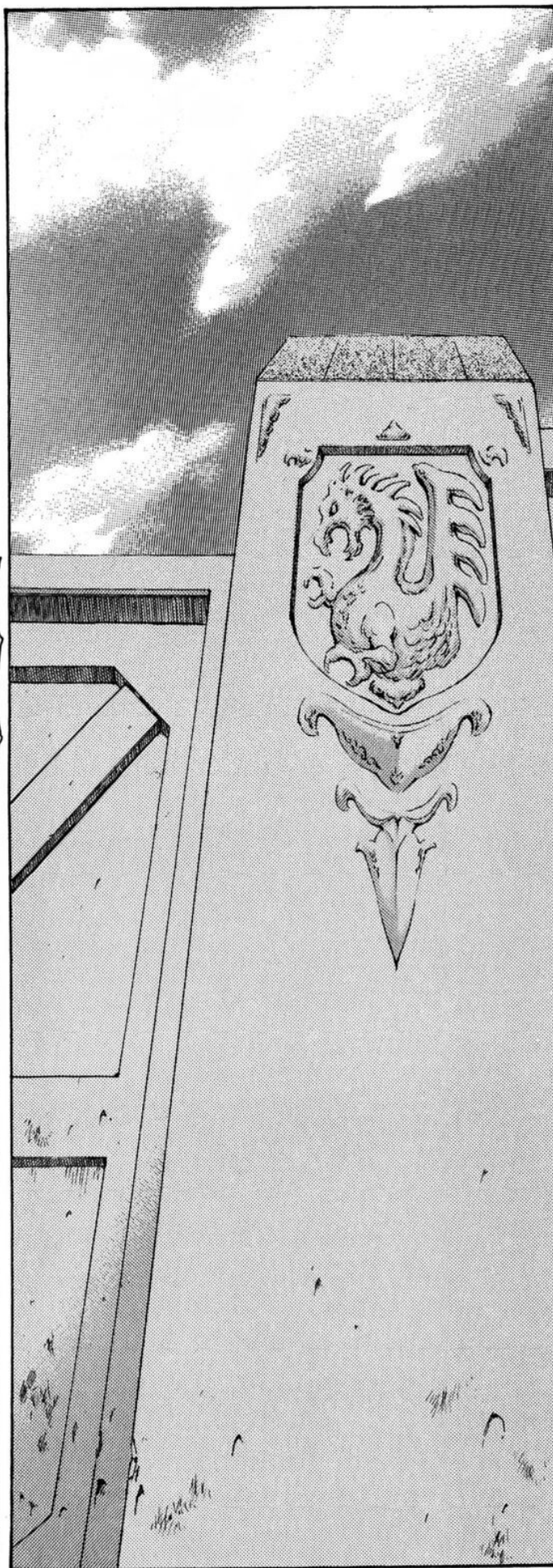


■銀竜の黎明 第34話／おわり





すばらしい



実に
すばらしい
設備だ

ここが今日から
私の研究室に
なるのか

銀電の
黎明

第35話

お気に召して
ただけて
……

幸いで
ございます

ですが……

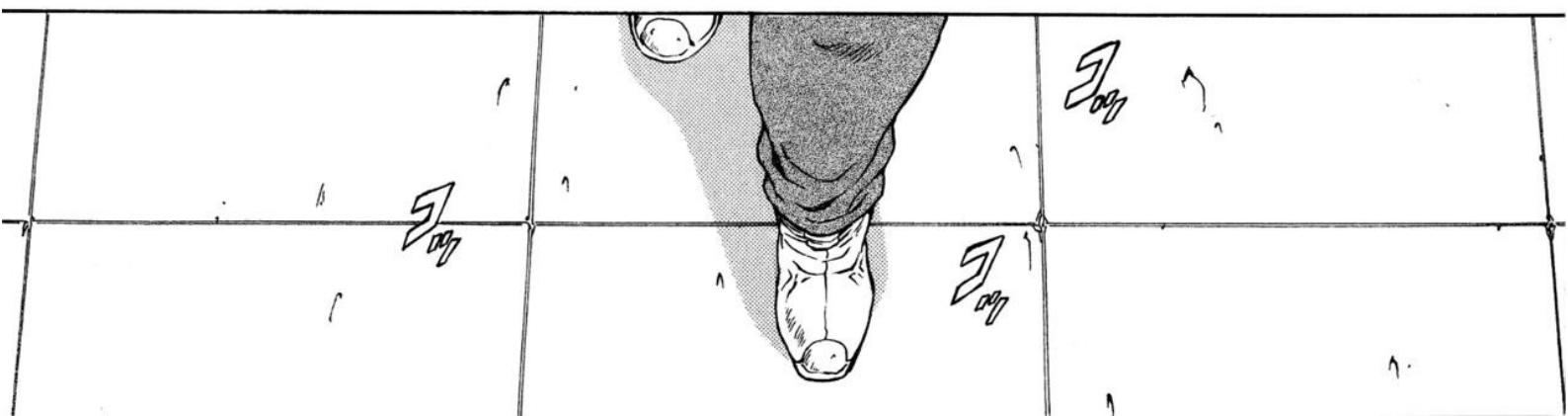
ここの設備を
ラディム様の
御要望どおりのものと
調整するには……

やはり
今しばらくの御猶予を
いただかなければ
なりません

ここまでくれば
急いで事を
運ぶ必要も
ありません

うむ……
わかっておる

ラディム様





お待たせ
いたしました

ラデイル様

な…何か…
御用でしょうか？…
ラデイル様……



うむ……

おまえの
処遇の件でな

最初はもう一度
オークションでも
開こうかと
思っていたが……



それから…
楽しむのは
かまわんが……

あまりハメを
外しすぎるで
ないぞ

おまえ達には
この先も……

表向きは今までどおり
銀竜師団としての活動を
続けてもらわねば
ならんのだからな



どうもベイル將軍が
おまえの協力も
仰ぎたいらしくてな

とりあえずはここに
留め置くことにした



ほんとに？
セレス

ほんとにこれからは
いっぱい会いに
きてくれるの!?

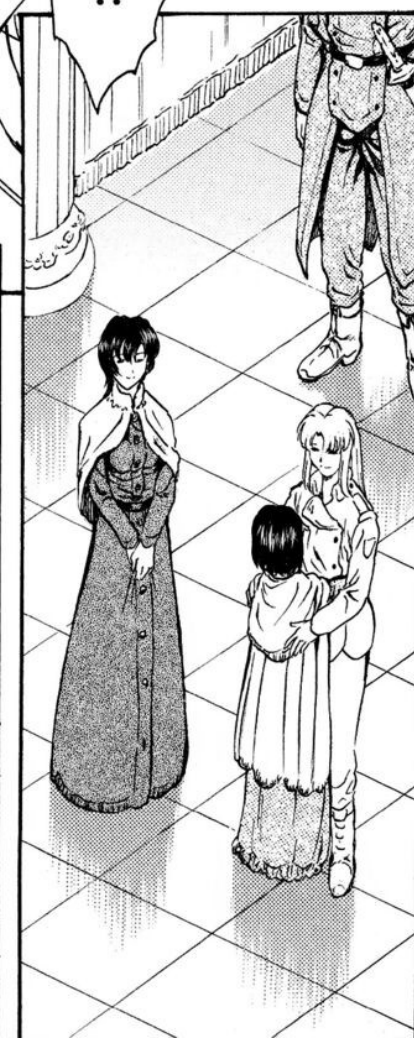


ほんと!?



これからは
今まで以上に
陛下とのお時間を
大切にしていこうと
思います

はい…さすがに
毎日というわけには
いきませんが……



やはり陛下は
私にとって
.....

誰よりも大切な
御方ですからね

うん.....

僕も
愛してるよ
セレス

きっと
りっぱな王様に
なって.....

しあわせにして
あげるからね

はい.....

楽しみに
しております
陛下



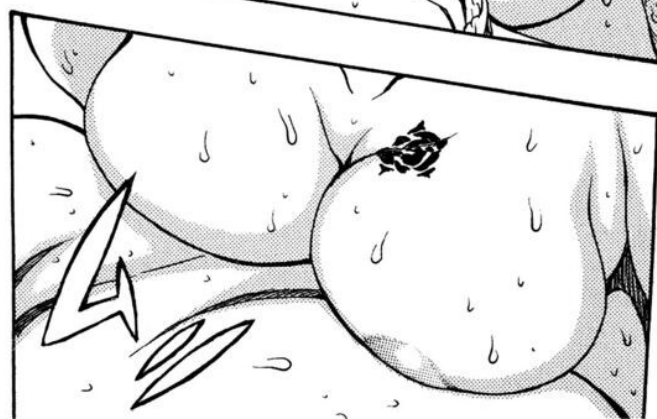


そうだ……
いいぞ……

もつともつと
丹念に……
心を込めて
しゃぶるんだ



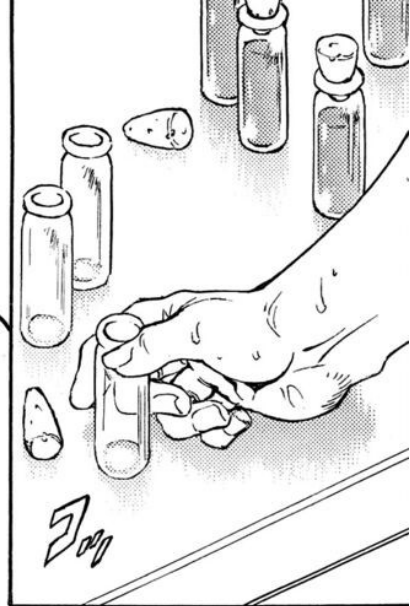












銀竜の黎明 第36話

ええ……

あの方が
忠義の士などと
呼ばれているのは
知っています

そして
何よりも……

だからこそ
……
わからないのですよ

主^{あそ}の仇であるはずの
ローゼをなぜみすみす
生かしているのか……と
いうことがね

大臣達を懐柔して
いったい何を
しようとしているのか



まあ
とは言っても……

ローゼの方は
ある程度の予想は
つきますが



なにしろ
国王の死因が
病死ではなく
暗殺……

しかも
やったのがその
王妃となれば
………ね



たしかに
そのとおりだな

だが………
最も重要なのは
そこではない



仮にローゼを
公然と裁こうとしたら
どうしても
前王アドニス死の真相が
明らかになってしまう……

そうになったら
とんでもない
大騒ぎになるのは
目に見えていますからね

ベイル將軍が
隠蔽して
おきたいのは
むしろ……

ローゼに
復讐を決行させた程
愛した男がいた
………という
点であろうな

銀電の
黎明

第36話



……
どういう意味
ですか？

それは……

考えても
みろ

もしそのことが明るみに
なった場合……



ルシアン王は
アドニスではなく
その「愛した男」との間に
生まれた子ではないか
という……

私と同じように
下衆の勘繰りをする輩が
出てくるに決まっておる

!?



それを否定できる
客観的な証拠が
何もない以上
……

結果として
どのような事態を
招くのかは
容易に想像が
つくであろう？

銀竜の黎明 第36話



しかし……

もしそれが
本当ならなんとも
皮肉な話ですね

王家のゴタゴタの
尻拭いを
するために……

その元凶を作った
我々と協力体制を
とるなどと

まさか
おまえは……

ベイル將軍が
我らをこのまま
捨て置くとしても
思っているのでは
あるまいな？

!?

では
やはり……

いつか我々に
対しても……

当然であろう

今はただ他に
優先されるべきことが
あるに過ぎん

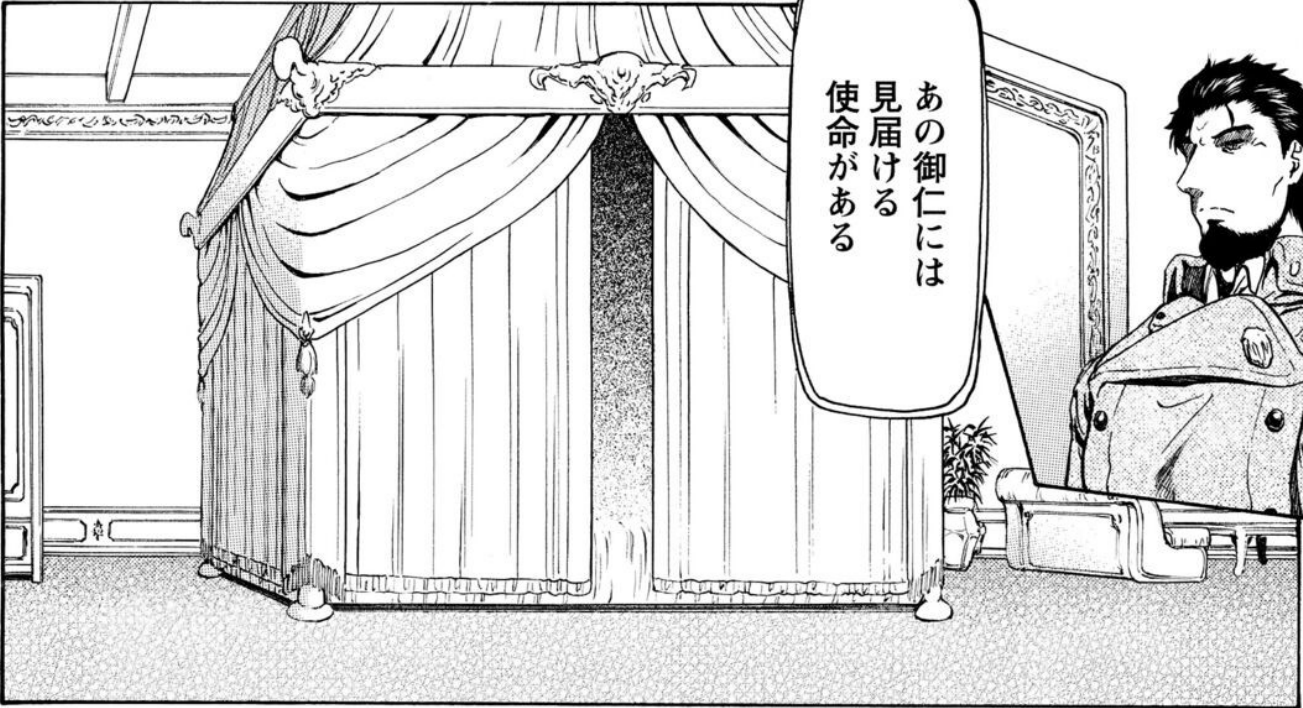
何年先の
ことになるか
わからんがな



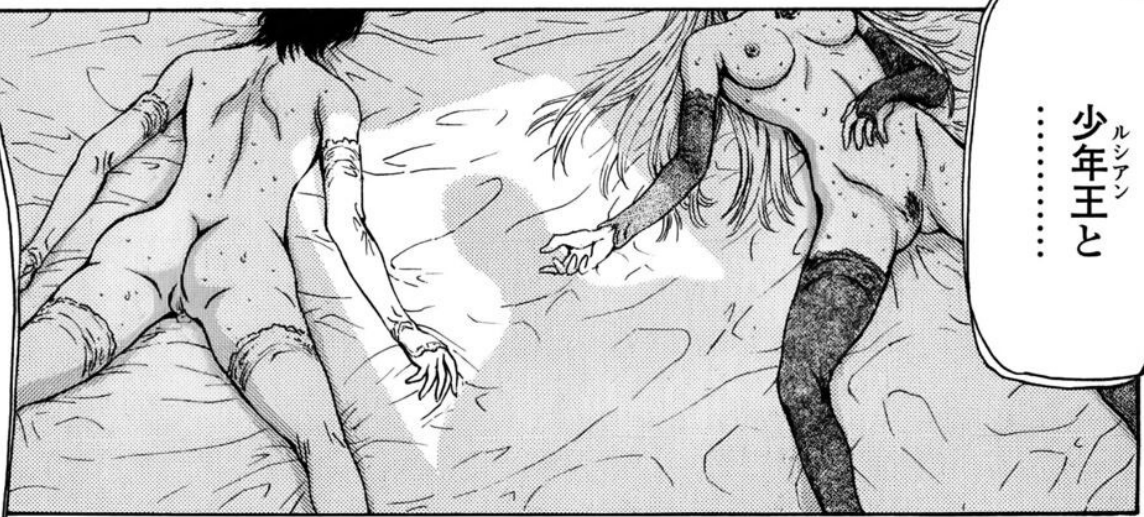
もつともその
「いつか」というのは
.....



あの御仁には
見届ける
使命がある



この国の
行く末をな



ルシアン
少年王と
.....

そして
その必要も
なくなつたと
判断した時……

すべての清算を
するつもり
なのであろう

あるいは
自分自身も含めて
………な

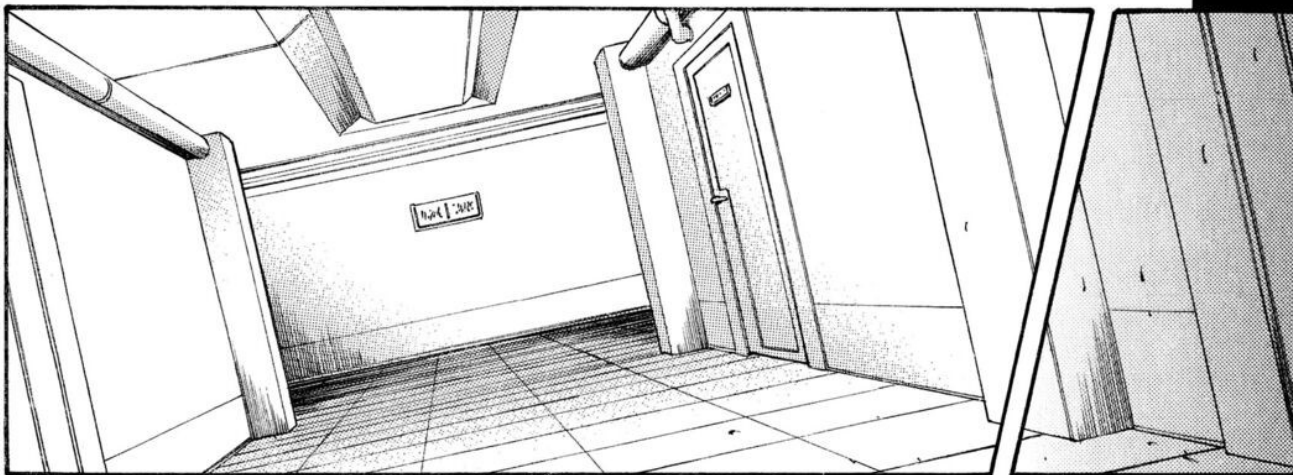
無論私として
むざむざ
殺される気などない

万全の対策をもって
それに
応じるつもりだ

だが
今しばらくは……

ようやく手に入れた
この平穏な日々を
堪能しようではないか

銀竜の黎明 第36話



本来なら
あのシアって娘と
一緒に売りに出される
ところを……

ラディム様に頼んで
ここに残してやったのは
俺なんだぜ

もっともおまえが
処女だったら
そうはいかなかった
かもしれんがな

ククク……
それにしても

どんな男だったんだ？
おまえの初めての
相手というのは

幼馴染の……
ルロイ・アーガイル
……

将来は……
結婚しようと
誓いあった……
仲でした……

ほう……

だが
「でした」ということは
すでに別れている
ということか

殺され
……
ました……

あなた方……
奴隷商人に
拉致されようと
した……私を
助けるために
……

なるほどな
……

それがおまえが
武警団にいる
理由か

どうやら随分と
無粋なことを聞いて
しまったようだ

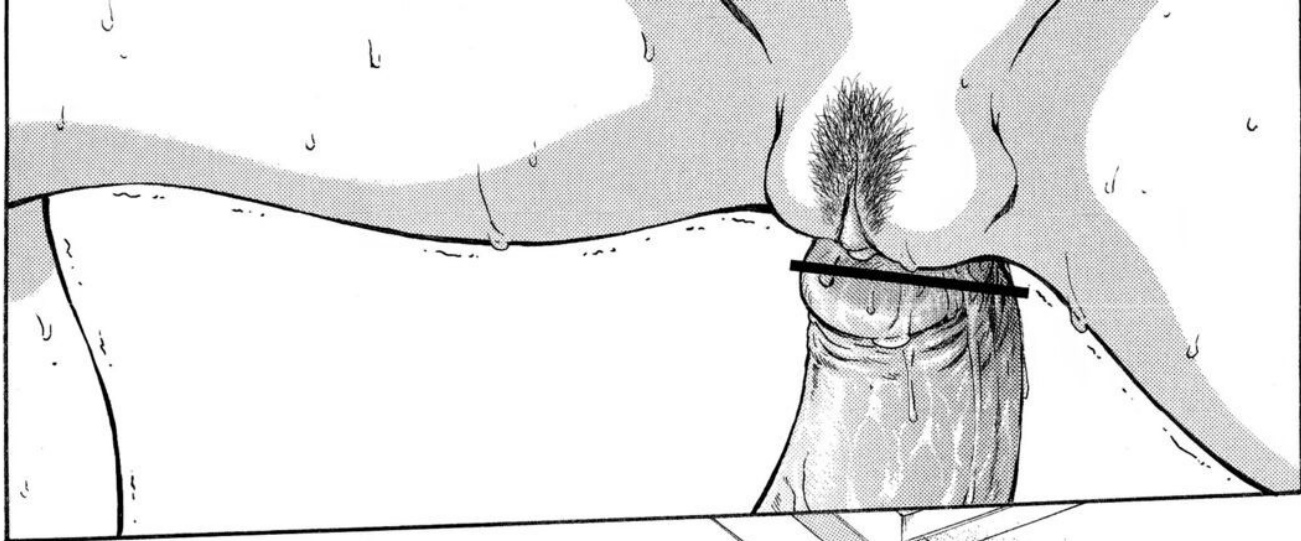
詫びと言っては
なんだが……

今夜は
忘れさせてやるぞ

その男のことも
……
何もかもな











どうやら
堪能できた
ようだな

久しぶりに
くわえ込んだ
男のモノは

ところで…

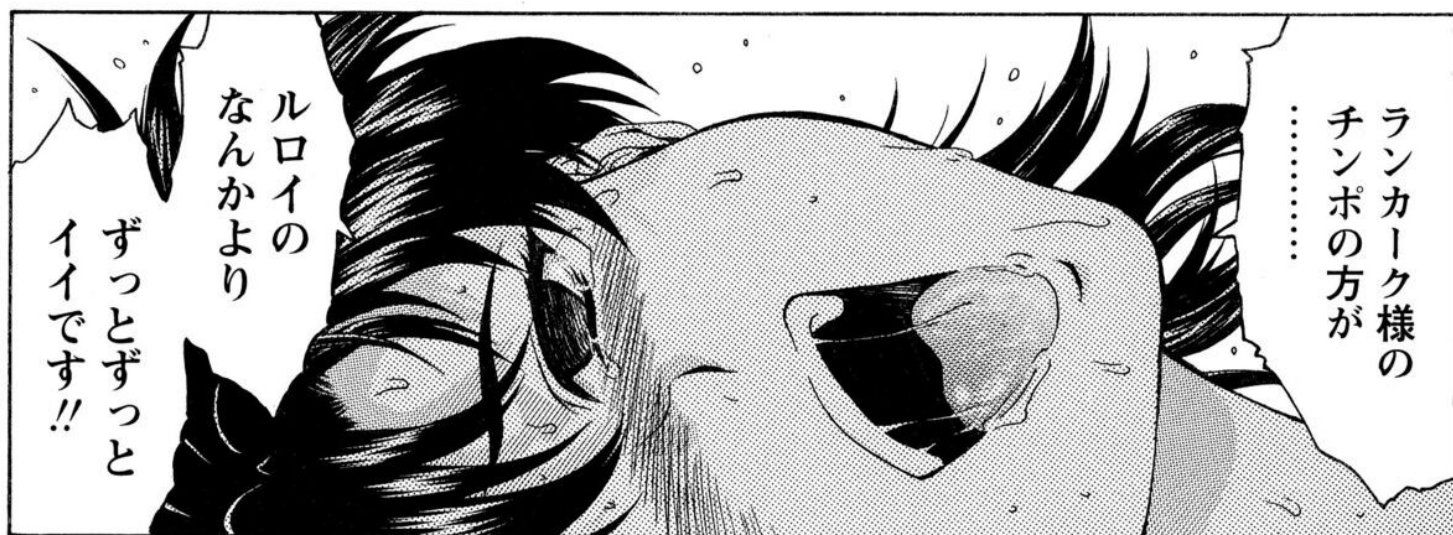
どちらの方が
良かったんだ？

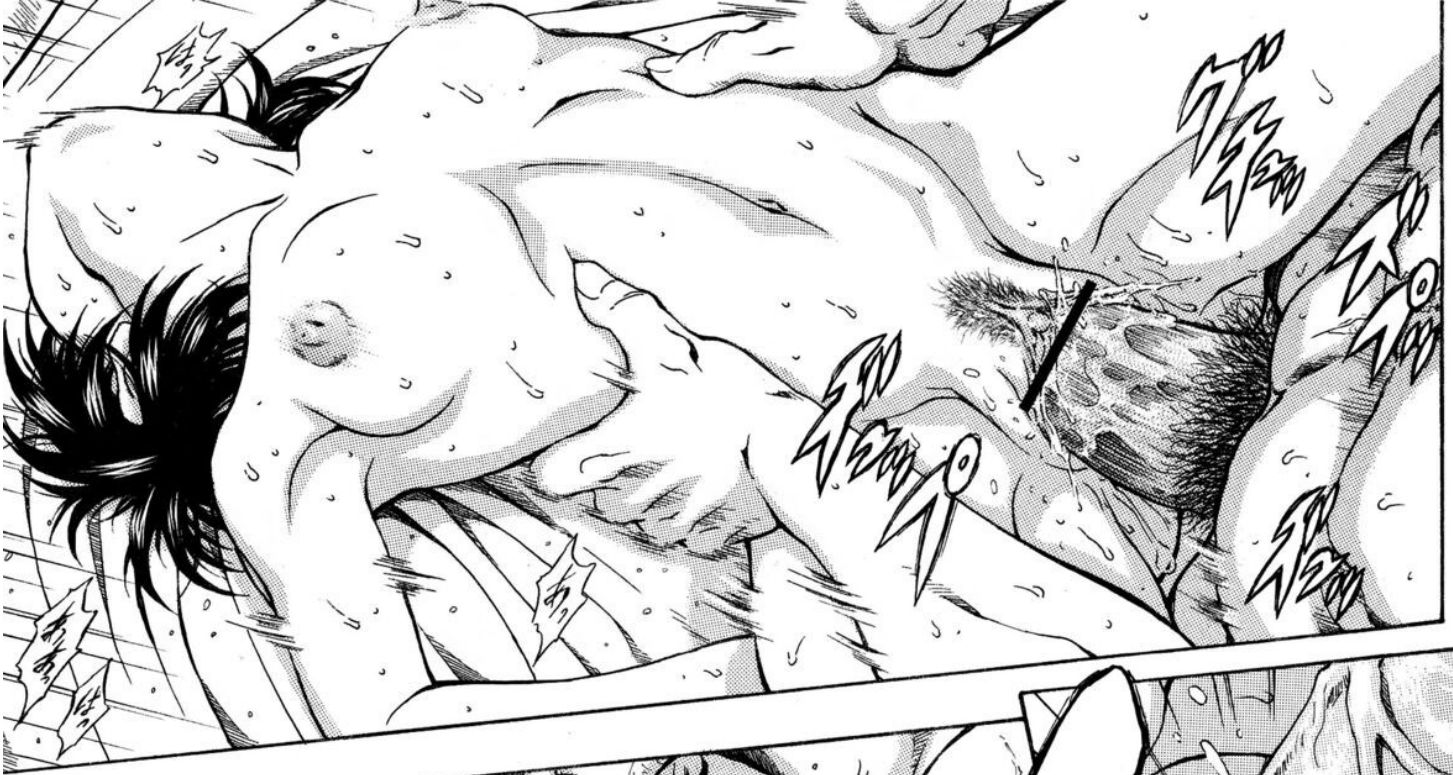
銀竜の黎明 第36話

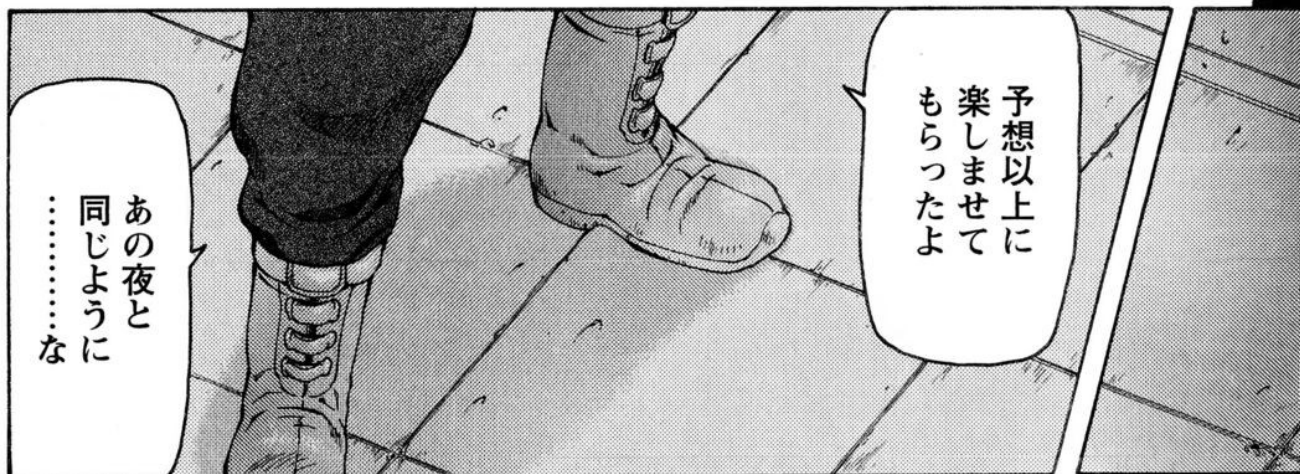












予想以上に
楽しませて
もらったよ

あの夜と
同じように
……………な



じゃあな

いい夢
見ろよ



また近いうちに
よろしく頼むぜ

俺もこれからは
そこそこヒマに
なりそうなんでね

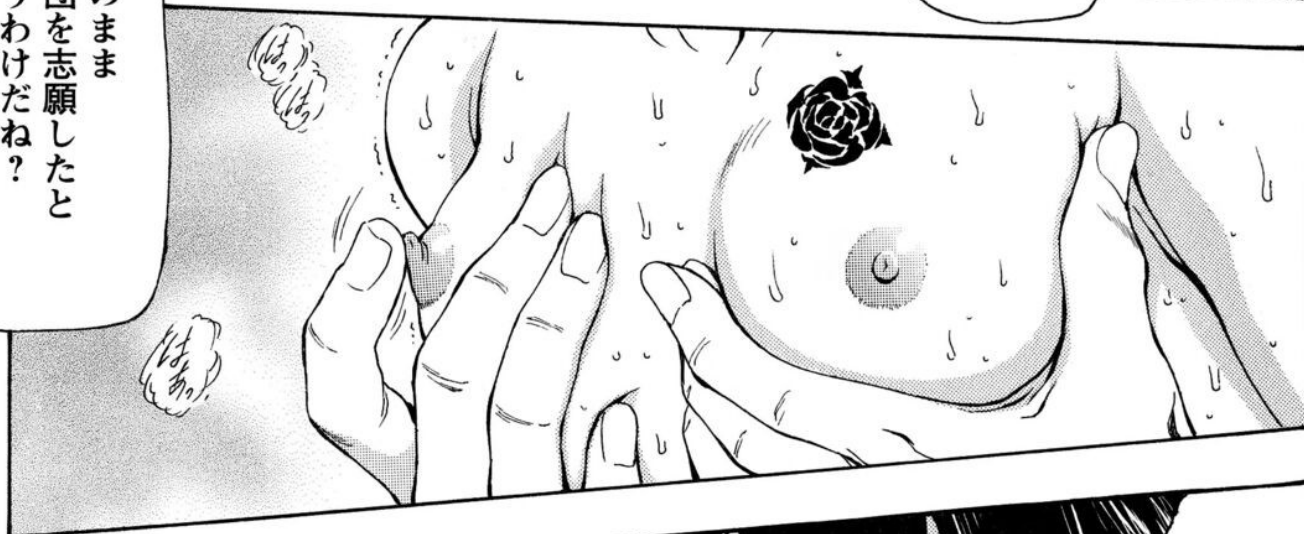




フム……
なるほど

そこを間一髪……
銀竜師団に
助けられ……

そのまま
入団を志願したと
いうわけだね？



はい……
はい……

その……とおりで
ございます
……………

あの時
以来……

私の目に……
男の人は……

嫌悪と……
蔑みの対象としか
……映らなく
なりました……

フフフ……
それは
手厳しいな

そして……
実に
不幸なことだ





だが……
安心したまえ

あつ……

あああつ……

夜が
明ける頃には……

あつ……あ……

君はその
忌まわしき呪縛から
完全に解き放たれて
いるだろうからね





んっん……

んっん……

そうそう……
男を知らぬと
言え……

壁一面に
かかっている
女性の肖像画の
意味がわかるかね？

全部で
二百八十六枚ある

無論ただ単に
今まで抱いた娘達
……というわけではないぞ

君は私の
コレクションの……

二百八十七人目になる
というわけだ

フフフ……
いつもながら
いいものだよ

まだ男を知らぬ娘から
受ける奉仕と
いうのは……ね









この瞬間
だけは……

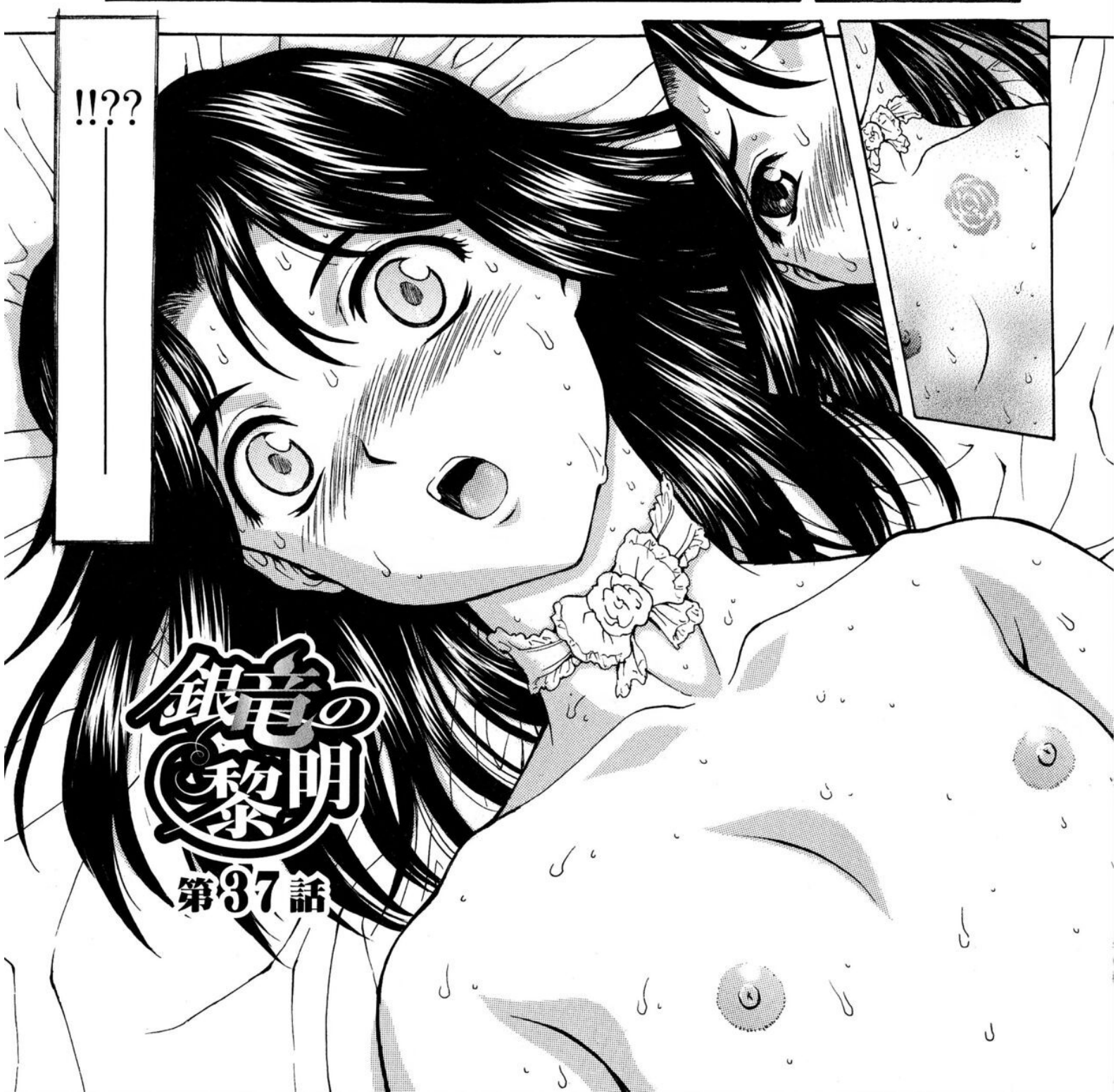
何度経験しても
飽きることは
ないであろうな





では
そろそろ……

正気に
戻りたまえ
シアリアデール



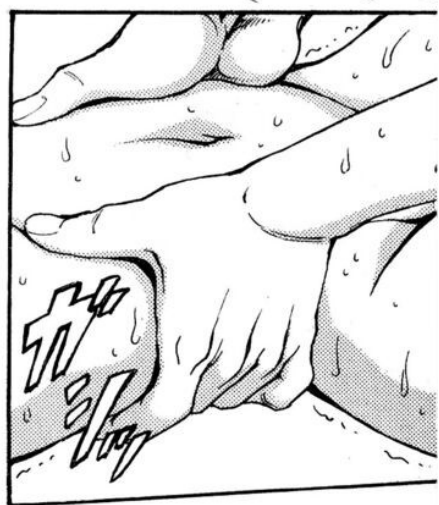
!!??

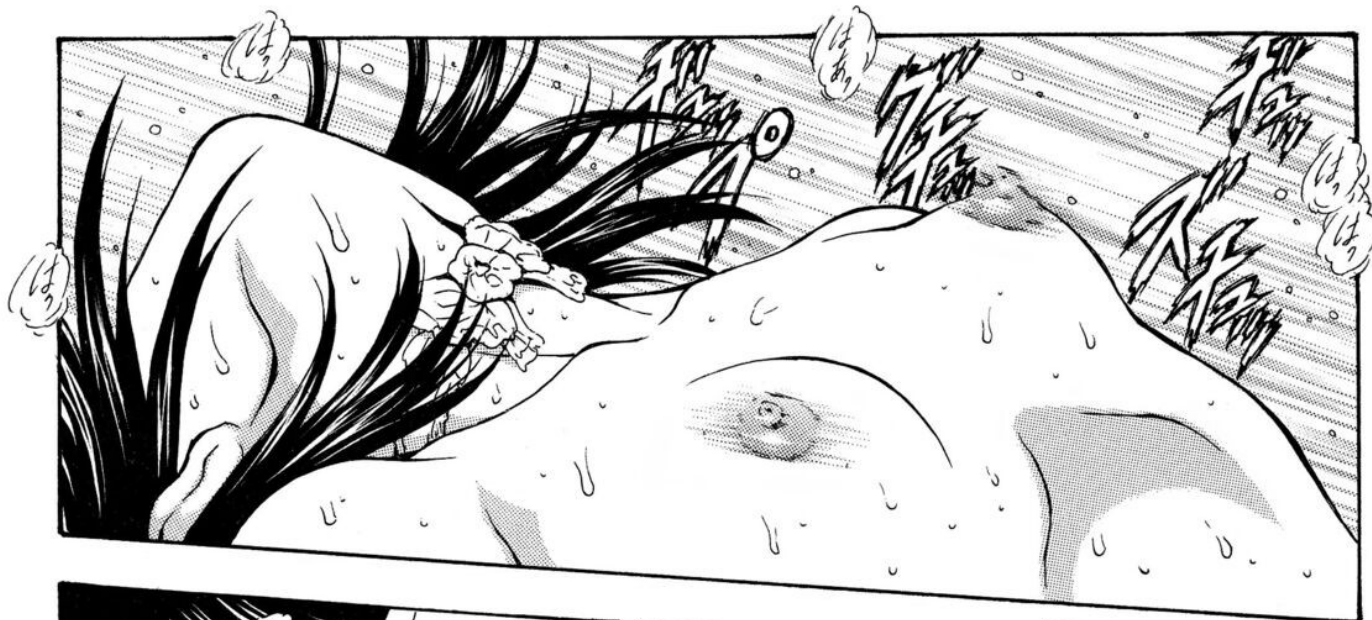
銀電の
黎明

第37話











さあ……

今から
またひとつ……

君の「初めて」を
いただくよ



どうかね？
シア

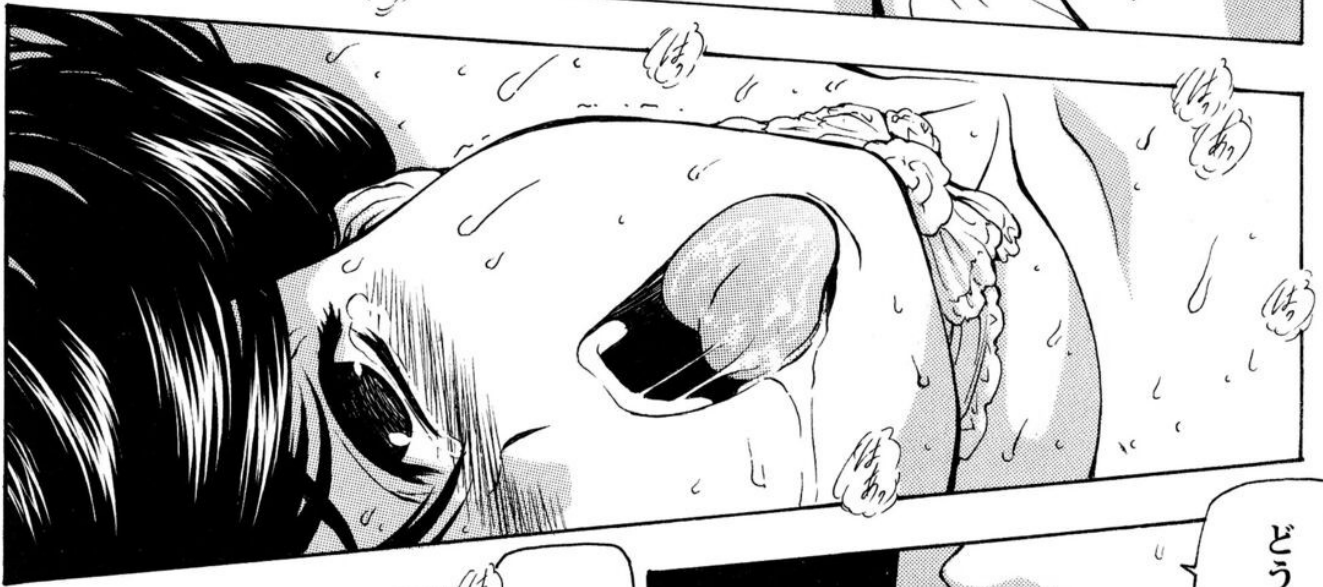
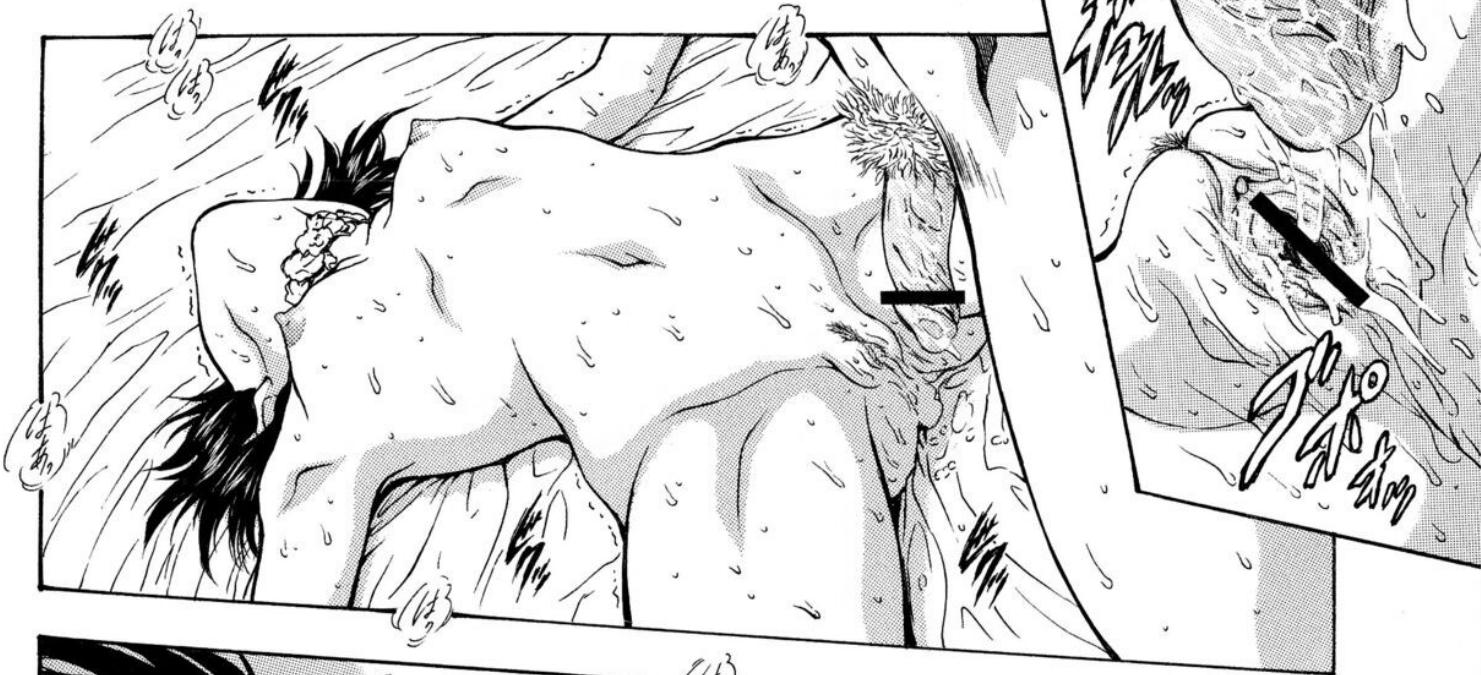
そろそろ
わかってきたで
あろう？

先程までの
自分が……



いかに
愚かだったかと
いうことが





どうだったかね？

生まれて
初めて……

素体である
君にとっては……

天にも昇る程の
快感であったはずだ

子宮に精液を
注ぎ込まれた気分は



だが.....

まだまだ
こんな程度では
.....

物足りないで
あろう？

これを
からだ
その素体で
.....

もっともっとと
味わいたいの
であらう？

上に
乗れたまえ

今度は君の意志で
.....
好きなように
楽しむがいい

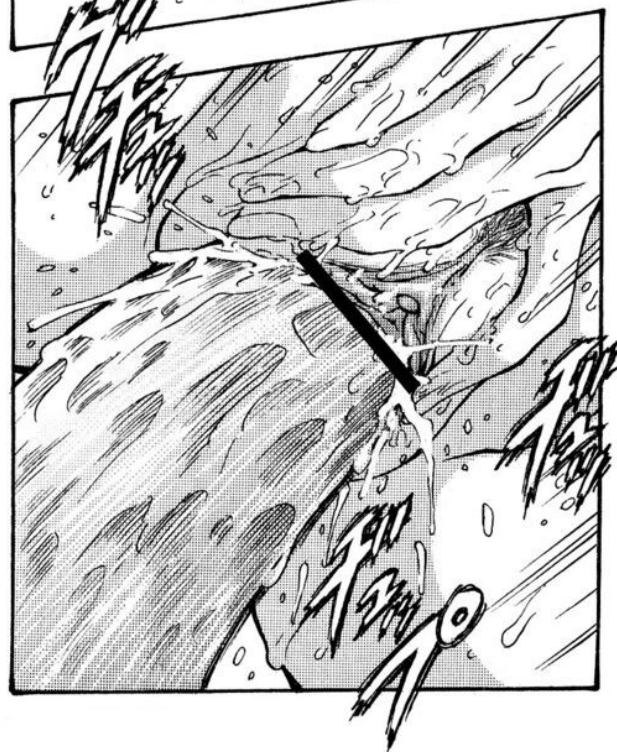


武警……団の



団

い……





あつ……

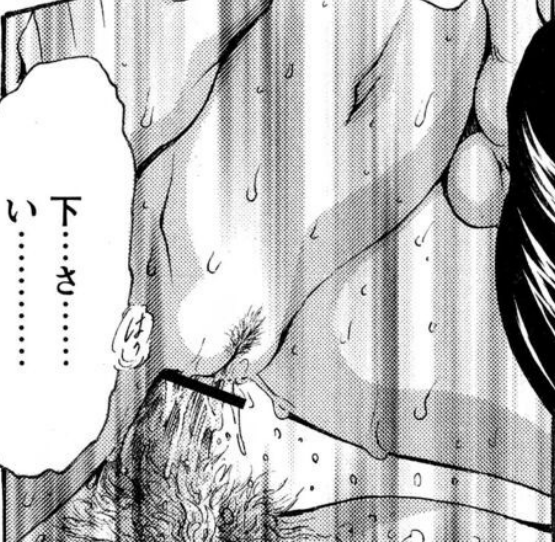
あはっ……
あ……



……して



射精して……



下……さ……
い……



あはっ……

あっ……

はあああ~~~~



さつき……
みたいに……



シアの
なか
膣内に……

注ぎ込んで
下さい!!!





さて……
シアよ

私はそろそろ
休ませてもらうが



なに……
かまわんよ

これは
むしろ彼女のため
なのだからな



へへへへ……



君のその身体^{からだ}を
支配している
情欲は……



いつも
すみませんね
オイゲンさん



今からは
この男達に
満たして
もらうといい





あつ……

あはっ……
あ………

ほん…と…?

して…
くれるの…?

シアにもっと…
気持ちいいこと
してくれるの…?

ちようだい
……

シアのここに…
もっと……

ちよう
だい………









!!?

あつ……

がつ……





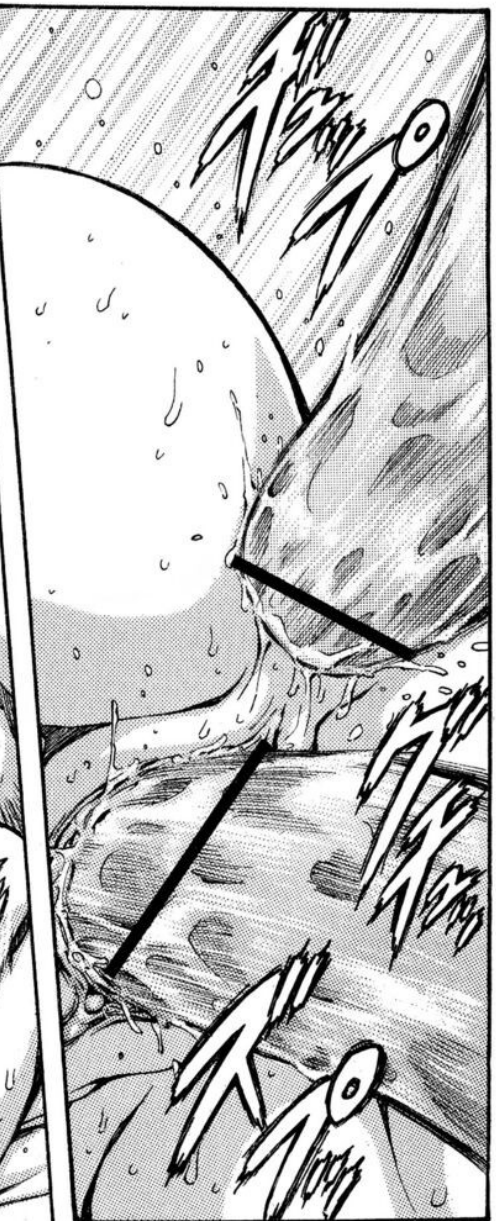
あああつ

いつちや

おしり
で...

いつちや...
あ...







いつ……くう……
また……
いつちや……

いくつ
いくうううう



あはっ……
あつ……

あああああ~~~~~

ふう……
犯^やった
犯^やった

次の番
誰だ？

俺しばらく
休憩でいいや

俺も
もう四回も
犯^やったからな

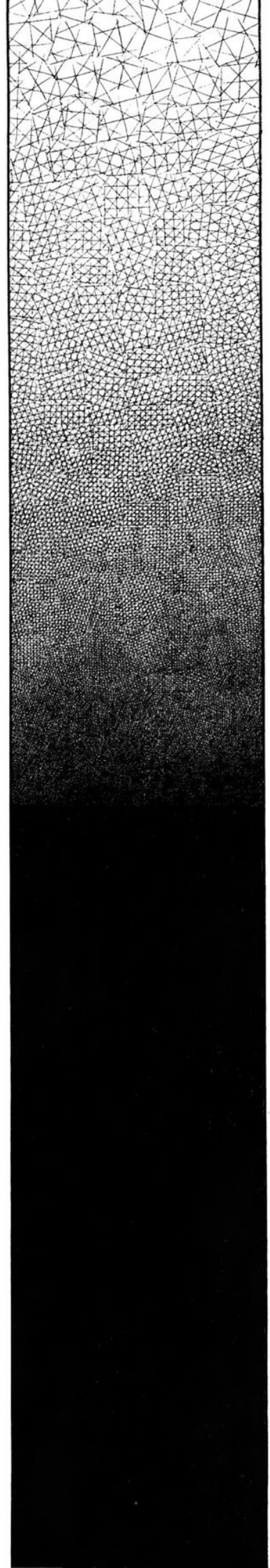
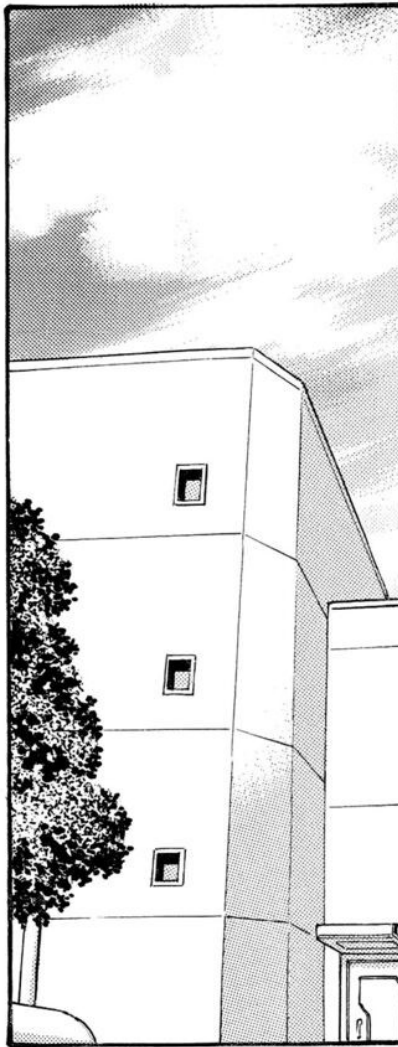
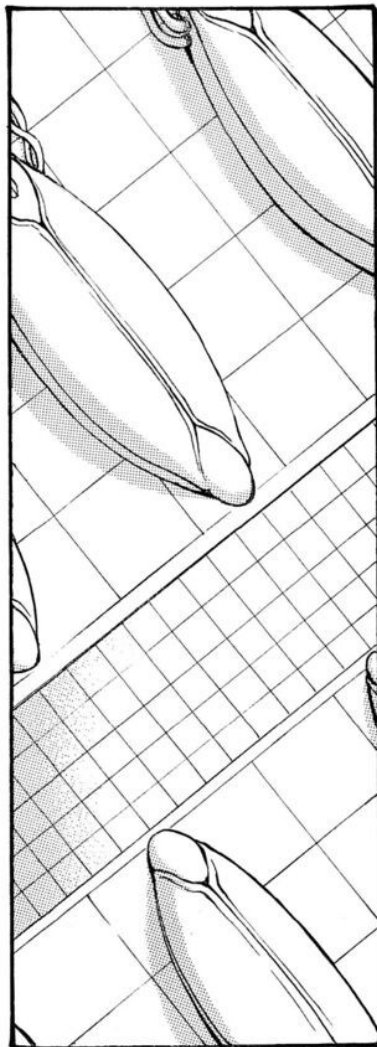
ねえ……
もっと……

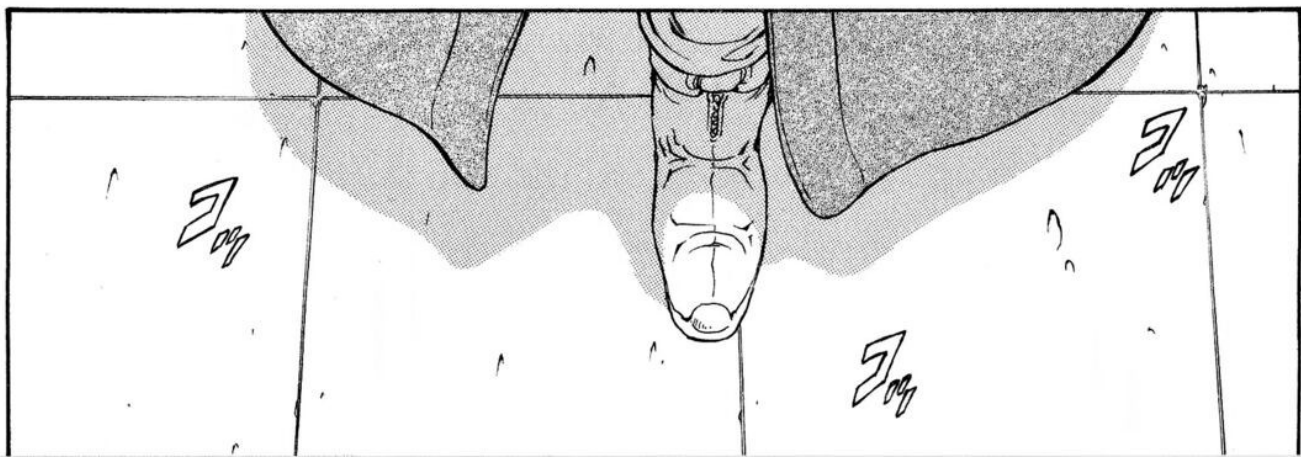
もっと……
して……

でもよこのお姫様は
まだまだ満足
してないみたいだぜ

まったく女つてのは
いいもんだな
何十回でも
イきまくれてよ

シアにもっと……
気持ちいいこと……
……して……







武警団の
全団員………

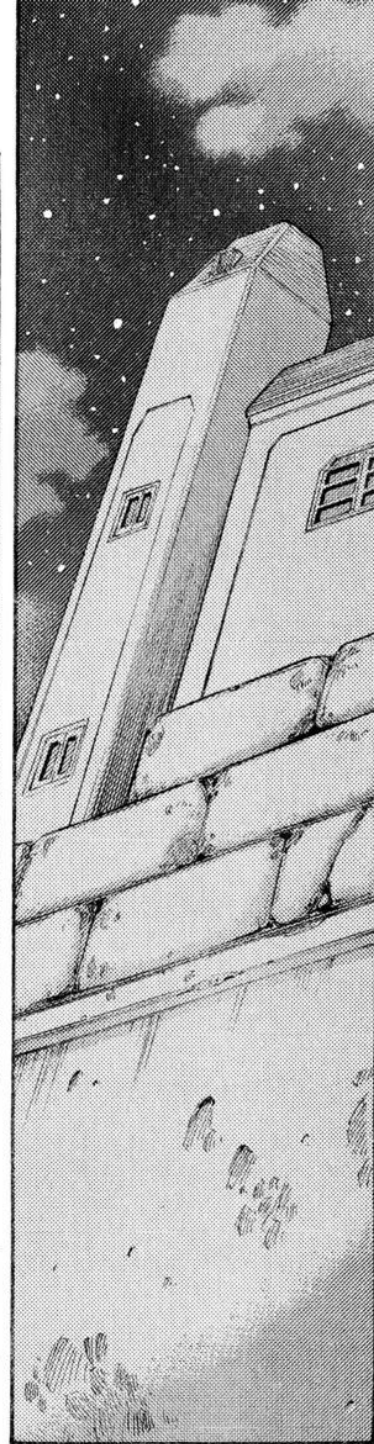
素体化作業
終了いたしました



ラディム様



御報告
いたします



いえ……
生憎と私は所用が
ありましてね

その代わりと
言っでは
なんですが……

今夜はこの子……
孫のミハエルの相手
をお願いしようと
思いましたな

え？……

お初にお目にかかります



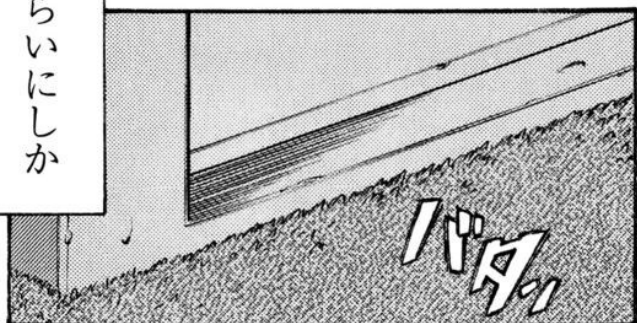
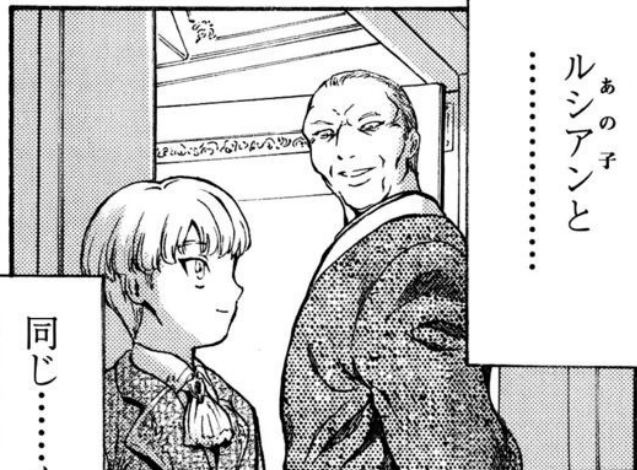
皇太后陛下



あ……

あの子
ルシアンと
……

同じ……くらいにしか
……



それじゃ……
始めましょうか



ローゼ様

そんな
……

だってこの子……
どう見ても
まだ……



なんでも
おじい様に
言わせると……

貴族としての
男の格は
どれ程多くの……
そして高貴な女を
抱いたかで決まる
そうなんですよ

だから今までも
さんざんおじい様の
お古をあてがって
もらってたけど……

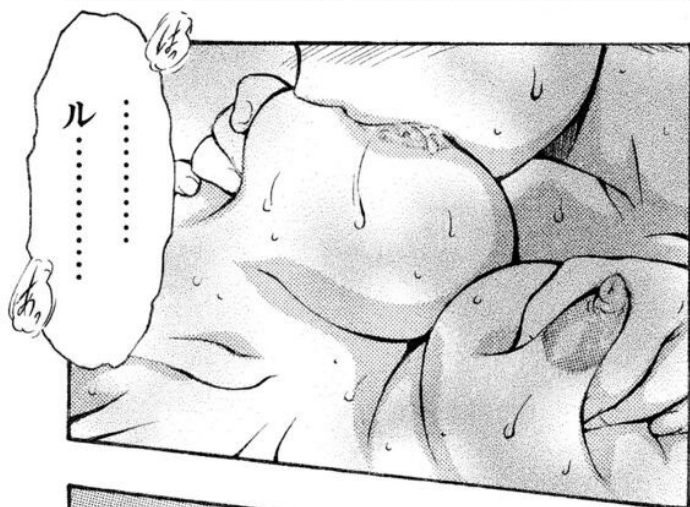
さすがに
今回ばかりは
びっくりしましたよ

なにしろ
この国で……

一番 高貴な女性が
出てきちゃったん
ですからね







銀竜の黎明 第37話





私は……
ミハエル様の……

忠実な…雌奴隷で
……ございます……



も……
申し訳……

ありません
でした……



御主人様に……
からだ
身体を使って
いただいている最中に
……他の男のことを
考えるなど……

私は雌奴隷として……
あまりにも愚かで
ございました……





も……
もちろん……

ミハエル様の
……オチンポで
ございます……



じゃあ
聞くぞ

僕のチンポと
ルシアン
我が子を比べたら
どっちの方が
大事なんだ？



ルシアン
なんかより……
オチンポの方が
ずっとずっと
好きなお……

オ……オチンポオ
オチンポ
好き……



何を
するための
モノだ？

ローゼ
答えろ
おまえの子宮は
なんだ？

はっ…
はい…
私の…ローゼの
子宮は…

ミハエル様の精液を
注ぎ込んで
いただくための
肉壺でございます!!





そうそう
聞いてよ
ローゼ



今度セレスも
抱かせてもらう予定
なんだけどさ

城にはたまにしか
来ない上 順番もあるし
いつになるかは
わからないんだって

そうすればこの先
もし本当に
ルシアン陛下とセレスが
結ばれたとしてもさ……

セレスの正式な夫は
僕ってことに
なるからね

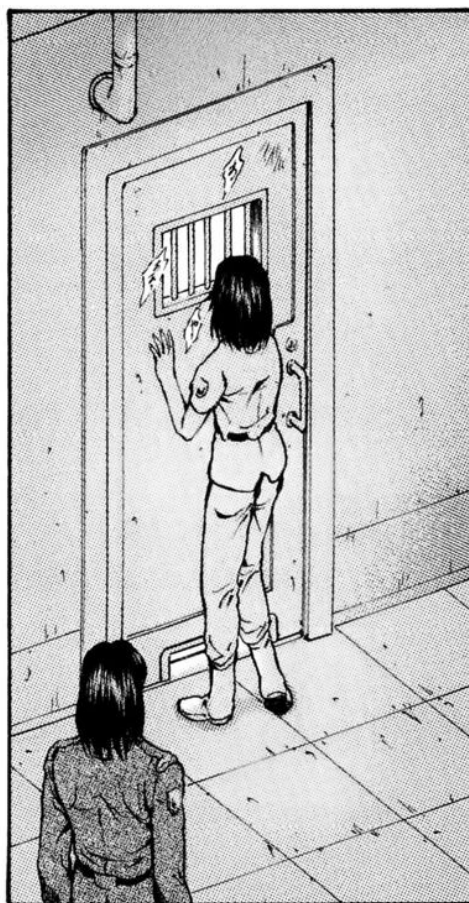
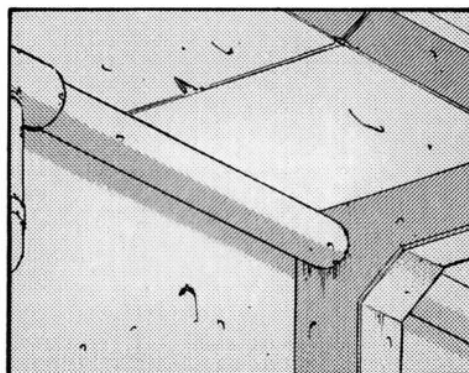


あー楽しみだな
セレスのオマンコ
味わうの

僕その場で
セレスに
結婚してもらう
つもりなんだ

すごく
おもしろそうでしょ？
この遊び

銀竜の黎明 第38話





はっ

あっ

はあっ

ああっ

あっ

銀竜の黎明

第38話





いいのよ…
シア

間違ったこと
じゃないわ

!?

ひとつの物事を
知ることです……

自分の中の価値観を
一変させてしまうことは
………ね

——
それよりも……

どうだった
かしら……？

さっきの
私………

武警団の
団長が……

その本部内の
牢獄に繋がれて
レイプ
強姦される……

お客様には大いに
満足してもらえた
みたいけど……

あなたは
どう思ってたの
……………？

私のこと……
食い入るように
見つめながら……

いったい
何を……考えて
いたのかしら？

ズン

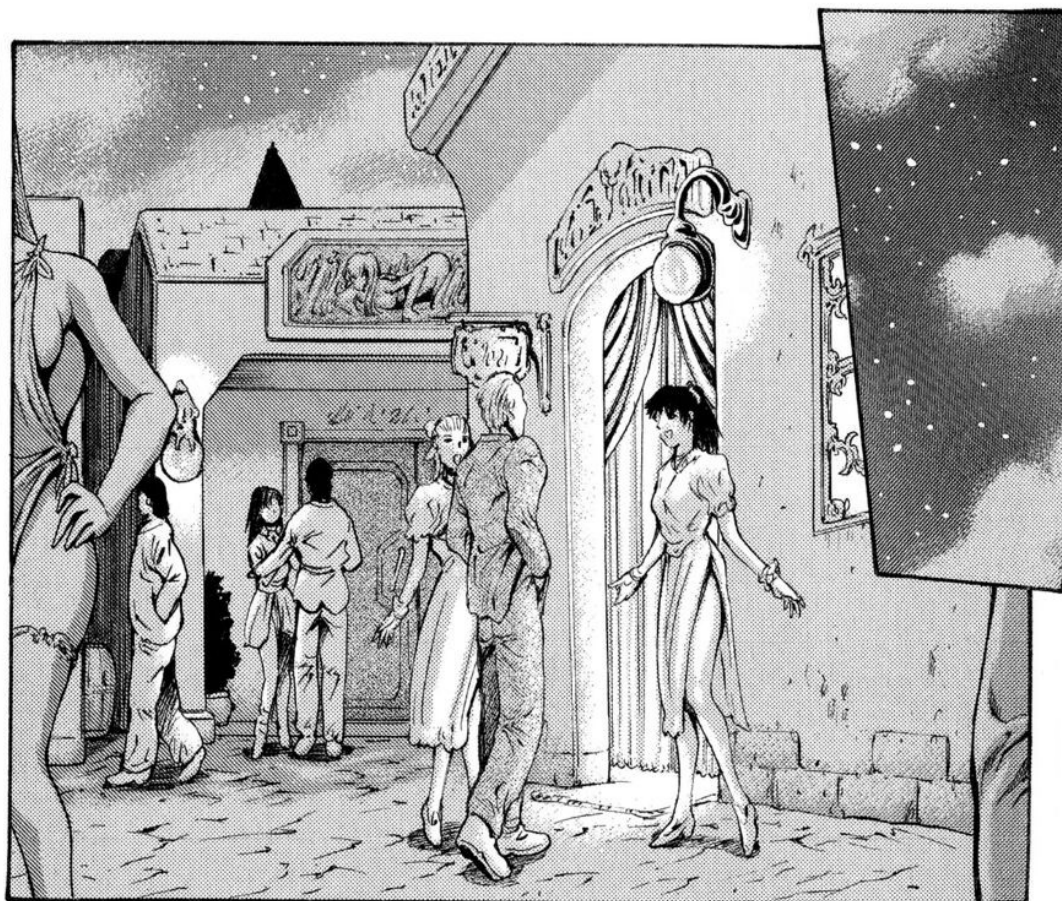
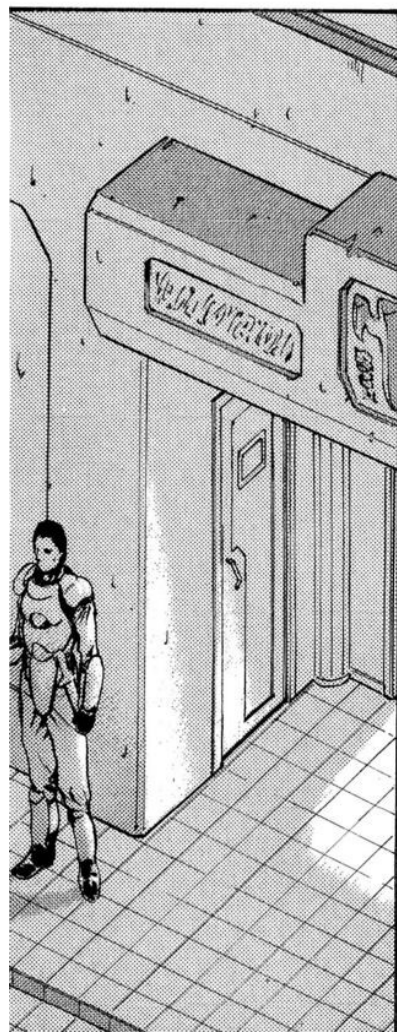
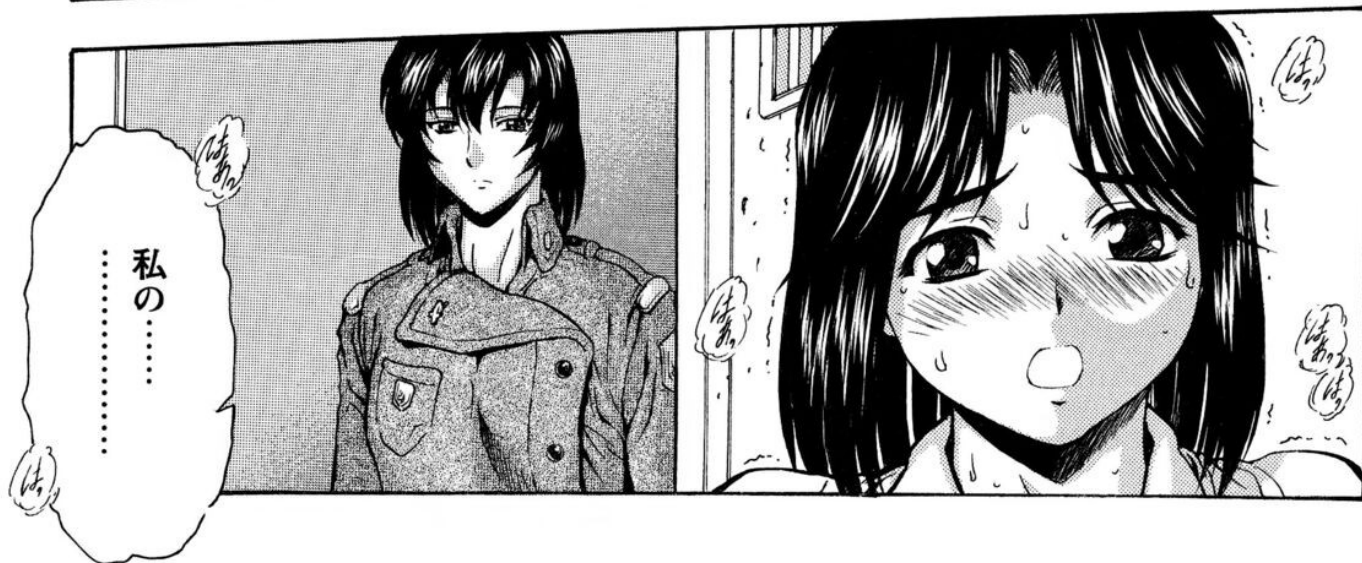
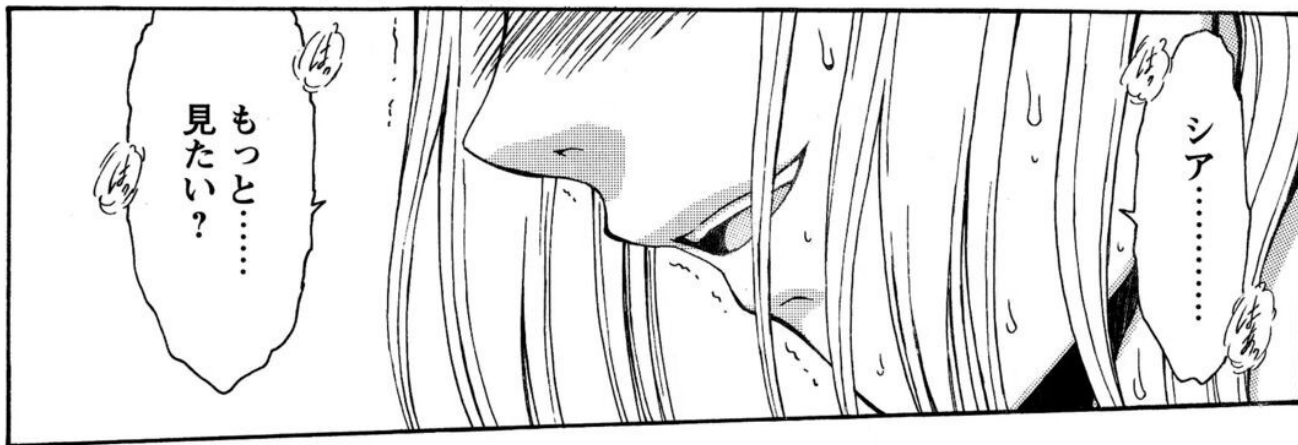
セ……

セレス……
様……

セレス様……

私……

銀竜の黎明 第38話







御主人様
.....

御主人様
あ.....

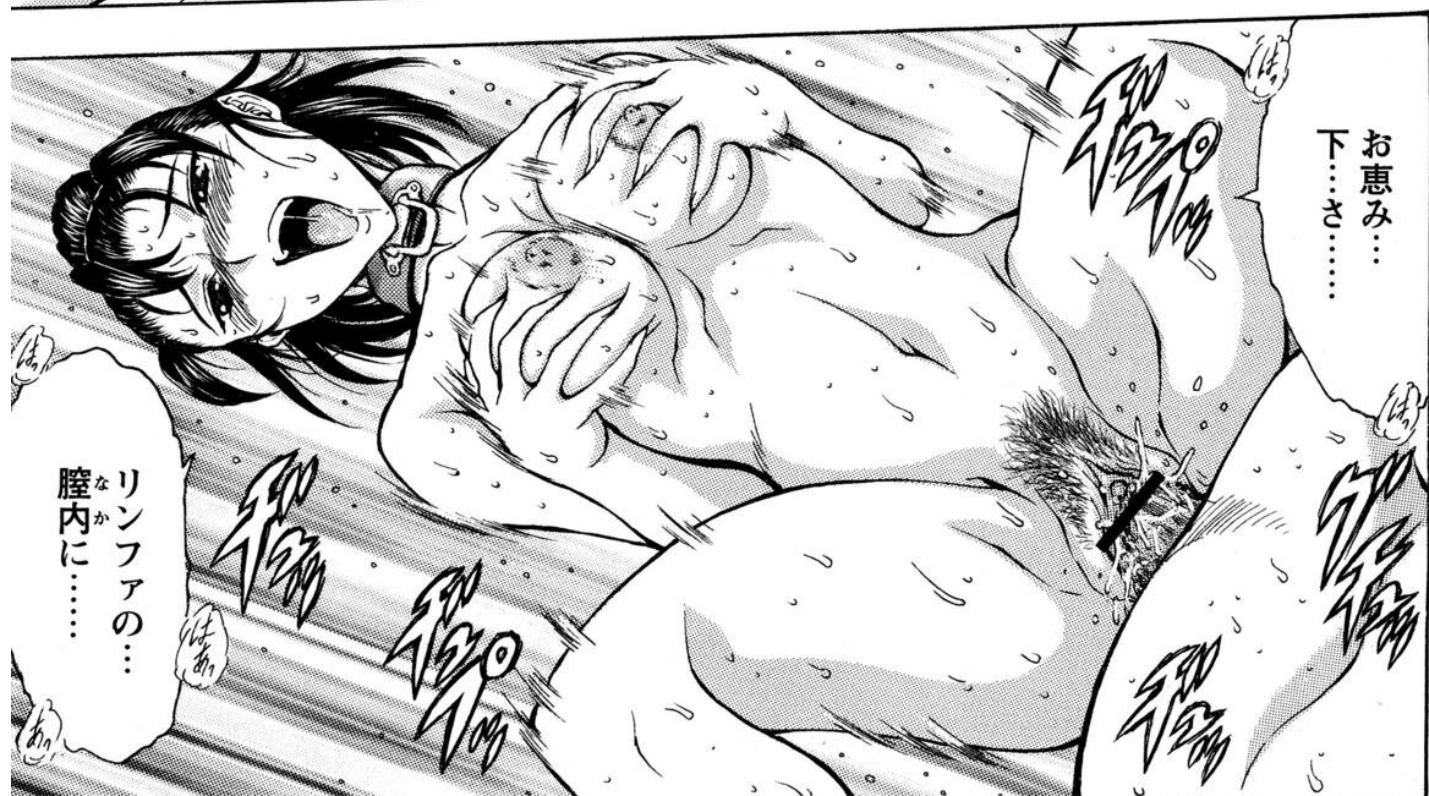


あはっ

はっ

あああっ

あっ



お恵み...
下...さ.....

リンファの...
なか
膣内に.....





クククク

それにしても

過去のおまえ達が
今の自分を見たら
.....

果たして
どんな顔を
するであろうな？

おつしやらないで
.....下さい

昔の.....
ことは.....

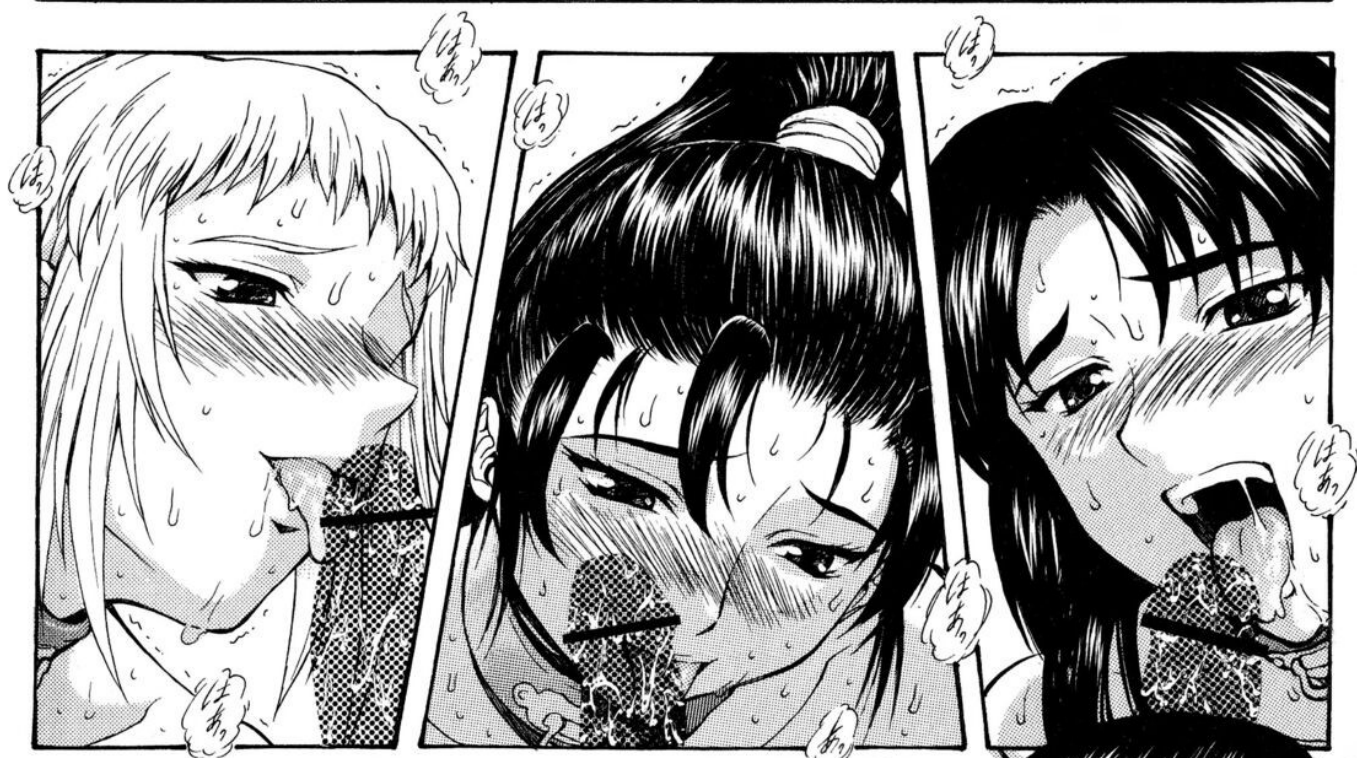




すべて……
ラディム様と……
御主人様のおかげです……

私達が……
愚かだった過去の
自分から……

完全に決別することが
できたのは……



銀竜の黎明 第38話



ですが…先ほど
定期パトロールの者達から
連絡が入りまして……



もっ……
申し訳
ありません



いいわけ
なからう!!

僕の言い付けを
聞いてなかったのか!?



皆様
……



どうか
よく……

お聞きになって
……
下さい……

私の名は……
セレスリメタリアス
……

実は……
皆様に……

お願いしたいことが
……
あるのですが……

武装……特殊
警務団……

通称……
銀竜師団の団長で
ございます……

まあ
たしかに……

外出してはいかん
とは言つて
いなかった……がな

だが……
正直
予想外だったよ

おまえがまさか……
自分の意志で
そこまで
するとはな

かつて……銀竜などと
呼ばれていた女は
……

もはやどこにも
存在しないと
いうことか

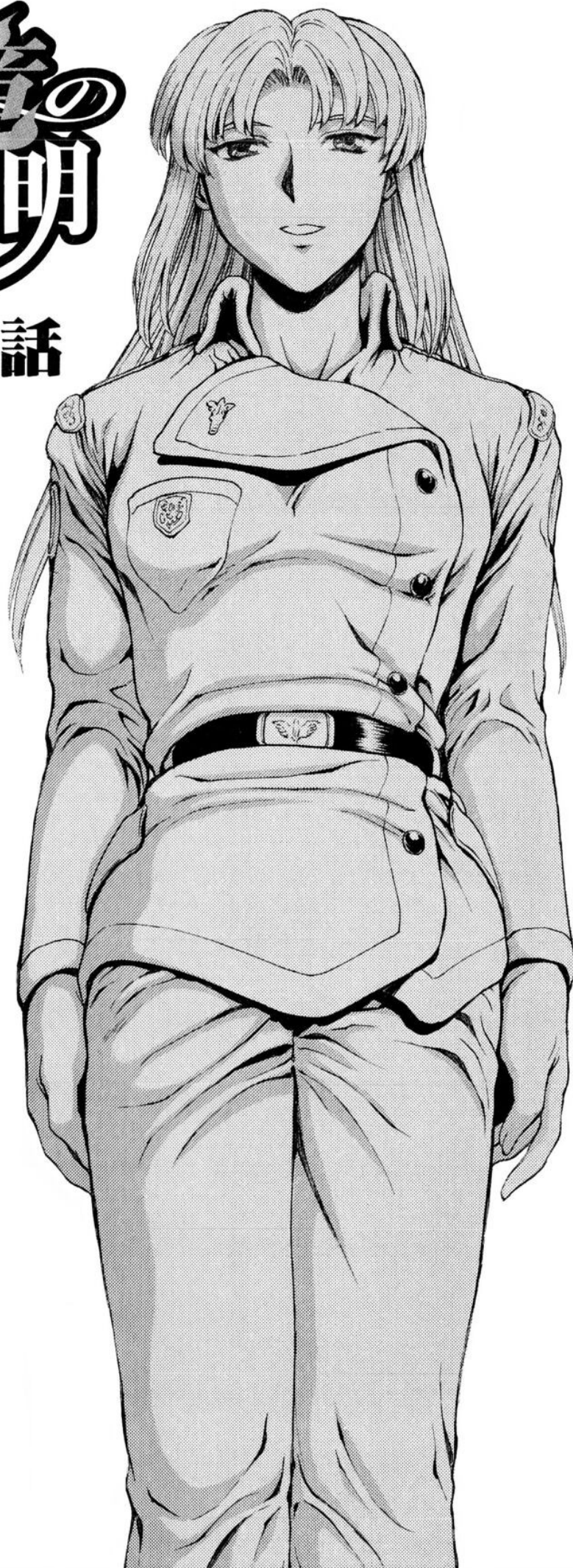
いえ
……

それは
違います

銀竜の黎明

最終話

私は
銀竜です

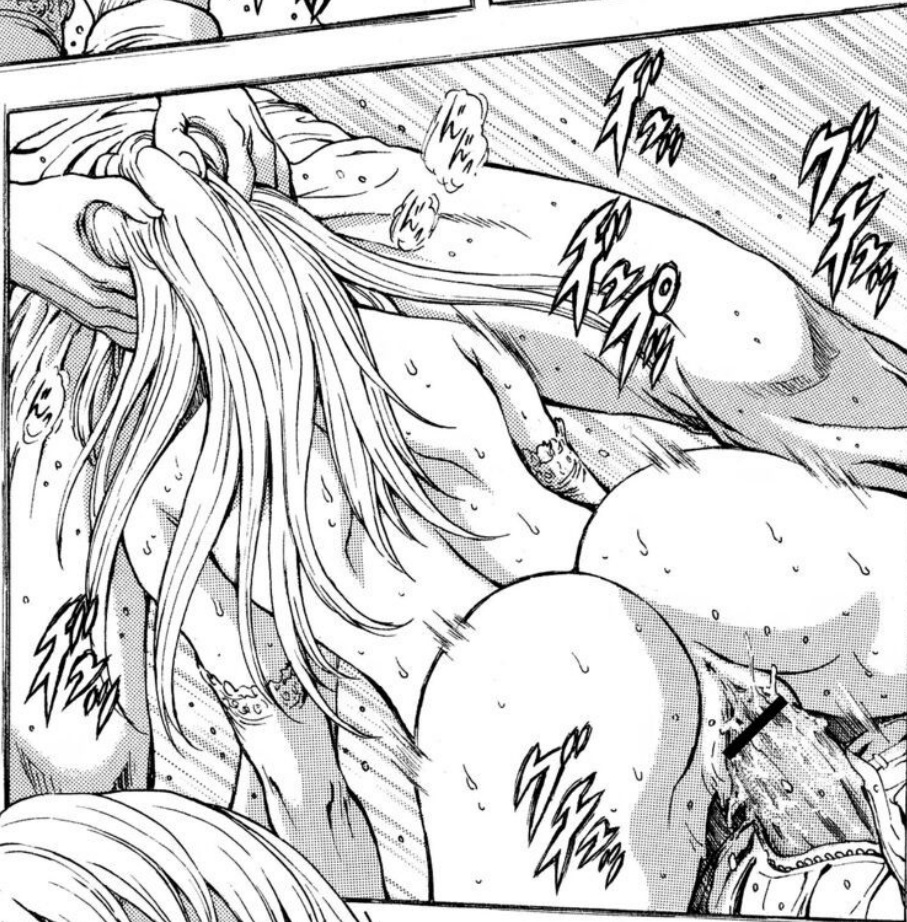


今も……

そして……
これからも
……



たとえ
それが……

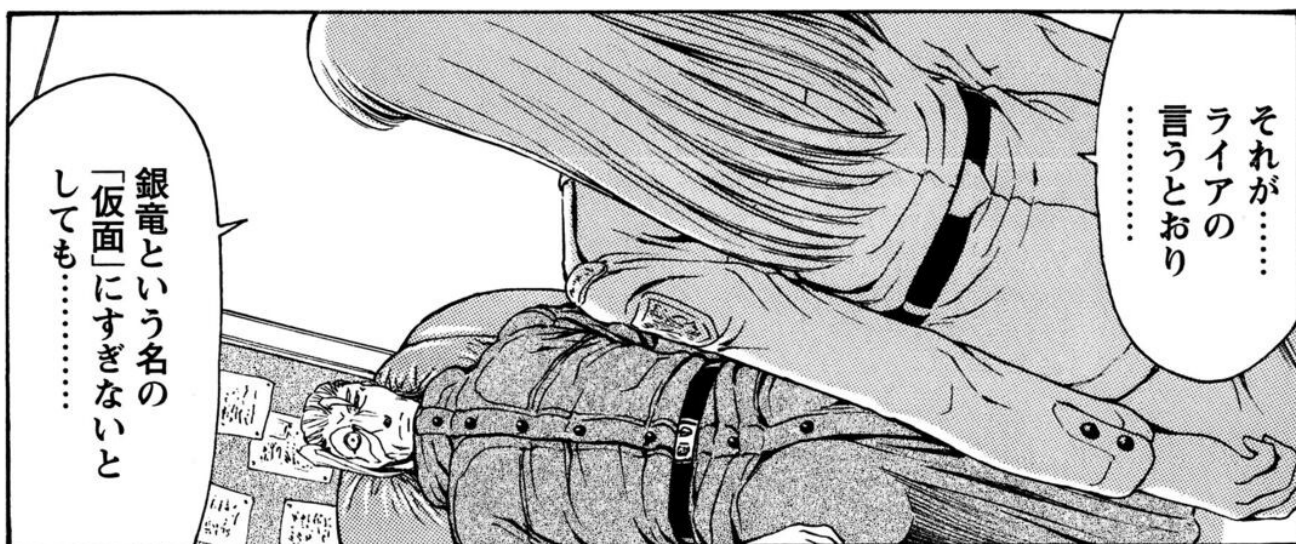


ライアの
言うとおり……



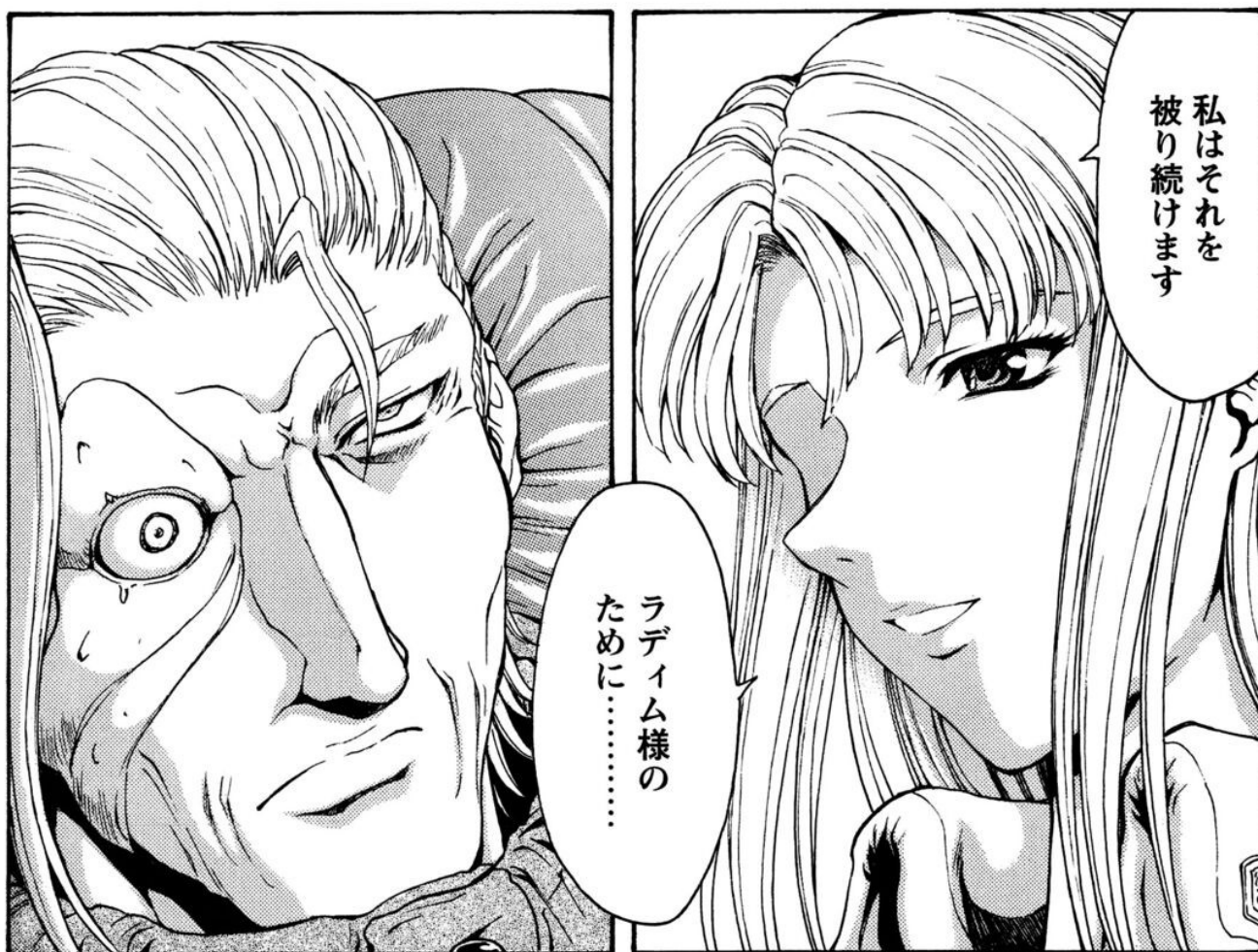






それが……
ライアの
言うとおり
……

銀竜という名の
「仮面」にすぎないと
しても……



私はそれを
被り続けます

ラディム様の
ために……



……
フム……

私のため
……か

まあ……

そういうことに
しておきましょう

今後私の許可なく
外出することは許さん

おまえのことを
本物と想っていた者は
まずいないだろうが……

とにかく

治安維持部隊の
連中が来なかったら
おまえ自身
どうなっていたか
わからんのだからな

……はい……

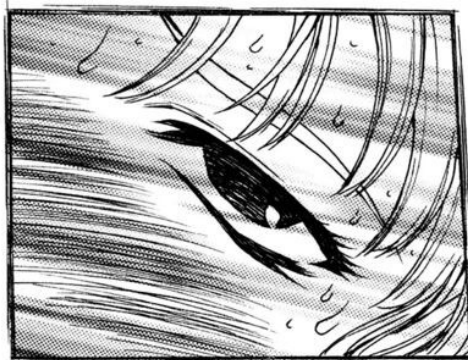
申し訳
ありません
でした

よし……
下がっていいぞ

はっ

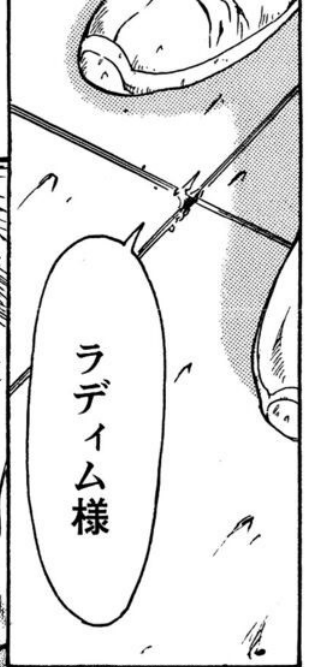


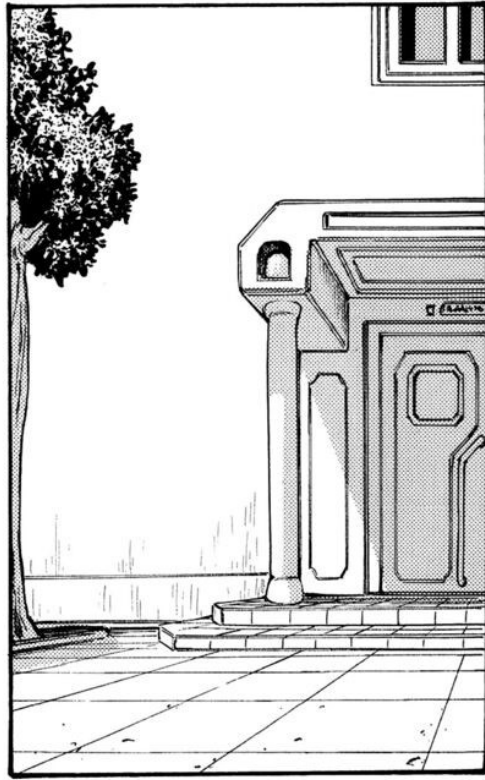
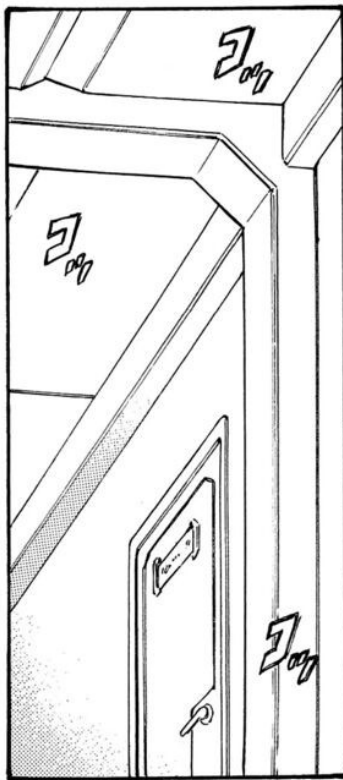
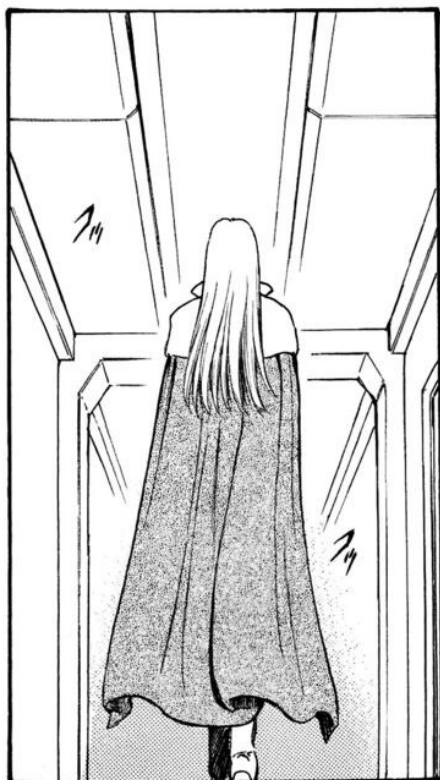


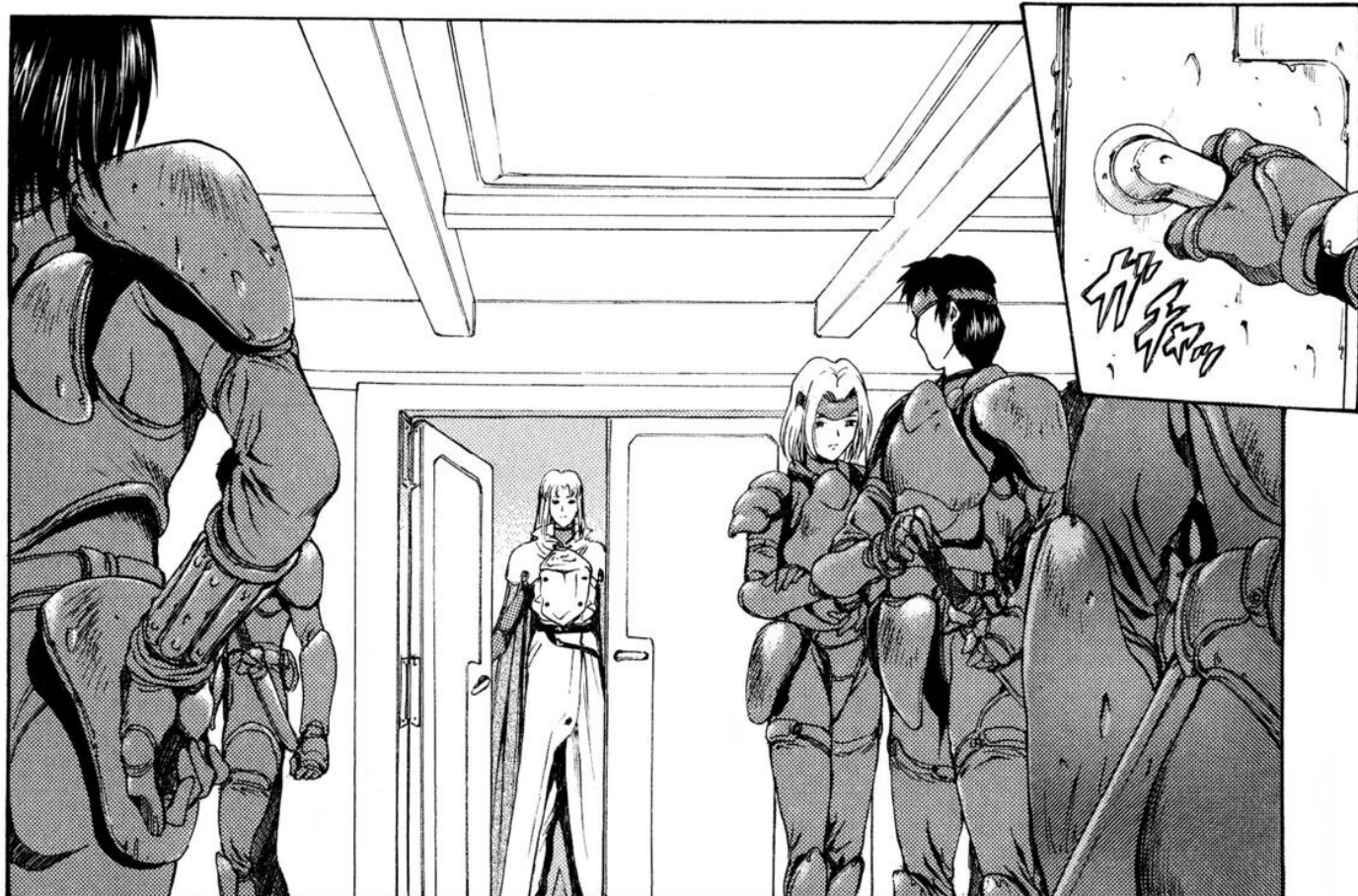
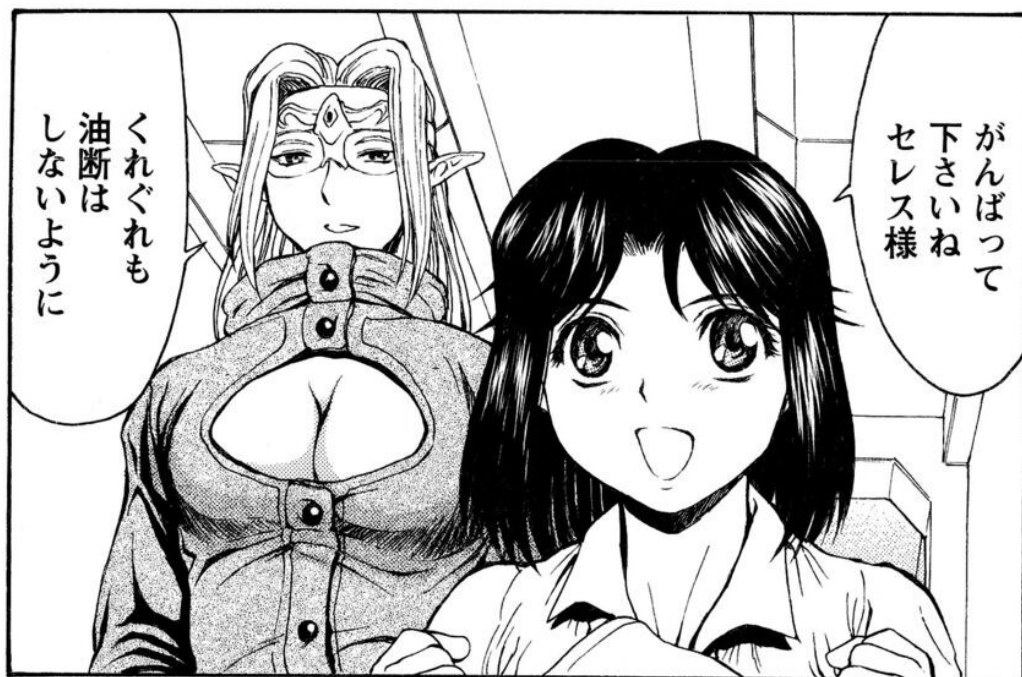


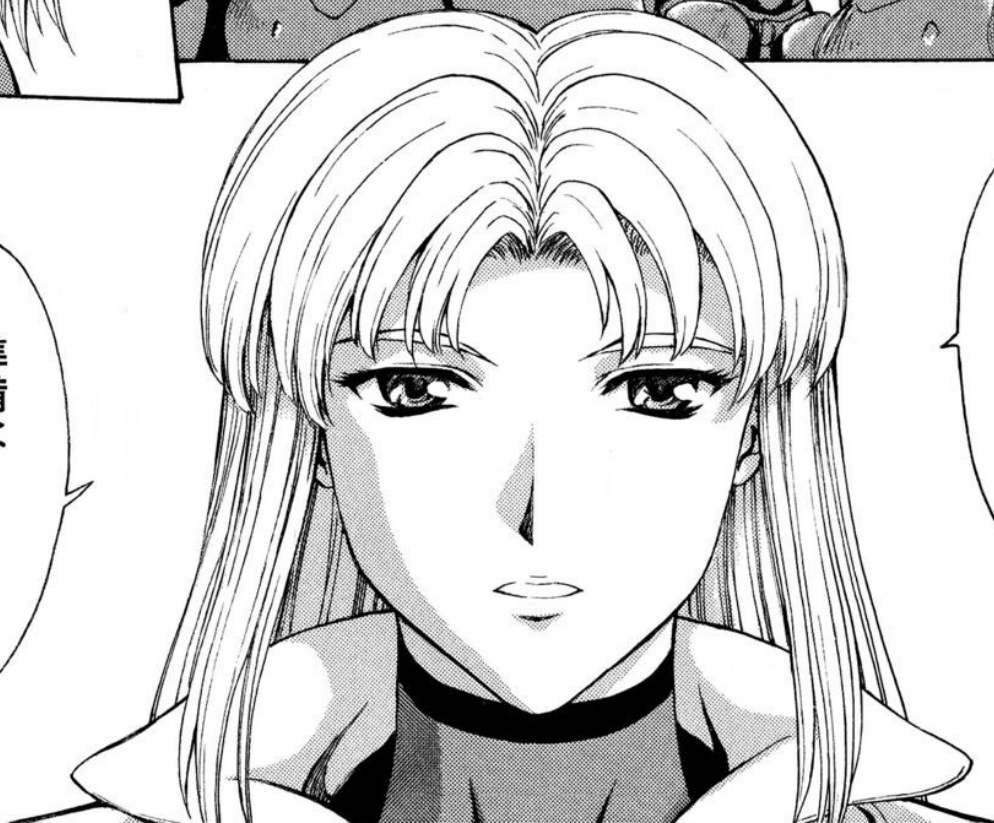
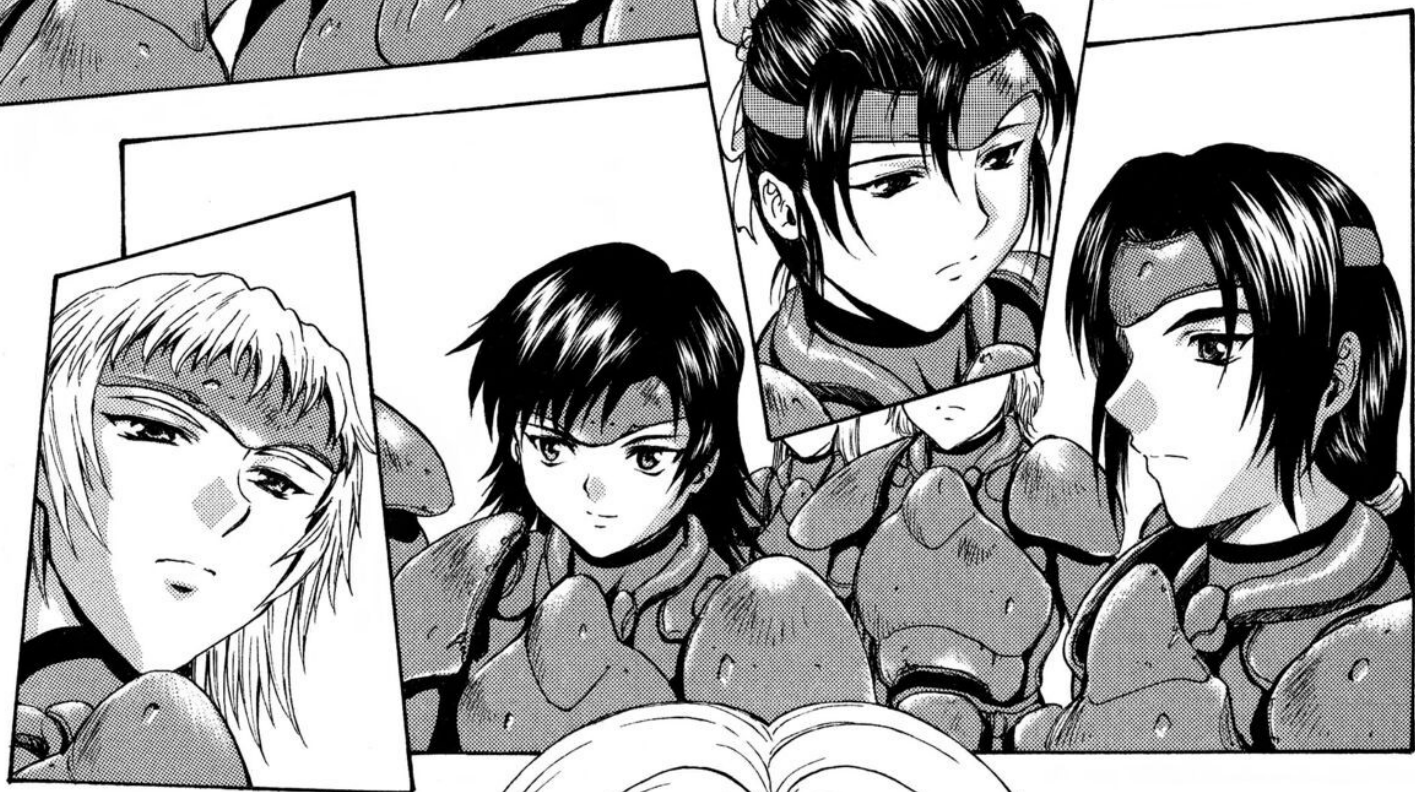
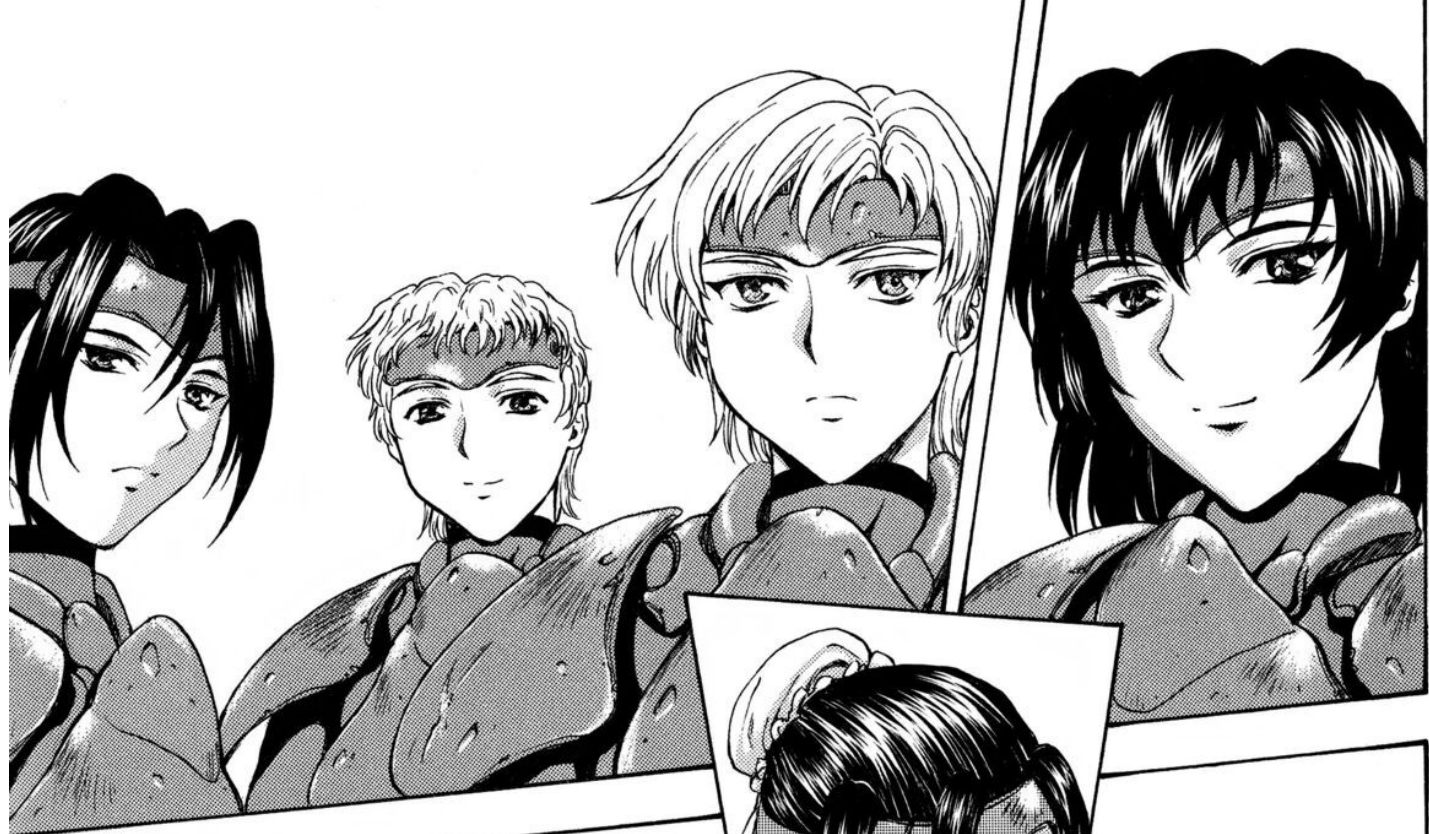












準備は
整っているな？

全員……

■銀竜の黎明／完

銀竜師団

出動する

END

あとがき

お久しぶりです 向正義です

まず初めに 待っていて下さった皆様 本当に申し訳ありませんでした

そして見捨てずにいて下さって本当にありがとうございました

これ程時間がかかってしまったのは100%僕の責任なので深く反省しております

銀竜の黎明も何とか最終四巻を

お届けでき今は正直ほっとしています

僕の連載の中でも一番長く続いただけに

読み返してみるとここはこうすべきだったなどと

後悔する点も多々ありますが やはり

思い出れも一番深い作品になりました

色々ありましたが これからも

がんばっていきたいと思いますので

どこかで見かけましたら

またよろしくお願いします

向正義





ぎんりゅう れいめい
銀竜の黎明 VOL.4

著 者 向 正義(むかい・まさよし)

発行所 株式会社フランス書院

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-3-1

電 話 03-5226-5744 (営業)

03-5226-5741 (編集)

<http://www.france.jp>

©Masayoshi Mukai Printed in Japan.

定価・発行日はカバーに表示してあります。

落丁・乱丁は当社にてお取り替えいたします。

*本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。



9784829679128

ISBN978-4-8296-7912-8

C0979 ¥1200E

★定価1260円 本体1200円



1920979012004

